

# シラバス

声優学科  
各コース共通

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習1 基礎		重松花鳥		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	1999年～2021年「デジモンアドベンチャー」シリーズに出演。企業CM・VPナレーション。オーディオブック「グスコープドリの伝記」他			教科書・オリジナル台本等
講義概要				
声優として必要となる、滑舌・発声・演技力・体づくりをベースに、様々な台本を元に声を使った表現を学ぶ。ボイスドラマの台本を使用し、チームで出演と簡単な音響操作を学ぶ。				
到達目標				
収録を増やしマイクに慣れる。前期後半は、ミキサー操作と実演の両面から積極性を養う。				
回	課題名	課題内容		
1	授業の心得	諸注意、自己紹介用ボイスドラマ台本		
2	筋肉を動かす	基本のストレッチ、発声、発声プリント配布（宿題）		
3	信頼、発散	発声プリントを使用して、決め台詞。チーム演技。		
4	教科書	アエイウエオア王物語、下読み		
5	教科書	キャスティング、チーム練習		
6	教科書	チーム練習、返し稽古		
7	教科書	立ち稽古		
8	教科書	立ち稽古		
9	教科書	発表。		
10	ミキサー操作、実演	発表予備日。ミキサー操作説明。短い台本で収録してみる。		
11	ミキサー操作、実演	ボイスドラマ台本、読み合わせ		
12	ミキサー操作、実演	収録、母音いろいろ（宿題）		
13	宿題発表	母音いろいろ収録（暗記または正確に読む）		
14	ミキサー操作、実演	ボイスドラマ台本、マイクワーク		
15	ミキサー操作、実演	キャスティングチェンジをしながら収録に慣れる。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習1 応用		重松花鳥		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	1999年~2021年「デジモンアドベンチャー」シリーズに出演。サタデーステーションSPIほかCM,企業NA,オーディオブック「小泉節子_思い出の記」他			オリジナル台本等
講義概要				
声優として必要となる、滑舌・発声・演技力・体づくりをベースに、様々な台本を元に声を使った表現を学ぶ。 また、1年度末の舞台発表の舞台稽古も実施する。				
到達目標				
マイク実習、ミキサー実習、舞台稽古/動きの表現を音に乗せる、前期基礎課題の反復、ボイスドラマ収録				
回	課題名	課題内容		
1	ボイスドラマ台本	「ある日の愛田家」収録（テスト→本番）		
2	ボイスドラマ台本	収録したものを聴く。各自にダメ出し。キャストチェンジ。		
3	ボイスドラマ台本	音楽、SEを入れながら収録をする。		
4	ボイスドラマ台本	収録したものを聴く。各自にダメ出し。キャストチェンジ。		
5	ボイスドラマ台本	少しづつ、SEや演出の難易度をあげながらキャストチェンジ、収録。		
6	ボイスドラマ台本	↓		
7	ボイスドラマ台本	↓		
8	ボイスドラマ台本	↓		
9	ボイスドラマ台本	↓		
10	進級公演台本/ボイスドラマ台本	授業の進捗を見ながら、進級公演の補助に入ります。		
11	進級公演台本	↓		
12	進級公演台本	↓		
13	進級公演台本	↓		
14	進級公演台本	↓		
15	進級公演台本	↓		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優基礎		飛志津 ゆかり		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「アンパンマン」、「アラジン」、「シンデレラ」、「白雪姫」など多数のアニメアフレコを担当。その他ナレーションや舞台に多数出演。			声優教本・オリジナル台本 他
講義概要				
表現者に必要である基礎の習得。(呼吸、発声、活舌、体力づくり、思いやりの心など) 瞬発力・発想力、想像力・忍耐力などを身につける。芝居の楽しさ、「感じる」ことの重要性を伝える。				
到達目標				
外郎売前半、後半に分けて暗話その都度テスト実施(後期に芝居として仕上げる) “自主的に”動ける人間になる。「演じる」ではなく「感じる」をとらえ芝居に繋げる力を身につける。				
回	課題名	課題内容		
1	基礎	授業について(心構え、約束事など) ちょっと動こう		
2	基礎	自己紹介 GW中に覚えよう(宿題) シアターゲームで交流	外郎売前半	
3	基礎	からだを動かそう(呼吸、発声、活舌等 実践)		
4	基礎	オレンジ教本(鼻濁音、無声化、長音化発音、文章を正確に読む等)		
5	基礎	コミュニケーション、グループで協力、伝言、シアターゲーム等		
6	基礎	↓		
7	基礎			
8	基礎			
9	基礎	「外郎売前半テスト」		
10	基礎	外郎売後半		
11	基礎	オリジナル台本(言葉のやりとり「感じる」とは。楽しみつつ)		
12	基礎	作品は未定		
13	基礎	「外郎売後半テスト」(夏休み明け初日)	外郎売全文	
14	基礎	↓		
15	基礎			
		後期へ続く		仕上げつ
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優基礎 応用		飛志津 ゆかり		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「アンパンマン」、「アラジン」、「シンデレラ」、「白雪姫」など多数のアニメアフレコを担当。その他ナレーションや舞台に多数出演。			教本
講義概要				
言葉のやり取りとは。気持ちの流れとは。そこに「居る」ということなど「感じる」を中心として実践、体感。前期で覚えた基礎の徹底。教本からの小テストなど。				
到達目標				
外郎売の仕上げ(「己の演出による発表テスト」)/苦手・得意の克服/継続は力なり 諦めない強い意志/プロ意識の向上/思いやりの心(芝居は一人ではできないことを知る)				
回	課題名	課題内容		
1	↑ 基礎をやりつつ	GAME・手遊び		オリジナル台本
2		イメージ作り等		『フラッシュモブ』
3				
4		外郎売グループ売り 2チーム		
5				
6	テスト	外郎売<ひとり売り> テスト		
7	↓ 稽古中心	↓		
8		↓		
9		↑		
10		舞台稽古		
11		↑		
12		↑		
13	↑			
14	↑			
15	↓			
16	↓			
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技 実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
文章実習 基礎		桐島 薫		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「タクティクスオウガ」などのオウガシリーズ、「マリーのアトリエ」などのアトリエシリーズなどゲームのキャストと音声演出、ラジオ番組やオーディオドラマなど多数の作品に関わる。			国語辞典・アクセント辞典
講義概要				
<p>① 返事・挨拶・お礼・敬語などから始め、自分の考えや気持ちを正しく伝えられるように日本語力を上げる。</p> <p>② 自分の使う日本語に敏感になると同時に、人の話を正しく理解できるようにする。</p> <p>③ 日本語の微妙な言葉遣いを理解し表現できるよう、慣用句やことわざなどの理解力を上げ、自由に使えるようにする。</p> <p>④ シナリオ・台本を役者として読み取る力を養成。(実質高校までの国語教育の補完)</p>				
到達目標				
<p>① わからないことをすぐに聞き返し理解を深め課題にクラスとして向き合う。</p> <p>② 人の(自分を含め)長所を認めできないことよりできることを意識する。</p> <p>③ ポジティブシンキングを身につける。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	守秘義務・著作権などの業界人としての注意事項。社会人としての自覚。正解は一つではない。		
2	国語辞典・アクセント辞典の使い方①	国語辞典の使い方。アクセント辞典で頭高・尾高・平板・中高の読み取り方に慣れる。濁音と鼻濁音の区別。連休中の注意事項 アクセント50問配布		
3	アクセント辞典の使い方②	母音の無声化・アクセント辞典付録の読み取り方 助詞”の”の扱い		
4	アクセント練習問題	アクセント50問を実際に声に出して確認・修正 慣用句プリント配布		
5	慣用句・ことわざ①	文章、セリフの中に潜む慣用句・ことわざ・言い習わしなどに敏感になる		
6	慣用句・ことわざ②	間違い・誤用しがちな慣用句・諺などの理解。敬語のおさらい。ピノッチア配布		
7	ヴォイスドラマA	台本の読み方・キャラのつかみ方。キャスト・座組		
8	ヴォイスドラマA	相手のセリフをしっかりと聞く。キャラ・状況をイメージする		
9	ヴォイスドラマA	台詞のやり取り、距離感・空気感		
10	ヴォイスドラマA	頭で描いたイメージと実際に動く時のイメージの違いをつかむ		
11	ヴォイスドラマA	芝居として成り立っているか・音声ドラマとしてどうなのか。		
12	夏休み直前まとめ	夏休み直前筆記テスト。基礎訓練の継続と弱点の克服。宿題配布		
13	ヴォイスドラマA	夏休み明け。稽古の成果の確認と調整		
14	ヴォイスドラマA	作品として完成度を上げる。不足している部分の補填		
15	ヴォイスドラマA	全クラス合同発表、他のクラスの芝居を聞きさらなる研鑽		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技 実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
文章実習1 応用		桐島 薫		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「タクティクスオウガ」などのオウガシリーズ、「マリーのアトリエ」などのアトリエシリーズなどゲームのキャストイングと音声演出、ラジオ番組やオーディオドラマなど多数の作品に関わる。			オリジナル台本
講義概要				
声優として必要となる、基礎知識や国語力の習得。また、ボイスドラマ台本を通して読解力を養う。様々なスタイルのナレーションの基礎も学ぶ。				
到達目標				
① フリートーク・自己PRなど、自分の言葉で表現できるようにする。 ② 台本やシナリオを正しく読み取り、日本語の表現の幅を広げる。 ③ 自分の苦手な部分を正しく理解すると同時に、その克服のために努力をし続ける癖付け ④ 芝居を作るために自分の得意分野で活躍できるよう自信を持った自己の確立				
回	課題名	課題内容		
1	ボイスドラマシナリオ A	グループ実習。相手のせりふを聞いての反応を実感する		
2	フリートーク	いつでもフリートークができるよう 日頃の自分の行動や感性を上げておく		
3	ボイスドラマシナリオ A	距離感や動き・位置などを 相手役のせりふを聞いて反応する		
4	ボイスドラマシナリオ A	イメージ通り実際に動く芝居		
5	ボイスドラマシナリオ A	台本から読み取れるキャラクターごとの特性や関係性 それぞれの個性を生かしたキャラ作り		
6	ボイスドラマシナリオ A	キャラを入れ替えて、人の立場になってさらに深める		
7	ナレーション	ストレートナレーションとキャラナレーションの違い		
8	ナレーション	役者としてドラマチックリーディングにチャレンジ		
9	ナレーション	ストレートナレーションで人に聞かせる意識		
10	ナレーション	キャラナレーションの自分ならではの表現力		
11	小テスト	日本語の基本・一般常識などのチェック		
12	フリートーク	新しい年を迎えての抱負 オーディション対策を含め自己PR		
13	現状チェック	台本の読み込み・キャラの理解度 舞台公演の進捗確認		
14	テスト	筆記テスト予定/状況により実技テスト		
15	総括	1年間頑張ってきたことを素直に自分を誉めてあげる 進捗により舞台公演準備		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ダンス実習 基礎		山崎美由生		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「smap×smap」「堂本剛×国分太一」「嵐」などジャニーズのバックダンサーとして活躍。また、嵐、AKB48の振付等も務める。			なし
講義概要				
自分に必要なエクササイズ・ストレッチを探す。さらに美しい姿勢でのウォーキングや腹式呼吸の徹底。				
到達目標				
自分自身の姿勢を認識し、美しい姿勢作りを目指す。そのために美しい姿勢とはどんな姿勢なのかを理解する。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション/筋肉・骨・関節を触る①	授業内容の説明、自己紹介/自分自身や友人の骨・関節を触ることで、動く時のイメージをしやすくする		
2	筋肉・骨・関節を触る②	自分自身や友人の筋肉を触ることで、動く時のイメージをしやすくする		
3	腹式呼吸と胸式呼吸	腹式呼吸と胸式呼吸の違い、横隔膜をしっかり動かしてみる		
4	ニュートラルポジションの確認	背骨のニュートラルポジションをとってみる、ニュートラルポジションをとるためのストレッチとエクササイズを行う。		
5	姿勢を整える①	美しい姿勢にするためのストレッチやエクササイズを行う。		
6	姿勢を整える②	美しい姿勢にするためのストレッチやエクササイズを行う。		
7	ウォーキングチェック	普段の歩き方の癖(重心、腕の振り、ガニ股内股)のチェック		
8	ウォーキング①	ニュートラルを意識し、背骨・肩甲骨のコーディネーションを図る		
9	ウォーキング②	ニュートラルを意識し、背骨・肩甲骨のコーディネーションを図る		
10	姿勢・柔軟性のチェックとウォーキングテスト	ウォーキングテストを行い、姿勢・柔軟性総合評価、フィードバック		
11	ウォーキングコンビネーション①	今までの復習とウォーキングコンビネーション		
12	ウォーキングコンビネーション②	今までの復習とウォーキングコンビネーション		
13	ウォーキングコンビネーション③	今までの復習とウォーキングコンビネーション		
14	ウォーキングコンビネーション④	今までの復習とウォーキングコンビネーション		
15	前期まとめ	エクササイズチェックとウォーキングコンビネーションテスト		
備考	前期は姿勢・呼吸に関して重点的に行います。毎日が反復になりますが、日々の身体の変化を実感してもらい、自分自身の身体へ興味を持ち、意識を高められるような指導をしていきます。毎授業ごとに体調チェック・目標設定・達成度・気づき・次回の課題を提出してもらい、定期的にフィードバックを行います。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優・声優俳優・声優アーティスト・声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ダンス実習 応用		山崎美由生		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「smap×smap」「堂本剛×国分太一」「嵐」などジャニーズのバックダンサーとして活躍。また、嵐、AKB48の振付等も務める。			なし
講義概要				
<p>前期同様自身の身体の理解し、自分に合った準備運動を考える。 ダンスの要素であるリズムトレーニング、容易なコンビネーションを覚えグループごとに発表してもらう。</p>				
到達目標				
<p>前期からの続きとなるウォーキングコンビネーションにポージングを加え、綺麗な歩き方を身につける。 さらに準備運動(ストレッチ・筋トレetc)の習慣づけを目標とする。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	ムーブメント	上半身、特にアームスの動きを滑らかに優雅に見せることを中心とした振付を踊る。 最終日発表。(11月5・8日)		
2				
3				
4				
5				
6	リズムトレーニング	ダンスに必要な要素であるリズム練習、手、足、身体を使い音を出し音楽に合わせる。		
7				
8				
9				
10	振付を踊る	容易なダンスコンビネーションを覚え、踊りこみ、グループごとでフォーメーションを作り、発表してもらう。		
11				
12				
13				
14				
15	グループごとに発表 一年の総評			
備考	<p>前期に行ってきた体幹トレーニングに加え姿勢改善に必要なストレッチを十分に行う。「踊る」ことに抵抗や苦手意識のある学生もいるので、ゆったり踊る⇨リズムに乗ってステップを踏む⇨全身を使って大きく踊る、順を踏んで指導していく。前期同様、体力向上のために縄跳びやスキップ、ジャンプ、ステップの練習は継続する。</p>			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース・声優俳優コース 声優アーティストコース・声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義	演習・実験・実技	実習
筆記試験・実技試験・実習評価		課題評価		小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
業界概論1基礎		担任、就職・デビュー担当		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
講義概要				
声優業界に進むにあたって必要な業界知識などを学びつつ、オーディション対策も実施していく。				
到達目標				
声優業界で活動するにあたっての基礎知識の修得				
回	課題名	課題内容		
1	業界説明	声優業界についての全体説明		
2	〃	業界知識1		
3	〃	業界知識2		
4	〃	業界知識3		
5	オーディション対策	オーディション申請書記入		
6	業界説明	業界知識4		
7	〃	業界知識5		
8	〃	業界知識6		
9	〃	業界知識7		
10	〃	業界知識8		
11	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
12	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
13	オーディション対策	写真撮影に向けて		
14	業界説明	業界知識8		
15	〃	業界知識9		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース・声優俳優コース 声優アーティストコース・声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義	演習・実験・実技	実習
科目名		担当講師		評価基準
業界概論1応用		担任、就職・デビュー担当		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
講義概要				
声優業界に進むにあたって必要な業界知識などを学びつつ、オーディション対策も実施していく。				
到達目標				
声優業界で活動するにあたっての基礎知識の修得				
回	課題名	課題内容		
1	業界説明	学園祭に向けて1		
2	〃	学園祭に向けて2		
3	〃	学園祭に向けて3		
4	〃	業界知識1		
5	〃	業界知識2		
6	〃	業界知識3		
7	〃	業界知識4		
8	オーディション対策	オーディション申請書記入		
9	業界説明	業界知識5		
10	〃	業界知識6		
11	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
12	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
13	業界説明	業界知識7		
14	〃	業界知識8		
15	オーディション対策	オーディション対策		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース・声優/俳優コース アニソン声優コース・キャリアデザインコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義	演習・実験・実技	実習
科目名		担当講師		評価基準
業界概論2基礎		担任、就職・デビュー担当		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
講義概要				
声優業界に進むにあたって必要な業界知識などを学びつつ、オーディション対策も実施していく。				
到達目標				
声優業界で活動するにあたっての基礎知識の修得				
回	課題名	課題内容		
1	業界説明	業界知識1		
2	オーディション対策	オーディション申請書記入		
3	業界説明	業界知識2		
4	〃	業界知識3		
5	〃	業界知識4		
6	〃	業界知識5		
7	〃	業界知識6		
8	プロダクション知識	プロダクション研究		
9	〃	プロダクション研究		
10	〃	プロダクション研究		
11	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
12	オーディション対策	オーディション申請書チェックバック		
13	オーディション対策	オーディション対策		
14	オーディション対策	オーディション対策		
15	オーディション対策	オーディション対策		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース	
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース・声優/俳優コース アニソン声優コース・キャリアデザインコース	
学期	総時間数	授業の方法		評価方法	
後期	32	講義	演習・実験・実技	実習	筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準	
業界概論2応用		担任、就職・デビュー担当		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材	
講義概要					
声優業界に進むにあたって必要な業界知識などを学びつつ、オーディション対策も実施していく。					
到達目標					
声優業界で活動するにあたっての基礎知識の修得					
回	課題名	課題内容			
1	業界説明	学園祭に向けて1			
2	〃	学園祭に向けて2			
3	〃	学園祭に向けて3			
4	業界説明	業界知識1			
5	プロダクション知識	プロダクション研究			
6	〃	プロダクション研究			
7	〃	プロダクション研究			
8	業界説明	業界知識2			
9	〃	業界知識3			
10	〃	業界知識4			
11	〃	業界知識5			
12	卒業公演に向けて	卒業公演に向けて			
13	〃	卒業公演に向けて			
14	〃	卒業公演に向けて			
15	〃	まとめ			
備考					

# シラバス

声優学科  
アニメ声優コース

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習1基礎		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			日本語検定中級テキスト、公式問題集、アクセント辞典、オリジナルプリント
講義概要				
11月実施予定の日本語検定3級合格を目指し、テキストを中心に授業を進行する。授業のはじめには、毎回漢字等の知識を問う小テストを実施。アナウンスの基本である発声等のレッスンも導入し、様々な原稿を使用しての実技も行う。				
到達目標				
アナウンス実践に必要な基礎技術を身に着けながら、日本語検定3級合格を目指す。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	効果的な自己PR、会話力		
2	発声発音の基礎	腹式呼吸、発声、鼻濁音、発音の基本練習、無声化、滑舌		
3	テキスト「語彙」 ナレーション	音声表現の技術、語彙、イベント紹介ナレーション		
4	テキスト「語彙」	語彙、絵本朗読やナレーションの基本		
5	テキスト「表記」 絵本朗読初級	表記、特殊拍、絵本「うさぎとかめ」		
6	テキスト「表記」 絵本朗読初級	表記、絵本「うしかたやまんば」		
7	テキスト「敬語」 店紹介ナレーション	敬語、レストラン紹介ナレーション		
8	テキスト「敬語」 CMナレーション	敬語、さまざまなCMナレーション①		
9	テキスト「敬語」 CMナレーション	敬語、さまざまなCMナレーション②		
10	テキスト「敬語」 エッセイ	敬語、エッセイ「わたしのねがい」		
11	テキスト「文法」 ニュース原稿	文法、さまざまなニュース原稿		
12	テキスト「文法」 番組ナレーション	文法、さまざまな番組ナレーション		
13	テキスト「文法」 絵本朗読中級	文法、絵本「スイミー」		
14	テキスト「文法」 絵本朗読中級	文法、絵本「スイミー」		
15	前期試験	実技試験（滑舌、これまでの実技内容から一つ披露）		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習1 応用		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			日本語検定中級・アクセント辞典
講義概要				
11月の日本語検定までは過去問やポイントの解説に重点を置く。 試験後は毎回、授業の最初に、日本語の基本的な知識、間違っている言葉の確認を行う。				
到達目標				
前期に引き続き腹式呼吸、発声、発音、母音の口の形、滑舌を毎回行い、豊かな声量、確かな発音、表現力を身につけさせる。 実習を多く取り入れ、ニュース、レポート、司会原稿を多数取り入れ、学んできたことを生かす実習を行う。 アナウンスの現場に触れてもらうことで可能性を広げていく。				
回	課題名	課題内容		
1	過去問	日本語検定過去問・解説。		
2	過去問	日本語検定過去問・解説。		
3	過去問	日本語検定過去問・解説。		
4	過去問	日本語検定過去問・解説。		
5	過去問	日本語検定過去問・解説。		
6	アナウンス実習	自己分析・自分に似合う色		
7	アナウンス実習	スポーツニュース		
8	アナウンス実習	天気予報		
9	アナウンス実習	プラネタリウムナレーション①		
10	アナウンス実習	プラネタリウムナレーション②		
11	アナウンス実習	グルメレポーター（おはしの持ち方、所作等含む）		
12	アナウンス実習	街角レポーター		
13	アナウンス実習	司会・物語朗読		
14	アナウンス実習	詩の朗読		
15	後期試験	実技試験（自己PR・早口言葉・初見ナレーション原稿）		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
演技実習1基礎		秋葉由美子	優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	舞台演出家/合同会社きよみず副社長/一般社団法人日本演出者協会会員		少人数の短編台本など	
講義概要				
感情と呼吸の関係、心と身体の関係など、表現者に必要な身体感覚や感情表現に関する訓練を、実践を通して習得する				
到達目標				
表現者に必要な身体感覚や感情表現を、知識と体験の両面からアプローチすることで、視野を広げ、柔軟な発想を身につける。 自分と他者の違いを認め合い、コミュニケーションを取りながらの共同作業を通して、俳優としても人としても大切なことを実践を通して学びながら、後期の進級公演へと繋げていく。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介、全身表現、非言語で協力、立ち歩き	人前で演じる心構えを確認する、全身を使って相手に伝える、非言語コミュニケーションを通して他者と協力し合う、美しい姿勢を確認する		
2	全身表現、非言語で協力、目的を持つ、言語表現	全身を使って相手に伝える、非言語コミュニケーションを通して他者と協力し合う、目的を持って歩く、話す		
3	全身表現、非言語で協力、目的を持ち歩く、感情と呼吸	全身を使って相手に伝える、非言語コミュニケーションを通して他者と協力し合う、目的を持って歩く、感情と呼吸の関連性を体感し表現に繋げていく		
4	目的を持つ、感情と呼吸	目的を持って行動、表現する、感情と呼吸の関連性を体感し表現に繋げていく		
5	同上、アクションリアクション	同上、相手を受け入れた上で、自らの意思を伝える力を養う		
6	アクションリアクション、非言語（グループ）	相手を受け入れた上で、自らの意思を伝える力を養う、非言語コミュニケーションを通して他者と協力し合う		
7	同上	同上		
8	短い台詞、短編台本ディスカッション	台詞があることで心と身体がどう変化するのか体感する、ディスカッションを通して台本の読み解き方の基礎を学ぶ		
9	短編台本実習	読み合わせ、立ち稽古を通して、言葉と心と身体の関係を探る		
10	同上	同上		
11	同上	同上		
12	同上	同上		
13	同上	同上		
14	同上	同上		
15	クラス内発表	クラス内発表		
備考	学生たちの様子を見ながら臨機応変に対応していきます			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習1応用		秋葉由美子		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	舞台演出家／合同会社きよみず副社長／一般社団法人日本演出者協会会員			台本
講義概要				
前期で学んだことや気づきを生かして皆で1本の作品を創り、次年度への発展に繋げていく。 また、年度末の発表を通し、舞台演劇の上演までに必要な流れを学ぶ。				
到達目標				
前期に学んだことを随時振り返りながら、舞台公演へ、そして2年次へと繋げていく。 俳優・声優である以前に人としての成長を重視し、技術と共に、他者を受け入れて協力する姿勢を学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	舞台用語説明 キャスティング	舞台用語を学び、配役の可能性を探る。		
2	舞台用語説明 キャスティング	同上		
3	キャスティング 読み合わせ	テキストを持たずに一部を覚えた状態で動いてみることで、演技の変化を体感しつつ、更なる配役の可能性を探る。		
4	舞台の説明 読み合わせ	アクティングエリアなど各シーンの設定を確認し、決定した配役で読み合わせをして、全体の構造を掴んでいく。		
5	立ち稽古	各自で役を研究し、コミュニケーションを取りながら、クラス全員で協力して作品を作っていく。		
6	立ち稽古	同上		
7	立ち稽古	同上		
8	立ち稽古	同上		
9	立ち稽古	同上		
10	立ち稽古	同上		
11	立ち稽古	同上		
12	立ち稽古	同上		
13	立ち稽古	同上		
14	立ち稽古	同上		
15	立ち稽古	同上		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技 実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習1基礎		宇都より		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	東京アナウンスアカデミー声優科卒。ナレーターキャリア25年以上。声優事務所を経て角川書店映像部門の専属ナレーターとなる。映像制作キャスティング、MAディレクター、デスク、編集などを兼務。現在は企業ナレーションを中心に、CMナレーション、官公庁のVP・PV、美術館のポイスガイド、VRポイス、医療機関や公共機関アナウンスなど年間250~300本ほどのナレーションを担当している。			オリジナル原稿 OA原稿 OA映像
<p>前期 ①ナレーションについての理解を深めることができる。②クセのない基本の読みが出来るようになる 後期 ①原稿を読む上での基本的な技術を習得し、原稿と映像に合わせてナレーションを読めるようになる。 ②ナレーションという仕事をしてみたいと思えるようになる</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きとした声を出せるようになる</li> <li>・文章を正確に読めるようになる</li> </ul>				
	課題名	課題内容		
1	ガイダンス・課題原稿配布	授業の説明。講義内容の説明をする。質疑応答。		
2	自己紹介	自己紹介 1回目		
3	ナレーションの種類と役割	ナレーションにはいろいろなジャンルがあることを理解する。アナウンサー、ナレーター、俳優など、それぞれの特徴を生かしたナレーションの読みがあることを理解する。		
4	CMナレーション体験「ミサワホーム」	テレビ放送されたCMナレーションを体験する。		
5	CMナレーション体験「ミサワホーム」	実際にナレーション映像に合わせて原稿を読み、ナレーションへの理解を深める。		
6	母音法を学ぶ	母音読みの重要性を理解する。		
7	アナウンス読みの基礎練習	NHK作成の練習問題を使用する。(一部オリジナル作成)		
8	アナウンス読みの基礎練習	基本的な文章の読み方を理解できる。主にイントネーション、プロミネンスを学ぶ。		
9	ストレートナレーション「交通安全メモ」	NHKで放送された短い原稿を使用し、ストレートナレーションの読み方を学ぶ。		
10	ストレートナレーション「交通安全メモ」	アナウンス読みの基礎を踏まえ、イントネーション、プロミネンスに加え、アーティキュレーション、フレージング、助詞や語尾の処理などについて理解できるようになる。		
11	ストレートナレーション「交通安全メモ」			
12	前期試験準備	これまでの復習		
13	前期試験	前期に行った課題の中からテストを行う		
14	前期試験			
15	フィードバック	前期試験のフィードバック		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
ナレーション実習1応用		宇都より	優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	東京アナウンスアカデミー声優科卒。ナレーターキャリア25年以上。声優事務所を経て角川書店映像部門の専属ナレーターとなる。映像制作キャスティング、MAディレクター、デスク、編集などを兼務。現在は企業ナレーションを中心に、CMナレーション、官公庁のVP・PV、美術館のポイスガイド、VRポイス、医療機関や公共機関アナウンスなど年間250~300本ほどのナレーションを担当している。			MA原稿と映像など
講義概要				
①ナレーションについての理解を深めることができる。 ②原稿を読む上での基本的な技術を習得し、原稿と映像に合わせてナレーションを読めるようになる。 ③ナレーションという仕事をしてみたいと思えるようになる。				
到達目標				
①原稿によって求められる読み方を理解する。(アナウンス、ストレートナレーション、バラエティナレーションなど) ②それぞれの原稿を商品になるよう仕上げる。				
回	課題名	課題内容		
1	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」説明・原稿確認		
2	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」練習		
3	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」まとめ練習		
4	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」オーディション形式で発表		
5	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション 説明・原稿確認		
6	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション 練習		
7	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション オーディション形式で発表		
8	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン 説明・原稿確認		
9	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン 練習		
10	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン オーディション形式で発表		
11	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョン 説明・原稿確認		
12	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョンバージョン 練習		
13	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョンバージョン オーディション形式で発表		
14	テスト	後期テスト		
15	まとめ	1年のまとめ		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1基礎		檜戸雅也		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
放送の原点である『伝える』をテーマに実習を繰り返す。同時に「時間の大切さ」を繰り返し学ぶ。タイムトライアル(時の経過)を学ぶ事で番組の構成、トークの寸法、適切な内容量、音楽とのバランス、聞き手への配慮への技量を学ぶ。実習を通してまずは声優・俳優である前にひとりの人間であること。魅力あふれるフリートークができるよう1年間指導致します。				
到達目標				
実習を通してまずは声優・俳優である前にひとりの人間であること。人と人を繋ぐ魅力あふれるフリートークができるよう1年間指導致します。				
回	課題名	課題内容		
1	トーク実習	自己紹介一人喋り実習		
2	トーク実習	日々の何気ない日常をテーマにトークすることに慣れる事		
3	トーク実習	ゴールデンウィークの思い出、日々を語る		
4	トーク実習	日々の何気ない日常をテーマにトークすることに慣れる事		
5	トーク実習	授業開始から1ヶ月が経って、感じた事、思った事		
6	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
7	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
8	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
9	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
10	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
11	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
12	トーク実習	夏休みの予定		
13	トーク実習	夏休みの思い出を語る		
14	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
15	トーク実習	前期を振り返る		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1応用		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
実際の番組を想定し、パーソナリティとしてさまざまなタイプの番組進行を疑似体験した上、番組をゼロから作る作業にも挑戦する。				
到達目標				
企画書の制作、プレゼンを踏まえ、チームを組んでスタッフ、出演者など担当を決め、チームワークを大切にしながら、リスナーに届けるつもりで企画を番組の形にする。				
回	課題名	課題内容		
1	番組制作実習①	チームの中で役割分担を決め、放送までの制作工程を決め、制作発表。		
2	番組制作実習②	制作準備。素材作成作業。事前録音するものや、効果音スタンバイ。		
3	番組制作実習③	番組制作のつづき。ランスルーなどを通し、時間調整、内容修正など。		
4	スポットCMを作ろう	橙美祭又は自主番組の宣伝スポットを制作。原稿所書きから音にするまで。		
5	制作番組発表(放送)	ゲネプロに続き放送(=発表)後、モニターをして感想、反省トーク。		
6	ソロ・フリートーク	冬をテーマにフリートーク。前期と比べ、慣れてきた感触はあるかな。		
7	インタビュー再び	二人で組み、テーマに沿ってインタビューしよう。		
8	役割を交替して	前期のゼスト役がインタビュアーになり、トークをしよう。		
9	今年の振り返り	あとひと月を切った今年、自分の中での2018年・三大できごとをしようかい。		
10	クロストーク	グループで今年のエンターテイメントを振り返って語り合おう。		
11	特別番組を想定して	クリスマス特番お想定。エピソード披露などのトークと持参曲の紹介。		
12	年明けのコメント	新春恒例「抱負」トーク。年度末、進級公演に向けて、2年次に向けて。		
13	舞台公演の宣伝	来月本番を迎える舞台公演のプロモーションをしよう。		
14	疑似公開放送	リスナーを前にしてのイベントを想定。紙芝居。		
15	一年間のまとめ	番組の後枠を想定し、この一年間の放送実習でトライしたことへの感想と今後に向けてのコメントを。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験(実技試験)実習評価(課題評価)小テストその他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技1基礎		黒沢有紀		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大学在学中からCM・仮歌などのスタジオワークに加え、バンドのコーラスなどの仕事をこなす一方、様々なバンド・ユニット活動を経て現在もライブ活動中。4オクターブの声域で、どんなジャンルのどんなタイプの曲も歌いこなすソウルフルなヴォーカリスト。			課題曲
講義概要				
ストレッチ & 発声は毎回授業頭に実施する。発声については徐々に難易度を上げていき、リズム・トレーニングを適宜組み込む。基本的には学生各人に自分で考えた課題曲を持ってきてもらい、歌唱した後に個別にアドバイスをしていくようなスタイルとする。手書きで歌詞カードを準備させ、歌詞の世界観をしっかりと意識させることを一年の大きな柱とする。				
到達目標				
まずは腹式呼吸を習得しお腹からしっかり声が出せること、カラオケ感覚ではなく、あくまでも人前で歌うというヴォーカリストとしての自覚をしっかりと持たせ、自分のカラーとは何かを模索しながら自分に合った楽曲を見つけていくことを目標とする。個々のレベルに応じて、各自の歌唱力のレベル・アップを図っていく。キー変更にも慣れてもらい、自分に合うキーを見つけさせる。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	第1回目なので、講義の方針・方向性などをレクチャーする。各自の自己紹介＋声域チェック&機材使用方法について説明する。次回までのアンケートを宿題とする。		
2	一人ずつ全員歌唱	各人の声や歌のレベルを把握するために、一人ずつ全員の前で自分らしい歌が表現できる自由曲を歌う。		
3	課題曲歌唱 (自由課題曲①)	この授業から毎回一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスするスタイルを適用。まずはメロディーが正確に歌えているか、声もしっかり出せているかを中心に。		
4	課題曲歌唱 (自由課題曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。まずはメロディーが正確に歌えているか、声もしっかり出せているかを中心に。		
5	課題曲歌唱 (自由課題曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。まずはメロディーが正確に歌えているか、声もしっかり出せているかを中心に。アップの場合は次の課題曲へ。		
6	課題曲歌唱 (自由課題曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。まずはメロディーが正確に歌えているか、声もしっかり出せているかを中心に。アップの場合は次の課題曲へ。		
7	課題曲歌唱 (自由課題曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。引き続き、メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感を目指す。		
8	課題曲歌唱 (自由課題曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。引き続き、メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感を目指す。		
9	課題曲歌唱 (自由課題曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。引き続き、メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感を目指す、アップの場合は次の課題曲へ。		
10	課題曲歌唱 (自由課題曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。引き続き、メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感を目指す、アップの場合は次の課題曲へ。		
11	課題曲歌唱 (自由課題曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感、さらに表現力強化へ。		
12	課題曲歌唱 (自由課題曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感、さらに表現力強化へ。夏休みの課題説明。		
13	夏休みの課題 課題曲歌唱	夏休み中の歌唱課題を一人ずつ実施&レポート提出。その後、通常授業実施。		
14	小テスト実施& 課題曲歌唱	ロングトーン(腹式呼吸の意識)・リズム・トレーニングの習熟度を一人ずつテスト。その後、通常授業実施。		
15	課題曲歌唱 (自由課題曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスをする。メロディーの正確性、声もしっかり出せているかに加えて、ピッチの安定感、さらに表現力強化へ。アップの場合は次の課題曲へ。前期の総括。		
備考	※課題曲の進捗については各自バラバラとし、講師側の判断で次の課題曲に進むこととする。100点を目指すのではなく、その曲の役割が終わったと思ったら、次の課題曲へ進ませる。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技1応用		黒沢有紀		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大学在学中からCM・仮歌などのスタジオワークに加え、バンドのコーラスなどの仕事をこなす一方、様々なバンド・ユニット活動を経て、現在も精力的にライブ活動中。4オクターブの声域で、どんなジャンルのどんなタイプの曲も歌いこなすソウルフルなヴォーカリスト。			課題曲
講義概要				
前期で各自の課題は見つかっているので、各自の課題克服に向けてさらにブラッシュ・アップする。自分自身の歌声に合った課題曲を選曲し、歌詞の世界観・ピッチ・曲の持つリズム・グルーブをしっかりと意識させる。				
到達目標				
一人の表現者・ヴォーカリストとしての自分のカラーを認識した上でのレベル・アップを目指す。集大成として、レコーディングを実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	課題曲歌唱 (自由曲①)	毎回一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスするスタイルを適用。新曲は最初に朗読させる。		
2	課題曲歌唱 (自由曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
3	課題曲歌唱 (自由曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
4	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
5	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
6	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
7	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
8	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
9	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
10	レコーディング用 課題曲決め	レコーディング用の課題曲を決定。複数曲から、1年間の集大成にふさわしい、自分のカラーが出せるような曲を最終決定する。		
11	レコーディング用 課題曲歌唱	レコーディング用の課題曲を、一人ずつ歌唱してもらい、アドバイス。		
12	レコーディング用 課題曲歌唱	レコーディング用の課題曲を、一人ずつ歌唱してもらい、アドバイス。		
13	レコーディング (後期試験)	課題曲のレコーディング(クラスの半数)。		
14	レコーディング (後期試験)	課題曲のレコーディング(クラスの半数)。		
15	レコーディングの振り返り 1年の総括	レコーディング曲を聴き返して、1年の総括。		
備考	※ストレッチ&発声は毎回授業頭に実施する。その他リズム・トレーニングなどは適宜組み込む。腹式呼吸の意識・発声パターンも徐々に難度を上げていく。課題曲の進捗については、各自バラバラとし、講師側の判断で次の課題曲に進むこととする。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 基礎		勝生真沙子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュース所属のベテラン声優でセーラームーンシリーズやガラスの仮面、BLEACH、ナルトなど有名アニメ作品のメインの役をこなし、外画においても数多くのメインの役に関わってきた。			台本
講義概要				
ボイスドラマや演劇台本をベースに、実践を繰り返し演じる楽しさを知る。				
到達目標				
想像力を養い、芝居を感情の開放、声、体、感情を前面に出して開放して表現することを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	台本「ファンタジード ドラマM」	台本「ファンタジード ドラマM」を使い、生徒達の個性を把握する。 基本的な声質、芝居に対する思考等の確認。		
2				
3				
4				
5				
6				
7	↓			
8	台本「バンクバンレ ッスン」	台本「バンクバンレ ッスン」を使い、想像力を養い、 自由な発想を生かした、人物を作り上げる作業を行なわせる。 距離感を自覚させる発生指導。 芝居を楽しむ思考に導く。		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	↓			
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 応用		勝生真沙子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュース所属のベテラン声優でセーラームーンシリーズやガラスの仮面、BLEACH、ナルトなど有名アニメ作品のメインの役をこなし、映画においても数多くのメインの役に関わってきた。			オリジナル台本
講義概要				
ボイスドラマや絵本をベースに、実践を繰り返し演じる楽しさを知る。 芝居を感情の開放、声、体、感情を前面に出して開放して表現することを学ぶ。				
到達目標				
ボイスドラマを通してセリフの読み方など、マイク前で表現できるようにする。				
回	課題名	課題内容		
1	台本「ここだけの話」	台本「ここだけの話」を使い、会話を重点的に指導。 台本に書かれた台詞から、登場人物の個性を認識し、その感情を表現する力を養う。 きめの細かい感情表現。言葉の伝え方等。		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8	↓			
9	台本「8月のシャハラザード」	台本「8月のシャハラザード」を使い、 台本には書かれていない登場人物の存在意味、 また人々に関わる事で人間は成長する事を理解し、 それを演じる楽しさを感じてもらう。		
10				
11				
12				
13				
14				
15	↓			
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクトテクニック 基礎		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			台本
講義概要				
演技するとはどういうことか？ 自分自身の声や身体の魅力を見つけ出し、それを利用して、表現する楽しさを学ぶ。				
到達目標				
自分らしさを演技に結び付けるテクニックを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介ほか	自己紹介と授業の説明。		
2	演技とは？	演技するとは？俳優の仕事とは？どういう事なのか話し合う。		
3	身体の発見	自分の身体のクセを知る。身体をリラックスさせていく。		
4	呼吸の発見	良い発声とはどういうことか？自分の呼吸の量を認識する。脇腹・背中を意識する。		
5	声の発見①	声を体に共鳴させる。喉を開いた発声。		
6	声の発見②	丹田を意識した発声。声のベクトル。		
7	身体から考える①	相手のポーズから発想する。『ワンポーズ・ワンセーブ』		
8	身体から考える②	ワンポーズエチュード		
9	集中の輪	第123の輪を意識して芝居を創作する。発表。		
10	与えられた状況	4つのWを意識して創作をする。発表。		
11	与えられた状況②	4つのWを意識して創作をする。考察。		
12	目的と障害①	目的と障害を意識して創作する。発表。		
13	目的と障害②	目的と障害を意識して創作する。考察。		
14	独り芝居を作る①	夏休みに作った一人芝居を発表。		
15	独り芝居を作る②	夏休みに作った一人芝居を考察。		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2025	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクトテクニック 応用		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			台本
講義概要				
卒業公演作品の稽古を通して、役の分析や作品の本読みを行い作品理解を深める。				
到達目標				
卒業公演作品を通して演じる楽しさを学ぶ				
回	課題名	課題内容		
1	本読み	本読み		
2	台本分析①	読んでみての感想		
3	役の分析①	登場人物を研究してみる		
4	役の分析②	登場人物を研究してみる		
5	役の分析③	登場人物を研究してみる		
6	役の分析④	登場人物を研究してみる		
7	作品を作るには①	テーマ(目標)を決める。		
8	作品を作るには②	舞台での見せ方を考える。		
9	作品を演じる①	作っていく。		
10	作品を演じる②	作っていく。		
11	作品を演じる③	作っていく。		
12	作品を演じる④	作っていく。		
13	作品を演じる⑤	作っていく。		
14	作品を演じる⑤	作っていく。		
15	作品を演じる⑤	作っていく。		
16				
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義	演習・実験・実技・実習	筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習2 基礎		田窪一世		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「座・キューピーマジック」を主宰。「JIN-仁-」「コードブルー」「ショムニ」など話題のTVドラマ・映画などに多数出演			僕と真夜中の僕
講義概要				
意識を相手役に向ける感覚を鍛え、個人プレイではなくチームプレイの演技を学ぶ。 卒業公演に向けて、台本を基に演技テクニック学ぶ。				
到達目標				
テレビや映画などで通用するナチュラルな演技が出来るよう指導します。				
回	課題名	課題内容		
1	会話	相手役と会話するように演技する。		
2	伝達	三人一組で背中合わせになって「気」を伝える。		
3	距離感	パーソナルスペースを実感する。		
4	錯覚	教室に二人きりになって演技する。		
5	闘争	エチュードとして口喧嘩する。		
6	呼吸	演技中に息を吸う吐くを意識する。		
7	駆け引き	相手役の心にダメージを与える。		
8	三題噺	落語の三題噺を即興で語る。		
9	背景	役のバックグラウンドを全員で考える。		
10	童話	ジェスチャーで童話を演じる。		
11	アクション	動きを先行させる演技。		
12	性格	自分とは違う性格の人物を演じる。		
13	記憶	古い記憶を具体的に語る。		
14	客観	役を取り替えて演じる。		
15	エチュード	役と設定は台本通り、台詞は自由で演じる。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2025	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験(実習評価)・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習2 応用		田窪一世		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「座・キューピーマジック」を主宰。「JIN-仁-」「コードブルー」「ショムニ」など話題のTVドラマ・映画などに多数出演			シェイクスピア・モリエール
講義概要				
意識を相手役に向ける感覚を鍛え、個人プレイではなくチームプレイの演技を学ぶ。 卒業公演に向けて、台本を基に演技テクニック学ぶ。				
到達目標				
シェイクスピア「十二夜」モリエール「病は気から」共通の内容です。古典劇を演じる際に必要な脳の基礎訓練を行います。				
回	課題名	課題内容		
1	息継ぎ	「、」で息継ぎしないで一気に喋る。ロングトーン。		
2	プライベート	プライベートとパブリックを別けて喋る。		
3	キャラクター	キャラクターを変えて演じる。		
4	喜怒哀楽	喜怒哀楽を強調して演じる。		
5	アクション	アクションを大きく、躍動して演じる。		
6	呼吸	呼吸音を出して喋る。特に吸う音を意識する。		
7	低音	低い音を意識して発声する。		
8	走る、止まる	キビキビ動く練習。		
9	台詞を重ねる	相手の台詞を聞いて、間を詰める練習。		
10	台詞を噛まない	台詞を噛んだらその場の最初からやり直す。		
11	リアクション	相手の台詞をリアクションする訓練。		
12	アーチキレーション	母音の形に口を開けて喋る練習。		
13	ウオント	役がしたいことを果たす。		
14	相手	相手に向かって喋る、発表や独り言にならないように。		
15	壊す	積み重ねて来たものを一旦壊す。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義	演習・実験・実技・実習	筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2 基礎		松田洋治		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	スタジオジブリ作品「もののけ姫」アシタカ役や「風の谷のナウシカ」アスベル役等で出演の他、子役時代からTV・映画・舞台など多数出演。			「夏の夜の夢」Wシェイクスピア・作 小田島雄志・訳
講義概要				
卒業公演「夏の夜の夢」				
到達目標				
古典劇を通じて、舞台俳優としてのスキルを身につけ、集大成として本格的な卒業公演を行う。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介 オリエンテーション	自己紹介 自己アピール 演劇に関する基礎講義		
2	ワークショップ	精神と肉体の解放		
3	ワークショップ	声と身体のコミュニケーション		
4	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
5	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
6	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
7	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
8	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
9	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
10	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
11	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
12	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
13	ワークショップ 本読み	エチュード 「夏の夜の夢」本読み(オーディション)		
14	立ち稽古①	ミザンセーヌ作り		
15	立ち稽古②	ミザンセーヌ作り		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2 応用		松田洋治		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	スタジオジブリ作品「もののけ姫」アシタカ役や「風の谷のナウシカ」アスベル役等で出演の他、子役時代からTV・映画・舞台など多数出演。			夏の夜の夢
講義概要				
<p>年度末に2年間の集大成として、外部上演する卒業公演の為の指導を行う。            舞台演劇の為のワークショップ、エチュード等も行い、声優として必要になる舞台俳優としてのスキルを磨く。</p>				
到達目標				
卒業 舞台公演の制作を通じて演劇の製作過程を実践的に習得する。				
回	課題名	課題内容		
1	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
2	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
3	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
4	立ち稽古	立ち稽古		
5	立ち稽古	立ち稽古		
6	立ち稽古	立ち稽古		
7	立ち稽古	立ち稽古		
8	立ち稽古	立ち稽古		
9	立ち稽古	立ち稽古		
10	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
11	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
12	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
13	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
14	通し稽古 修正	衣装付き通し稽古 修正		
15	卒業公演考察	卒業公演の振り返り		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース	
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース	
学期	総時間数	授業の方法		評価方法	
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
科目名		担当講師		評価基準	
アフレコ実習A 基礎		こぶしのぶゆき		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材	
有	株式会社 賢プロダクション所属			アニメーション映像 アフレコ台本	
講義概要					
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、反復する事でマイク前で演技に慣れる。  その上で、技巧の習得ではなく、感情の根本を掴む事を主とする。</p>					
到達目標					
<p>自分の感情を解放する術を、ただ学ぶのではなく、自ら気付ける事を目標とする。</p>					
回	課題名	課題内容			
1	オリエンテーション①	授業の進め方レクチャー等の座学と、現場で使用しているアフレコ台本で、読解力を試す。			
2	オリエンテーション②	アフレコについての座学と、実際にマイク前でマイクワークを行い、アフレコの感覚を知る。			
3	アフレコ実習①	アニメ作品AのAパートをアフレコ実習			
4		アニメ作品AのBパートをアフレコ実習			
5		アニメ作品Aを選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
6		アフレコ実習②	アニメ作品BのAパートをアフレコ実習		
7					
8	アニメ作品BのBパートをアフレコ実習				
9	アフレコ実習③				
10		アニメ作品Bを選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
11		『熱血最強ゴウザウラー』Aパートをアフレコ実習			
12					
13		『熱血最強ゴウザウラー』Bパートをアフレコ実習			
14	アフレコ実習④				
15		『熱血最強ゴウザウラー』を選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
備考					

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習A 応用		こぶしのぶゆき		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「涼宮ハルヒの憂鬱」「SHIROBAKO」などのアニメ作品に出演。 声優プロダクション 賢プロ所属			アフレコ台本
講義概要				
実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。				
到達目標				
アニメーション作品のアフレコに纏わる流れを学ぶ。 自分の感情を解放する術を、学ぶのではなく自ら気付ける事を目標とする。				
回	課題名	課題内容		
1	舞台仕立て エチュード	「行間を埋める」という事を、自分の身体を使って演じる事で 実感出来る様にする。		
2	↓	上記同内容を、本番仕立てで通す。 加えて、後のアフレコ課題用にそれを録画する。		
3	アフレコ課題④	アニメ作品DのAパートをアフレコ実習		
4	↓	↓		
5		アニメ作品DのBパートをアフレコ実習		
6	↓	↓		
7	アフレコ課題⑤	アニメ作品EのAパートをアフレコ実習		
8	↓	↓		
9		アニメ作品EのBパートをアフレコ実習		
10	↓	↓		
11	アフレコ課題⑦	TVCMナレーションアフレコ		
12	アフレコ課題⑥	後期1~2週目の授業で録画した自分自身の映像に自分自身でアフレコをする。 文字通り自分を客観的に見る事で、自分の気持ちの動きや個性を知る。		
13	後期修了試験	アニメ作品Fをアフレコ実習。2週掛けて、全てを修了試験として扱う。配役 からの脱落者を敢えて出し、俳優業の厳しさを最後にもう1度認識し直させる。 ※この回、2コマ目にオペレーターさんを希望		
14	↓	卒業公演劇場入り		
15	↓	※この回も、2コマ目にオペレーターさんを希望		
16	↓			
備考	【備考】 ※11週目の授業は木曜クラスと金曜クラスで実施日が異なります。ご注意ください。 ※赤色の部分と赤文字の週の全てのコマにオペレーターさんを希望			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・実技試験 <b>実習評価</b> 課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習B 基礎		河相智哉		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>外画吹き替えのあらましと演技指導。 限られた時間と条件の中で、商用コンテンツとして耐え得る演技を行うための下地作り。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	イントロダクション	自己紹介、外画作品A #43台本配布、台本記号の解説など		
2	外画作品A #43①②	①配役、Vチェック ②Aパート (2~3回転)		
3	外画作品A #43③④	③Bパート (2~3回転) ④日本語版鑑賞、次回台本配布、次回V (原音) 鑑賞		
4	外画作品B #10 R-1①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
5	外画作品B #10 R-1③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
6	外画作品B #10 R-2①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
7	外画作品B #10 R-2③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
8	外画作品B #10 R-3, 4①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
9	外画作品B #10 R-3, 4③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
10	外画作品B #10 R-5, 6①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
11	外画作品B #10 R-5, 6③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
12	外画作品B #10 R-1、R-2 録音①②	①本番配役確認、R-1 リハ・ラストス・本番 ②R-2 リハ・ラストス・本番		
13	外画作品B #10 R-3・4、R-5・6 録音①②	①R-3・4 リハ・ラストス・本番 ②R-5・6 リハ・ラストス・本番		
14	外画作品B #10 鑑賞①②	①鑑賞およびディスカッション ②ディスカッション、次回台本配布		
15	ボイスオーバー作品①②	①V確認および練習 ②練習および次回台本配布		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技（実習）		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習B 応用		河相智哉		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。				
到達目標				
前期に引き続き、外画吹き替えの演技指導。複雑な情動を必要とする作品や、ボイスオーバーなどを経験させ、商用コンテンツにおける、より多彩で、きめ細かい演技の必要性を感じてもらうことで、『顧客が作品に求めるものは何か』を考えさせる。				
回	課題名	課題内容		
1	外画作品C #90 R-2①②	①Vチェック ②第1班 練習		
2	外画作品C #90 R-2③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
3	外画作品C #90 R-3①②	①Vチェック ②第1班 練習		
4	外画作品C #90 R-3 ③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
5	外画作品C #90 収録①②	①Aパート ラステス・本番 ②Bパート ラステス・本番		
6	外画作品C #90 鑑賞など	①外画作品C 録音・日本語版鑑賞 ②次回作品台本配布・素材鑑賞・配役など		
7	外画作品D #41 Aパート①②	①Vチェック ②第1班 練習		
8	外画作品D #41 Aパート③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
9	外画作品D #41 Bパート①②	①Vチェック ②第1班 練習		
10	外画作品D #41 Bパート③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
11	外画作品D #41 収録①②	①Aパート リハ・ラステス・本番 ②Bパート リハ・ラステス・本番		
12	外画作品D #41 鑑賞など	①外画作品D#41 録音・日本語版鑑賞 ②ボイスオーバー台本配布・配役など		
13	ボイスオーバー作品 (60分×3コマ編成)	①R-1 Vチェック ②第1班 ③第2班		
14	(卒業公演準備日)	(卒業公演準備日)		
15	ボイスオーバー作品 (60分×3コマ編成)	①R-2 Vチェック ②第1班 ③第2班		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習2 基礎		室川慎也		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	エス・オー・プロモーション所属。MC、キャスター、実況、ナレーター、スタジアムDJ【メディア出演歴】U-NEXT格闘技「RWS」「BOM」、テレビ埼玉「高校野球ダイジェスト」、J:COM「デイリーニュース」など			プリント
講義概要				
アナウンス実習では敬語や文法のほか実戦形式の授業を行う。台本や原稿の文章を正しく読み、理解することを目指す。				
到達目標				
しゃべりの仕事は、声優はもちろんのこと、MC、DJ、キャスター、ナレーターなど様々ある。国語力をつけていながら、本番に近い形での授業も行いオールマイティなしゃべり手を目指す。				
回	課題名	課題内容		
1	ガイダンス	業界研究 授業内容説明 自己PR 色の心理学		
2	語彙	ことわざ、四字熟語 好きなもの話		
3	漢字	難読漢字、間違えやすい日本語、アニカレニュースキャスター		
4	外来語	カタカナ語 三題噺		
5	オノマトペ	擬音語 擬態語 ハロウィンイベントMCまたはレポーター		
6	一般教養	時事用語、ラグビーレクチャー		
7	心理学	ショッピングナビゲーター 商品の見せ方		
8	実況	格闘技の試合を実況しよう		
9	朗読	ゲームの紹介動画ナレーション		
10	朗読	スポーツ番組ナレーション ラグビーの試合		
11	語彙	説明カトレーニング ラジオDJ		
12	トーク	学園祭トークショー ファンからの質問相談に答えよう		
13	朗読	ステーキアニカレ、コーヒーアニカレCMナレーション		
14	朗読	野球ニュースナレーション原稿読み		
15	まとめ	これまでを振り返って		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習2 応用		室川慎也		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	エス・オー・プロモーション所属。MC、キャスター、実況、ナレーション、スタジアムDJ【メディア出演歴】テレビ埼玉「高校野球ダイジェスト」、J:COM「デイリーニュース」など			プリント配布
講義概要				
後期の授業では音声言語に力点を置き「ボイストレーニング」をはじめ「朗読」や「ナレーション」「CM」「放送劇」など実践的な演習も多く取り入れ各人の魅力を最大限に引き出し表現活動の楽しさを実感させる。				
到達目標				
「日本語検定」受験への対策授業を実施。そして今後、声優として芸域を広げ、さらに飛躍するため何時如何なる場合でも“自分らしさを失わず適切かつ品格のあるトーク”を身に付けるため授業を実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	腹式呼吸・胸式呼吸	呼吸コントロール・呼吸配分		
2	発声・発音練習	発音基本練習(ア〜ワ行)		
3	発声・発音練習	母音のトレーニング・滑舌法		
4	発声・発音練習	子音のトレーニング・滑舌法		
5	日本語検定模擬試験	授業内 本番方式		
6	発声・発音練習	拗音・特殊音のトレーニング		
7	発声・発音練習	共通語の濁音・鼻濁音のきまり		
8	発声・発音練習	母音の無声化・長音		
9	共通語のアクセント	アクセントの型・種類		
10	読んで伝える	CMの読み方 朗読のポイント		
11	読んで伝える・実習	名作の朗読		
12	ナレーション・実習	文化映像の語り		
13	朗読・実習	アニメーション映像の朗読		
14	朗読劇	ロールプレイング実習など		
15	後期試験	授業内試験・・・対面方式		
備考	※11月初旬 日本語検定試験			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習2 基礎		宮永麻衣		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「フラカッパー」「セサミストリート」「おねがいマイメロディ」などで声優として活躍する傍ら、大林宣彦監督の「風の歌が聴きたい」など映像・舞台などでも活躍。			配布プリント アクセント辞典
講義概要				
明瞭な発音・発声を軸に、基本的なスタイルの原稿に取り組む				
到達目標				
自然な声で、正しいアクセントや聞き取りやすく美しい発音を意識して話すことができる 早口すぎず、丁寧でメリハリのある話し方を身につける				
回	課題名	課題内容		
1	NA① 1/3	「たまごダブルバーガー」 アーティキュレーション、特殊拍の発音、等拍性を意識する 母音の無声化のルールをおさらいする		
2	NA① 2/3			
3	NA① 3/3			
4	NA② 1/3	「上野妙義坊」 母音の響きや鼻濁音など、発音のやわらかさと美しさを追求する 息遣いを意識し、ゆったりとしたしゃべりのペースコントロールをおこなう		
5	NA② 2/3			
6	NA② 3/3			
7	NA③ 1/3	「人形道祖神」 段落間の接続関係を意識し間(ポーズ)の取り方を考える		
8	NA③ 2/3			
9	NA③ 3/3			
10	NA④ 1/3	「たべるのはどこ」 アクセント辞典の読み取り方、アクセント変化の法則を確認する 情報を正確にとらえ、より良く伝える		
11	NA④ 2/3			
12	NA④ 3/3			
13	前期テスト	授業使用課題(NA④)と自己準備課題(NA⑤)を使用した実技試験で習熟を確認する		
14	対策 1/2	オーディション対策		
15	対策 2/2	自分の持ち味を生かしアピールする方法を模索する		
備考	NA⑤「湿原シンフォニー」			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習2 応用		宮永麻衣		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「フラカッパー」「セサミストリート」「おねがマイメロディ」などで声優として活躍する傍ら、大林宣彦監督の「風の歌が聴きたい」など映像・舞台などでも活躍。			配布プリント アクセント辞典
講義概要				
様々なスタイルのナレーションに対応するチカラを付ける。				
到達目標				
要旨をつかみ、聞き手にわかりやすく伝える訓練をします。 また、滑舌、発声の基本を大切に、丁寧な表現を目指します。				
回	課題名	課題内容		
1	NA①1/3	「ふしぎなくもの糸」 十分に内容の理解を深め、文の構造などの細部にも注目します 長い文脈で話す息づかいをつかみ、自然な間(ポーズ)の取り方を体得します		
2	NA①2/3			
3	NA①3/3			
4	NA②1/3	「生命保険の起源」 句読点とポーズ、イントネーションの基本を意識します。 語句や意味のまとまりを考え、息遣いやイントネーションを考えて話すことを目標とします。		
5	NA②2/3			
6	NA②3/3			
7	CMNA1/2	「CMナレーション」 秒数の制限の中で、情報を際立たせて伝えます。自分の持ち味を生かして、商品の魅力を訴求します。		
8	CMNA2/2			
9	NA③1/2	「人形道祖神」 「読む」ことを「話す」ことに近づけることで、わかりやすく、生き生きと伝えることを目標とします		
10	NA③2/2			
11	NA④1/3	「たべるのはどこ」 アクセント辞典の読み取り方、アクセント変化の法則など、仕事をこなしていくうえで必要な準備力を養います 聞き手を意識したスピード、間、緩急の取り方を模索します		
12	NA④2/3			
13	NA④3/3			
14	休講	卒業公演劇場入り		
15	後期テスト	アクセント辞典に記載されている記号のおさらいの筆記テストと、短い実技課題で習熟を確認します		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技2 基礎		藤田大吾		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	音楽ユニット「alüto」としてメジャーデビュー。NARUTOのテーマソングをはじめ、関ジャニ∞やsweetyなど人気アーティストへの楽曲提供などを務める。			楽譜のコピー
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、個々の自由曲でのボーカルレッスンを実施します。				
到達目標				
目標を明確にし、卒業に向けての実践的な授業を中心に卒業後へ向けての準備をする。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	名前、あだ名、出身、将来の夢と目標発表		
2	楽曲、歌唱力チェック	キーの説明、レッスン用語の説明、楽曲歌唱（キー設定）		
3	歌詞読解	持って来た楽曲の歌詞を深く読み解く、主人公を作り上げる		
4	腹式呼吸1	腹式呼吸の説明、お腹を意識したブレストレーニング、楽曲歌唱		
5	腹式呼吸2	お腹を意識したブレストレーニング復習、楽曲歌唱		
6	腹式発声1	お腹を意識した発声、あいうえおの母音の開口確認、楽曲歌唱		
7	腹式発声2	お腹を意識した発声復習、楽曲歌唱		
8	地声での発声1	喉を開ける練習、喉を開けたままを意識して発声、楽曲歌唱		
9	地声での発声2	喉を開けたままを意識して発声の復習、楽曲歌唱		
10	リズムトレーニング	拍子の説明、表拍、裏拍の説明と実践、楽曲歌唱		
11	楽曲変更	授業に慣れて来た所で今までやってた曲と真逆のジャンルの楽曲歌唱（キー設定）		
12	音階トレーニング1	ピアノの音階での発声、音を繋げる練習。楽曲歌唱		
13	音階トレーニング2	ピアノの音階での発声復習、楽曲歌唱、夏休みの課題		
14	前期まとめ1	夏休みの課題チェック、基礎練習個人チェック、楽曲歌唱		
15	ライブ実践	イベント名やMCを考えてのライブ形式		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	アニメ声優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技2 応用		藤田大吾		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	音楽ユニット「alüto」としてメジャーデビュー。NARUTOのテーマソングをはじめ、関ジャニ∞やsweetyなど人気アーティストへの楽曲提供などを務める。			楽曲
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、個々の自由曲でのボーカルレッスンとレコーディングを実施します。				
到達目標				
卒業に向けての実践的な授業を中心に卒業後へ向けての準備をする。 また、レコーディングも実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	マイク実践1	マイクの構造から持ち方、ケーブルの巻き方、機材の使い方、マイクチェックの方法		
2	マイク実践2	前回のマイク周辺機器の操作を個人で実践、マイクでの歌唱		
3	マイク実践3	基礎練習、マイクでの歌唱		
4	パフォーマンスカアップ	ハンドマイクでの歌唱、感情表現、マイクを持つてのパフォーマンスを意識する		
5	パフォーマンスカアップ	ハンドマイクでの歌唱、感情表現、マイクを持つてのパフォーマンスを意識する		
6	レコーディング曲選定	曲選び、キーを合わせ、フルコーラス歌って確認		
7	レコーディング曲選定	前回の曲から変更も可、選曲の最終調整		
8	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、メロディー確認		
9	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、ピッチ、リズム等確認		
10	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、ピッチ、リズム等確認		
11	模擬レコーディング	レコーディングの手順説明、ヘッドホン着用でフルコーラス歌唱練習		
12	模擬レコーディング	ヘッドホン着用でフルコーラス歌唱練習		
13	レコーディング実践	レコーディングスタジオでのレコーディング実践		
14	レコーディング実践	レコーディングスタジオでのレコーディング実践		
15	ライブ実践	イベント名やMCを考えてのライブ形式。時間余れば業界、養成所の実状等の話		
備考				

# シラバス

声優学科  
声優俳優コース

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習1 基礎		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			日本語検定中級テキスト、公式問題集、アクセント辞典、オリジナルプリント
講義概要				
11月実施予定の日本語検定3級合格を目指し、テキストを中心に授業を進行する。授業のはじめには、毎回漢字等の知識を問う小テストを実施。アナウンスの基本である発声等のレッスンも導入し、様々な原稿を使用しての実技も行う。				
到達目標				
アナウンス実践に必要な基礎技術を身に着けながら、日本語検定3級合格を目指す。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	効果的な自己PR、会話力		
2	発声発音の基礎	腹式呼吸、発声、鼻濁音、発音の基本練習、無声化、滑舌		
3	テキスト「語彙」 ナレーション	音声表現の技術、語彙、イベント紹介ナレーション		
4	テキスト「語彙」	語彙、絵本朗読やナレーションの基本		
5	テキスト「表記」 絵本朗読初級	表記、特殊拍、絵本「うさぎとかめ」		
6	テキスト「表記」 絵本朗読初級	表記、絵本「うしかたやまんば」		
7	テキスト「敬語」 店紹介ナレーション	敬語、レストラン紹介ナレーション		
8	テキスト「敬語」 CMナレーション	敬語、さまざまなCMナレーション①		
9	テキスト「敬語」 CMナレーション	敬語、さまざまなCMナレーション②		
10	テキスト「敬語」 エッセイ	敬語、エッセイ「わたしのねがい」		
11	テキスト「文法」 ニュース原稿	文法、さまざまなニュース原稿		
12	テキスト「文法」 番組ナレーション	文法、さまざまな番組ナレーション		
13	テキスト「文法」 絵本朗読中級	文法、絵本「スイミー」		
14	テキスト「文法」 絵本朗読中級	文法、絵本「スイミー」		
15	前期試験	実技試験（滑舌、これまでの実技内容から一つ披露）		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アナウンス実習1 応用		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			日本語検定中級・アクセント辞典
講義概要				
11月の日本語検定までは過去問やポイントの解説に重点を置く。 試験後は毎回、授業の最初に、日本語の基本的な知識、間違っている言葉の確認を行う。				
到達目標				
前期に引き続き腹式呼吸、発声、発音、母音の口の形、滑舌を毎回行い、豊かな声量、確かな発音、表現力を身につけさせる。 実習を多く取り入れ、ニュース、レポート、司会原稿を多数取り入れ、学んできたことを生かす実習を行う。 アナウンスの現場に触れてもらうことで可能性を広げていく。				
回	課題名	課題内容		
1	過去問	日本語検定過去問・解説。		
2	過去問	日本語検定過去問・解説。		
3	過去問	日本語検定過去問・解説。		
4	過去問	日本語検定過去問・解説。		
5	過去問	日本語検定過去問・解説。		
6	アナウンス実習	自己分析・自分に似合う色		
7	アナウンス実習	スポーツニュース		
8	アナウンス実習	天気予報		
9	アナウンス実習	プラネタリウムナレーション①		
10	アナウンス実習	プラネタリウムナレーション②		
11	アナウンス実習	グルメレポーター（おはしの持ち方、所作等含む）		
12	アナウンス実習	街角レポーター		
13	アナウンス実習	司会・物語朗読		
14	アナウンス実習	詩の朗読		
15	後期試験	実技試験（自己PR・早口言葉・初見ナレーション原稿）		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習1 基礎		栗原 功平		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「スーパーエキセントリックシアター」所属			発声・滑舌などのプリント 抜粋台本 短編台本 など
講義概要				
表現をするために必要な基礎能力・知識(人間が会話する過程など)を身につける。 また、お芝居をする上でどれほどの準備と熱量が必要なのかを授業を通じて体感してもらう。				
到達目標				
お客さんに楽しんでもらえる作品を作るにあたり、どういった過程・準備が必要かを体感してもらう。 (役者が基礎として身につけなくてはならない発声・滑舌・アクセントなどの能力、セリフを自分の言葉にする、相手の言葉にリアクションをとる、台本を読解する、身体を表現する、自分の個性を知り自己プロデュース能力を身につける、熱量を持つ)				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介・自己PR	授業の説明・自己紹介・自己紹介を通じて自分の個性を誇張して表現する		
2	発声・滑舌 顔の体操・肉体作り	プリントを使って発声・滑舌の訓練、鏡を使って顔の体操 プランクなどの筋肉トレーニング		
3	同上 シアターゲーム	同上、シアターゲームを通して演技の基礎的な能力を楽しみながら身につける		
4	セリフを使った演技 (独白)	独白の台本を使って、読解・表現の出し方を学ぶ お芝居で疲れる感覚を体感してもらう		
5	セリフを使った演技 (二人芝居)	二人芝居の台本を使って、読解・会話・表現の出し方を学ぶ お芝居で疲れる感覚を体感してもらう		
6	同上	同上		
7	セリフを使った演技 (四人芝居)	四人芝居の台本を使って、読解・会話・表現の出し方・周りを見る力を学ぶ		
8	同上	同上		
9	短編台本を演じる (複数人芝居)	1つの台本を通して、読解・会話・表現の出したか・周りを見る力を学ぶ お客さんに見てもらうまでに、役者が準備すべきことを学ぶ		
10	同上	同上		
11	同上	同上		
12	同上	同上		
13	同上	同上		
14	同上	同上		
15	同上	クラス内発表会 お客さんに見てもらうことで表現がどのように変わるのかを実感する		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習1 応用		関貴昭		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「スーパーエキセントリックシアター」所属			発声・滑舌などのプリント 抜粋台本 短編台本 など
講義概要				
俳優としての体づくり、発声等の基礎を学ぶ。				
到達目標				
また、俳優としての舞台上での表現方法、演技力の向上を『舞台』に立って活躍する技術を学びます。				
回	課題名	課題内容		
1	読み稽古	台本読み 稽古		
2	読み稽古	台本読み 稽古		
3	立ち稽古	立ち稽古		
4	立ち稽古	立ち稽古		
5	立ち稽古	立ち稽古		
6	立ち稽古	立ち稽古		
7	立ち稽古	立ち稽古		
8	立ち稽古	立ち稽古		
9	立ち稽古	立ち稽古		
10	立ち稽古	立ち稽古		
11	立ち稽古	立ち稽古		
12	立ち稽古	立ち稽古		
13	立ち稽古	立ち稽古		
14	通し稽古	通し稽古		
15	通し稽古	通し稽古		
備考	【教科書】鼻濁音について、あいうえお、のみのぴこ、おじぞうさん、グリーンルーム			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技 実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習1 基礎		宇都より		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	東京アナウンスアカデミー声優科卒。ナレーターキャリア25年以上。声優事務所を経て角川書店映像部門の専属ナレーターとなる。映像制作キャスティング、MAディレクター、デスク、編集などを兼務。現在は企業ナレーションを中心に、CMナレーション、官公庁のVP・PV、美術館のポイスガイド、VRポイス、医療機関や公共機関アナウンスなど年間250~300本ほどのナレーションを担当している。			オリジナル原稿 OA原稿 OA映像
<p>前期 ①ナレーションについての理解を深めることができる。②クセのない基本の読みが出来るようになる 後期 ①原稿を読む上での基本的な技術を習得し、原稿と映像に合わせてナレーションを読めるようになる。 ②ナレーションという仕事をしてみたいと思えるようになる</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きとした声を出せるようになる</li> <li>・文章を正確に読めるようになる</li> </ul>				
	課題名	課題内容		
1	ガイダンス・課題原稿配布	授業の説明。講義内容の説明をする。質疑応答。		
2	自己紹介	自己紹介 1回目		
3	ナレーションの種類と役割	ナレーションにはいろいろなジャンルがあることを理解する。アナウンサー、ナレーター、俳優など、それぞれの特徴を生かしたナレーションの読みがあることを理解する。		
4	CMナレーション体験「ミサワホーム」	テレビ放送されたCMナレーションを体験する。		
5	CMナレーション体験「ミサワホーム」	実際にナレーション映像に合わせて原稿を読み、ナレーションへの理解を深める。		
6	母音法を学ぶ	母音読みの重要性を理解する。		
7	アナウンス読みの基礎練習	NHK作成の練習問題を使用する。(一部オリジナル作成)		
8	アナウンス読みの基礎練習	基本的な文章の読み方を理解できる。主にイントネーション、プロミネンスを学ぶ。		
9	ストレートナレーション「交通安全メモ」	NHKで放送された短い原稿を使用し、ストレートナレーションの読み方を学ぶ。		
10	ストレートナレーション「交通安全メモ」	アナウンス読みの基礎を踏まえ、イントネーション、プロミネンスに加え、アーティキュレーション、フレージング、助詞や語尾の処理などについて理解できるようになる。		
11	ストレートナレーション「交通安全メモ」			
12	前期試験準備	これまでの復習		
13	前期試験	前期に行った課題の中からテストを行う		
14	前期試験			
15	フィードバック	前期試験のフィードバック		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
ナレーション実習1 応用		宇都より	優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	東京アナウンスアカデミー声優科卒。ナレーターキャリア25年以上。声優事務所を経て角川書店映像部門の専属ナレーターとなる。映像制作キャスティング、MAディレクター、デスク、編集などを兼務。現在は企業ナレーションを中心に、CMナレーション、官公庁のVP・PV、美術館のポイスガイド、VRポイス、医療機関や公共機関アナウンスなど年間250~300本ほどのナレーションを担当している。			MA原稿と映像など
講義概要				
①ナレーションについての理解を深めることができる。 ②原稿を読む上での基本的な技術を習得し、原稿と映像に合わせてナレーションを読めるようになる。 ③ナレーションという仕事をしてみたいと思えるようになる。				
到達目標				
①原稿によって求められる読み方を理解する。(アナウンス、ストレートナレーション、バラエティナレーションなど) ②それぞれの原稿を商品になるよう仕上げる。				
回	課題名	課題内容		
1	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」説明・原稿確認		
2	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」練習		
3	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」まとめ練習		
4	NHK 1分動画ナレーション	NHK「水害から命と暮らしを守る～非常用持ち出し袋の用意を！」オーディション形式で発表		
5	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション 説明・原稿確認		
6	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション 練習		
7	三井住友銀行	「スマートフォンアプリをご存じですか？」ナレーション オーディション形式で発表		
8	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン 説明・原稿確認		
9	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン 練習		
10	Disney プラスαストーリー	vol1「劇団四季 咲妃みゆ」バージョン オーディション形式で発表		
11	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョン 説明・原稿確認		
12	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョンバージョン 練習		
13	Disney プラスαストーリー	vo2「乃木坂46 遠藤さくら」バージョンバージョン オーディション形式で発表		
14	テスト	後期テスト		
15	まとめ	1年のまとめ		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技(実習)		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1 基礎		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
声優がラジオ番組にかかわる機会に備え、放送番組のスタイルに慣れるためのプログラム。トーク基礎を中心に、自分の思いや考えをことばにして伝えることの大切さと楽しさを学ぶ。				
到達目標				
与えられたテーマに沿って聞いている人の耳をひきつけるトークを展開できるようにする。また、複数の時はトーク相手の魅力的な話を引き出せるようなフリートークの力をつける。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	出身地や趣味など、自分のことを知ってもらうための自己紹介をしよう		
2	スタジオマナー	スタジオの使用方法を学び、準備をしたスタジオでマイクに声を乗せてみよう		
3	フリートーク①	番組内トークをイメージし、連休中どんな過ごし方をしたかについて話してみよう		
4	ラジオについて	好きな番組や聴いてみたい、自分が参加したい、など、ラジオの番組について話そう		
5	ゲストの話を開く	ゲスト番組のDJを想定して、決められたテーマに沿い、相手の話を聞いてみよう		
6	フリートーク②	レイニーシーズンの過ごし方について自由に話してみよう		
7	要旨と感想	活字作品をひとつ取り上げ、その要旨と感想をことばにしてみよう		
8	時間を意識	ストップウォッチを活用して、トークの長さをしっかり意識してみよう		
9	好きな〇〇について	アニメや映画、ドラマなど、好きなエンターテインメント作品について語ろう		
10	オススメ曲の紹介	自分の好きなアーティストの曲を仮想ラジオ番組で紹介しよう		
11	複数人でのトーク	進行役、タイムキーパーなど役割を分担し、4人程度でのグループトークに挑戦しよう		
12	夏休みの課題	現時点での自分の課題を自分で確認して、夏休みにクリアする目標について話してみよう		
13	企画発表	夏休みの宿題だった「番組企画」についてプレゼンという形で発表をしよう		
14	防災コメント	9月1日の防災の日になみ、災害時の情報伝達ツールとしてのラジオを意識した防災告知		
15	番組制作①	実際に制作する企画番組に向けての班分けや準備作業をしよう各チーム毎に、役割分担をした上で、番組制作に取り組もう		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1 応用		手銭 道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
声優がラジオ番組にかかわる機会に備え、放送番組のスタイルに慣れるためのプログラム。トーク基礎を中心に、自分の思いや考えをことばにして伝えることの大切さと楽しさを学ぶ。				
到達目標				
前期授業で身に着けたフリートークの基礎力を活かし、様々なシチュエーションで聴いてくれるリスナーをイメージしてトークを展開。協力し合い、ミニラジオ番組の制作にもトライしてみよう。				
回	課題名	課題内容		
1	番組制作実習③	前期の続き。各班ごとに番組制作に向けた素材を作り、台本を仕上げる		
2	番組制作実習④	ランスルーをした上で、時間調整、内容修正をして、本番の放送＝発表に備える		
3	制作番組放送	最終確認後、それぞれの班で制作したミニ番組を放送＝発表する		
4	再放送視聴	橙美祭にて発表した放送番組を改めて聴き直し、感想や反省点についてトークする		
5	秋のフリートーク	トークの基本に帰り、ひとつのテーマについて話す。今回は「〇〇の秋」。		
6	お悩み相談	リスナーの悩みにこたえる形で、ひとのところに寄り添ったことばを届けよう		
7	企画番組プレゼン	経験を活かし、番組企画を練って発表。著作権に捉われず自由に曲などを取り入れよう。		
8	番組制作実習Ⅱ①	番組制作第2弾。制作スケジュールを立てて取り組もう		
9	番組制作実習Ⅱ②	各チームの企画内容に沿って、必要な音素材などの準備を進める		
10	番組制作実習Ⅱ③	番組制作。音素材の準備や台本を仕上げる		
11	特別番組を想定して	クリスマス特番を想定しエピソード披露などのトークとチョイスした持参曲の紹介。		
12	制作番組スポット	年明けコメント発表と共に、秒数制限の中で制作番組の宣伝スポットを制作、発表		
13	番組制作実習Ⅱ④	ランスルーを行い、台本修正などを施してオンエア態勢を整える。		
14	制作番組Ⅱ放送	放送(＝発表)。再放送を鑑賞し、感想、反省点をあげる。		
15	一年間のまとめ	この一年間の放送実習でトライしたことへの感想と今後に向けてのコメント。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技1基礎		今崎拓也		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	シンガーソングライターとして、様々なステージでLIVEパフォーマンスを重ね、動画配信アプリ「KARASTA」内コンテストで優勝。2022年1月にはOTONOVA ONLINE大会でも優勝し、神宮外苑花火大会2022のOAも務める。楽曲提供の活動も行う。			課題曲音源
講義概要				
自由曲を用い、ボーカリストとしての個々のスキルアップ及び、パフォーマーとしての意識付けを行うことで、其々に合った方向性を見出し、歌うことの楽しさや演者としての応用技術として活用できるよう指導する。				
到達目標				
1人1人の個性に合う選曲から、本当に使える発声法、及びその仕組みを理解するところから始め、リズム、音程、表現力に至るまで日本語の楽曲にて身につける。また楽曲への取り組み方(歌詞、リズム、メロディ、プレス、長さなど)=アナライズの習慣を身につける。				
回	課題名	課題内容		
1	自己PR 楽曲のアナライズ	各学生の自己PRによるプロフィールを確認。今後の方向性などを確認する。歌い手として楽曲の分析の重要性について解説し、選曲へのアドバイスとする。		
2	発声のシステム①	発声のシステムを学び、なぜその方法が良いのかという理由を理解する。各自の選んだ曲を歌わせ、最適な課題曲をピックアップする。		
3	選曲①	各自の選んだ曲を歌わせ、最適な課題曲をピックアップする。その曲が良い理由、音域、長所短所をこの作業を通じ全員で理解する。		
4	マイク、スタンド、教室 機材の使い方/選曲②	マイクの特徴を知り効率の良い使い方を学ぶ。マイクスタンドのセッティングも、教室機材の使い方、ケーブルの巻き方など。		
5	発声のシステム②	発声のシステムを再確認する。理解が足りていない点や修正すべき点を、ここで各人が再認識し、日々の練習で身につける。		
6	※ボーカル指導をベースに、進行状況を見ながら適宜実施していく。	各人の課題曲(1曲目)を通じた技術指導。以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。  4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを身体で取るためのトレーニング。打楽器を使ったトレーニングの他、インターロックなどグルーブを感じてリズムを強化。  発声のシステムを復習。練習方法をマスターする。 半音、全音のインターバル訓練。マイナー、メジャーのコードを歌う。 その他、時期に応じステージパフォーマンスへの対応力を身につける。		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技1基礎		今崎拓哉		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	シンガーソングライターとして、様々なステージでLIVEパフォーマンスを重ね、動画配信アプリ「KARASTA」内コンテストで優勝。2022年1月にはOTONOVA ONLINE大会でも優勝し、神宮外苑花火大会2022のOAも務める。楽曲提供の活動も行う。			課題曲
講義概要				
前期で各自の課題は見つかっているので、各自の課題克服に向けてさらにブラッシュアップする。自分自身の歌声に合った課題曲を選曲し、歌詞の世界観・ピッチ・曲の持つリズム・グルーブをしっかりと意識させる。				
到達目標				
一人の表現者・ヴォーカリストとしての自分のカラーを認識した上でのレベルアップを目指す。集大成として、レコーディングを実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	課題曲歌唱 (自由曲①)	毎回一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイスするスタイルを適用。新曲は最初に朗読させる。		
2	課題曲歌唱 (自由曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
3	課題曲歌唱 (自由曲①)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
4	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
5	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
6	課題曲歌唱 (自由曲②)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
7	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
8	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
9	課題曲歌唱 (自由曲③)	一人ずつ全員の前で歌ってもらい、個別にアドバイス。		
10	レコーディング用 課題曲決め	レコーディング用の課題曲を決定。複数曲から、1年間の集大成にふさわしい、自分のカラーが出せるような曲を最終決定する。		
11	レコーディング用 課題曲歌唱	レコーディング用の課題曲を、一人ずつ歌唱してもらい、アドバイス。		
12	レコーディング用 課題曲歌唱	レコーディング用の課題曲を、一人ずつ歌唱してもらい、アドバイス。		
13	レコーディング (後期試験)	課題曲のレコーディング(クラスの半数)。		
14	レコーディング (後期試験)	課題曲のレコーディング(クラスの半数)。		
15	レコーディングの振り返り 1年の総括	レコーディング曲を聴き返して、1年の総括。		
備考	※ストレッチ&発声は毎回授業頭に実施する。その他リズム・トレーニングなどは適宜組み込む。腹式呼吸の意識・発声パターンも徐々に難度を上げていく。課題曲の進捗については、各自バラバラとし、講師側の判断で次の課題曲に進むこととする。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 基礎		西村ちなみ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュースの人気声優で『おじゃる丸』おじゃる丸役、『スマイルプリキュア』キュアビューティ役など有名アニメ作品のメインの役を担当。			台本
講義概要				
発声、滑舌、感情の開放を軸に自由に豊かな表現が身に付くよう多方面からアプローチしていきます。目の前の小さな目標をクリアし、達成感を味わってもらいたい。				
到達目標				
自分の殻を破り。自由に表現する。失敗をおそれずチャレンジして、心身共に健やかに生きていくこと。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	決められた時間内に決められたお題で何者かに伝える。		
2	実現の為に	自分の立てた目標を実現させる為に、今できるコトをディスカッション。		
3	感情開放	ニーチェ「言葉」を使い、喜び、怒、悲しみを全力表現		
4	↓			
5	↓			
6	↓			
7	↓			
8	セリフ①	キャラクターや関係性、何を伝えたいのかしっかり考える。		
9	↓	同じセリフでも様々な感情を変えてやってみる。		
10	セリフ②			
11	↓			
12	かけあい	関係性をしっかり共有して、よりドラマチックに		
13	↓	エモーショナルに、相手としっかりかけあう		
14	朗読「ゆうだち」	ナレーション、キャラクター、全部1人で世界観をつくる		
15	↓	それぞれの差別化、何を伝えたいのか、しっかりと。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 応用		西村ちなみ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュースの人気声優で『おじゃる丸』おじゃる丸役、『スマイルプリキュア』キュアビューティ役など有名アニメ作品のメインの役を担当。			オリジナル台本
講義概要				
ボイスドラマや絵本をベースに、実践を繰り返し演じる楽しさを知る。 芝居を感情の開放、声、体、感情を前面に出して開放して表現することを学ぶ。				
到達目標				
ボイスドラマを通してセリフの読み方など、マイク前で表現できるようにする。				
回	課題名	課題内容		
1	朗読「ゆうだち」	インプロを通して、心も体も感情を自由になるトレーニングをして、朗読では、地の文、キャラクターの参考を大切に。 物語の情景描写を深く深くイメージして伝えられるよう。		
2	↓			
3	↓			
4	がまくんとカエルくん	キャラクターになりきって、舞台の様に演じてみる		
5	↓			
6	↓			
7	絵本「じゃがいもポテトくん」	登場人物のキャラクターの性格を色々な設定で演じてみる		
8	↓			
9	芝居「あなたのためにできること」	読み合わせの後、舞台のように自由に動いてみる		
10				
11				
12				
13				
14	↓			
15	自由発表	自分の用意した作品を自由に読む		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクトテクニック 基礎		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			台本
講義概要				
演技するとはどういうことか？ 自分自身の声や身体の魅力を見つけ出し、それを利用して、表現する楽しさを学ぶ。				
到達目標				
自分らしさを演技に結び付けるテクニックを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介ほか	自己紹介と授業の説明。		
2	演技とは？	演技するとは？俳優の仕事とは？どういう事なのか話し合う。		
3	身体の発見	自分の身体のクセを知る。身体をリラックスさせていく。		
4	呼吸の発見	良い発声とはどういうことか？自分の呼吸の量を認識する。脇腹・背中を意識する。		
5	声の発見①	声を体に共鳴させる。喉を開いた発声。		
6	声の発見②	丹田を意識した発声。声のベクトル。		
7	身体から考える①	相手のポーズから発想する。『ワンポーズ・ワンセーブ』		
8	身体から考える②	ワンポーズエチュード		
9	集中の輪	第1 2 3の輪を意識して芝居を創作する。発表。		
10	与えられた状況	4つのWを意識して創作をする。発表。		
11	与えられた状況②	4つのWを意識して創作をする。考察。		
12	目的と障害①	目的と障害を意識して創作する。発表。		
13	目的と障害②	目的と障害を意識して創作する。考察。		
14	独り芝居を作る①	夏休みに作った一人芝居を発表。		
15	独り芝居を作る②	夏休みに作った一人芝居を考察。		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
アクトテクニック 応用		黒川竹春	優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。		台本	
講義概要				
卒業公演作品の稽古を通して、役の分析や作品の本読みを行い作品理解を深める。				
到達目標				
卒業公演作品を通して演じる楽しさを学ぶ				
回	課題名	課題内容		
1	本読み	本読み		
2	台本分析①	読んでみての感想		
3	役の分析①	登場人物を研究してみる		
4	役の分析②	登場人物を研究してみる		
5	役の分析③	登場人物を研究してみる		
6	役の分析④	登場人物を研究してみる		
7	作品を作るには①	テーマ(目標)を決める。		
8	作品を作るには②	舞台での見せ方を考える。		
9	作品を演じる①	作っていく。		
10	作品を演じる②	作っていく。		
11	作品を演じる③	作っていく。		
12	作品を演じる④	作っていく。		
13	作品を演じる⑤	作っていく。		
14	作品を演じる⑤	作っていく。		
15	作品を演じる⑤	作っていく。		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義	演習・実験・実技・実習	筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2 基礎		松田洋治		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	スタジオジブリ作品「もののけ姫」アシタカ役や「風の谷のナウシカ」アスペル役等で出演の他、子役時代からTV・映画・舞台など多数出演。			「夏の夜の夢」Wシェイクスピア・作 小田島雄志・訳
講義概要				
卒業公演「夏の夜の夢」の制作				
到達目標				
古典劇を通じて、舞台俳優としてのスキルを身につけ、集大成として本格的な卒業公演を行う。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介 オリエンテーション	自己紹介 自己アピール 演劇に関する基礎講義		
2	ワークショップ	精神と肉体の解放		
3	ワークショップ	声と身体のコミュニケーション		
4	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
5	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
6	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
7	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
8	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
9	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
10	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
11	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
12	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
13	ワークショップ 本読み	エチュード 「十二夜」本読み(オーディション)		
14	立ち稽古①	ミザンセーヌ作り		
15	立ち稽古②	ミザンセーヌ作り		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2 応用		松田洋治		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	スタジオジブリ作品「もののけ姫」アシタカ役や「風の谷のナウシカ」アスベル役等で出演の他、子役時代からTV・映画・舞台など多数出演。			夏の夜の夢
講義概要				
<p>年度末に2年間の集大成として、外部上演する卒業公演の為の指導を行う。            舞台演劇の為のワークショップ、エチュード等も行い、声優として必要になる舞台俳優としてのスキルを磨く。</p>				
到達目標				
卒業 舞台公演の制作を通じて演劇の製作過程を実践的に習得する。				
回	課題名	課題内容		
1	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
2	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
3	ミザンセーヌ作り	ミザンセーヌ作り		
4	立ち稽古	立ち稽古		
5	立ち稽古	立ち稽古		
6	立ち稽古	立ち稽古		
7	立ち稽古	立ち稽古		
8	立ち稽古	立ち稽古		
9	立ち稽古	立ち稽古		
10	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
11	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
12	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
13	通し稽古 修正	通し稽古 修正		
14	通し稽古 修正	衣装付き通し稽古 修正		
15	卒業公演考察	卒業公演の振り返り		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクション実習 基礎		山村秀勝		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ドラマ『仁JIN』『ごくせん』をはじめ、様々なドラマに出演、また殺陣指導を行う。			
講義概要				
後期の舞台公演を視野に入れ、感情解放、心と身体を動かすこと、発信と受信など、演技をする上でも人としても大切なことを体感させながら、後期へと繋げていく。				
到達目標				
一方的なアクションではなく、相手に合わせたリアクション、魅せるアクションを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	相手を知る、解放、立つ、自意識、呼吸を合わせる	人前に出た時の心と身体の状態を確認する 他者を意識することにより、自意識とは何かを体感する		
2	全身表現、姿勢、目的を持って歩く	全身を使って相手に伝える 普段何気なく行っている動作を意識して行う		
3	全身表現、感情と呼吸、アクション、リアクション	全身を使って相手に伝える、感情と呼吸の変化の関連性を体感する、相手を受け入れた上で発信する力を養う		
4	全身表現、アクション、リアクション	全身を使って相手に伝える 相手を受け入れた上で発信する力を養う		
5	同上	同上		
6	★言葉と心と身体	台詞があることで心と身体がどう変化するのか体感する		
7	★同上	同上		
8	短編を使った実習	ディスカッションを通して、台本の読み方の基礎を学ぶ 読み合わせ、立ち稽古を通して、言葉と心と身体の関係を探る		
9	同上	立ち稽古を通して、言葉と心と身体の関係を探る		
10	同上	同上		
11	同上	同上		
12	同上	同上		
13	同上	同上		
14	同上	同上		
15	同上	クラス内発表 ※進行状況により一週前倒しの可能性あり		
備考	★印の内容は、学生たちの特性に合わせて変更の可能性あり			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクション実習 応用		山村秀勝		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ドラマ『仁JIN』『ごくせん』をはじめ、様々なドラマに出演、また殺陣指導を行う。			
講義概要				
身体を使いアクションさせるだけでなくアクション芝居を作る。				
到達目標				
自分の肉体を知り、肉体表現の可能性、感性、声に生かす				
回	課題名	課題内容		
1	身体を使う	現代アクション、コンビネーション		
2	身体を使う②	同上		
3	身体を使う③	同上		
4	刀を使う	刀剣アクション		
5	刀を使う2	同上		
6	刀を使う3	同上		
7	コンビネーション	刀、身体を使った技術的アクション		
8	コンビネーション	同上		
9	コンビネーション	同上		
10	コンビネーション	同上		
11	立ち回り	殺陣のシーンを芝居と技術で捉える。感じる先、考えて組み立てる。		
12	立ち回り	同上		
13	立ち回り	同上		
14	立ち回り	同上		
15	立ち回り	同上		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台俳優実習 基礎		山口太郎		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	アクション事務所「高瀬道場」、演劇集団円を経て、(株)青ニプロダクションに所属。舞台「落伍者～改」「按針～ANJIN」他、出演ジャンルは映像、アテレコ、ナレーション等多岐に渡る。			「日本駄エ門」「朝に死す」
講義概要				
舞台演技を基軸として、映像や声優業でも使える「楽器」「感情」「コントロール」の整え方の紹介と実践。役作りの仕方。演じる上で指針となる「脚本の読み方」。「自己演出」の仕方→演技プランの立て方。				
到達目標				
「感情」と「表現」のバランスが取れた、嘘のない演技をできるようにする。演出されたことのみならず、自ら考え積極的に現場で披露できる「自己演出力」を身につける。				
回	課題名	課題内容		
1	導入～基礎訓練	授業説明。自己紹介＋目標設定。発声練習の説明と実習。		
2	基礎訓練＋台本の読み方	発声練習。日本駄エ門①。「朝に死す」読み合わせ		
3	基礎訓練＋台本の読み方	発声練習。日本駄エ門①。「朝に死す」読み合わせ		
4	基礎訓練＋台本の読み方	発声練習。日本駄エ門②。「朝に死す」読み合わせ		
5	基礎訓練＋台本の読み方	発声練習。日本駄エ門②。「朝に死す」読み合わせ		
6	基礎訓練＋台本の読み方	発声練習。日本駄エ門③。「朝に死す」読み合わせ		
7	基礎訓練＋自己演出	発声練習。日本駄エ門③。「朝に死す」荒立ち稽古		
8	基礎訓練＋自己演出	発声練習。日本駄エ門④。「朝に死す」荒立ち稽古		
9	基礎訓練＋自己演出	発声練習。日本駄エ門④。「朝に死す」抜き稽古		
10	基礎訓練＋自己演出	発声練習。「朝に死す」抜き稽古		
11	基礎訓練＋自己演出	発声練習。「朝に死す」抜き稽古		
12	基礎訓練＋自己演出	発声練習。「朝に死す」通し稽古		
13	基礎訓練＋自己演出	発声練習。「朝に死す」通し稽古		
14	基礎訓練＋自己演出	発声練習。「朝に死す」通し稽古		
15	中間発表会	中間発表会本番「朝に死す」		
備考	中間発表会のスケジュールに関しては改めて相談させてください。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台俳優実習 応用		山口太郎		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	アクション事務所「高瀬道場」、演劇集団円を経て、(株)青ニプロダクションに所属。舞台「落伍者〜改」「近松心中物語」を初め、映像、アテレコ、ナレーションと出演ジャンルは多岐に渡る。			日本駄エ門、王様と大臣、意味のないセリフ、宇宙女団第一号、等。
講義概要				
俳優としての体づくり、発声等の基礎を学ぶ。 また、卒業公演の舞台稽古も実施します。				
到達目標				
また、俳優としての舞台上での表現方法、演技力の向上を『舞台』に立って活躍する技術を学びます。				
回	課題名	課題内容		
1	オーディション 他	基礎訓練、オーディション、キャスティング、台本のテキレジ、リサーチの確認		
2	読み稽古	前半		
3	読み稽古	後半		
4	立ち稽古	前半		
5	立ち稽古	後半		
6	立ち稽古	前半		
7	立ち稽古	後半		
8	立ち稽古	小返し、抜き		
9	通し稽古	通し稽古、小返し、抜き		
10	通し稽古	通し稽古、小返し、抜き		
11	発表会	発表会、合評会		
12	基礎訓練	基礎訓練、他		
13	基礎訓練	基礎訓練、他		
14	休講	卒業公演劇場入り		
15	基礎訓練テスト	基礎訓練テスト、後期総括		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース	
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース	
学期	総時間数	授業の方法		評価方法	
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
科目名		担当講師		評価基準	
アフレコ実習2 アニメ 基礎		こぶしのぶゆき		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材	
有	株式会社 賢プロダクション所属			アニメーション映像 アフレコ台本	
講義概要					
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、反復する事でマイク前で演技に慣れる。  その上で、技巧の習得ではなく、感情の根本を掴む事を主とする。</p>					
到達目標					
<p>自分の感情を解放する術を、ただ学ぶのではなく、自ら気付ける事を目標とする。</p>					
回	課題名	課題内容			
1	オリエンテーション①	授業の進め方レクチャー等の座学と、現場で使用しているアフレコ台本で、読解力を試す。			
2	オリエンテーション②	アフレコについての座学と、実際にマイク前でマイクワークを行い、アフレコの感覚を知る。			
3	アフレコ実習①	アニメ作品AのA部分をアフレコ実習			
4		アニメ作品AのB部分をアフレコ実習			
5		アニメ作品Aを選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
6		アフレコ実習②	アニメ作品BのA部分をアフレコ実習		
7					
8	アニメ作品BのB部分をアフレコ実習				
9	アフレコ実習③				
10		アニメ作品Bを選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
11		『熱血最強ゴウザウラー』A部分をアフレコ実習			
12					
13		『熱血最強ゴウザウラー』B部分をアフレコ実習			
14	アフレコ実習④				
15		『熱血最強ゴウザウラー』を選抜チームでアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望			
備考					

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2 アニメ 応用		こぶしのぶゆき		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「涼宮ハルヒの憂鬱」「SHIROBAKO」などのアニメ作品に出演。 声優プロダクション 賢プロ所属			アフレコ台本
講義概要				
実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。				
到達目標				
アニメーション作品のアフレコに纏わる流れを学ぶ。 自分の感情を解放する術を、学ぶのではなく自ら気付ける事を目標とする。				
回	課題名	課題内容		
1	舞台仕立て エチュード	「行間を埋める」という事を、自分の身体を使って演じる事で 実感出来る様にする。		
2	↓	上記同内容を、本番仕立てで通す。 加えて、後のアフレコ課題用にそれを録画する。		
3	アフレコ課題④	アニメ作品DのAパートをアフレコ実習		
4	↓	↓		
5	↓	アニメ作品DのBパートをアフレコ実習		
6	↓	↓		
7	アフレコ課題⑤	アニメ作品EのAパートをアフレコ実習		
8	↓	↓		
9	↓	アニメ作品EのBパートをアフレコ実習		
10	↓	↓		
11	アフレコ課題⑦	TVCMナレーションアフレコ		
12	アフレコ課題⑥	後期1~2週目の授業で録画した自分自身の映像に自分自身でアフレコをする。 文字通り自分を客観的に見る事で、自分の気持ちの動きや個性を知る。		
13	後期修了試験	アニメ作品Fをアフレコ実習。2週掛けて、全てを修了試験として扱う。配役 からの脱落者を敢えて出し、俳優業の厳しさを最後にもう1度認識し直させる。 ※この回、2コマ目にオペレーターさんを希望		
14	↓	卒業公演劇場入り		
15	↓	※この回も、2コマ目にオペレーターさんを希望		
16	↓			
備考	【備考】 ※11週目の授業は木曜クラスと金曜クラスで実施日が異なります。ご注意ください。 ※赤色の部分と赤文字の週の全てのコマにオペレーターさんを希望			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・実技試験 <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2 外画 基礎		河相智哉		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>外画吹き替えのあらましと演技指導。 限られた時間と条件の中で、商用コンテンツとして耐え得る演技を行うための下地作り。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	イントロダクション	自己紹介、外画作品A #43台本配布、台本記号の解説など		
2	外画作品A #43①②	①配役、Vチェック ②Aパート (2~3回転)		
3	外画作品A #43③④	③Bパート (2~3回転) ④日本語版鑑賞、次回台本配布、次回V (原音) 鑑賞		
4	外画作品B #10 R-1①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
5	外画作品B #10 R-1③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
6	外画作品B #10 R-2①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
7	外画作品B #10 R-2③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
8	外画作品B #10 R-3, 4①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
9	外画作品B #10 R-3, 4③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
10	外画作品B #10 R-5, 6①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
11	外画作品B #10 R-5, 6③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
12	外画作品B #10 R-1、R-2 録音①②	①本番配役確認、R-1 リハ・ラストス・本番 ②R-2 リハ・ラストス・本番		
13	外画作品B #10 R-3・4、R-5・6 録音①②	①R-3・4 リハ・ラストス・本番 ②R-5・6 リハ・ラストス・本番		
14	外画作品B #10 鑑賞①②	①鑑賞およびディスカッション ②ディスカッション、次回台本配布		
15	ボイスオーバー作品①②	①V確認および練習 ②練習および次回台本配布		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技（実習）		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2 外画応用		河相智哉		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。				
到達目標				
前期に引き続き、外画吹き替えの演技指導。複雑な情動を必要とする作品や、ボイスオーバーなどを経験させ、商用コンテンツにおける、より多彩で、きめ細かい演技の必要性を感じてもらうことで、『顧客が作品に求めるものは何か』を考えさせる。				
回	課題名	課題内容		
1	外画作品C #90 R-2①②	①Vチェック ②第1班 練習		
2	外画作品C #90 R-2③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
3	外画作品C #90 R-3①②	①Vチェック ②第1班 練習		
4	外画作品C #90 R-3 ③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
5	外画作品C #90 収録①②	①Aパート ラステス・本番 ②Bパート ラステス・本番		
6	外画作品C #90 鑑賞など	①外画作品C 録音・日本語版鑑賞 ②次回作品台本配布・素材鑑賞・配役など		
7	外画作品D #41 Aパート①②	①Vチェック ②第1班 練習		
8	外画作品D #41 Aパート③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
9	外画作品D #41 Bパート①②	①Vチェック ②第1班 練習		
10	外画作品D #41 Bパート③④	③第2班 練習 ④第3班 練習		
11	外画作品D #41 収録①②	①Aパート リハ・ラステス・本番 ②Bパート リハ・ラステス・本番		
12	外画作品D #41 鑑賞など	①外画作品D#41 録音・日本語版鑑賞 ②ボイスオーバー台本配布・配役など		
13	ボイスオーバー作品 (60分×3コマ編成)	①R-1 Vチェック ②第1班 ③第2班		
14	(卒業公演準備日)	(卒業公演準備日)		
15	ボイスオーバー作品 (60分×3コマ編成)	①R-2 Vチェック ②第1班 ③第2班		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・ <b>演習</b> ・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・ <b>課題評価</b> ・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習2 基礎		宮永麻衣		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「フラカッパー」「セサミストリート」「おねがいマイメロディ」などで声優として活躍する傍ら、大林宣彦監督の「風の歌が聴きたい」など映像・舞台などでも活躍。			配布プリント アクセント辞典
講義概要				
明瞭な発音・発声を軸に、基本的なスタイルの原稿に取り組む				
到達目標				
自然な声で、正しいアクセントや聞き取りやすく美しい発音を意識して話すことができる 早口すぎず、丁寧でメリハリのある話し方を身につける				
回	課題名	課題内容		
1	NA① 1/3	「たまごダブルバーガー」 アーティキュレーション、特殊拍の発音、等拍性を意識する 母音の無声化のルールをおさらいする		
2	NA① 2/3			
3	NA① 3/3			
4	NA② 1/3	「上野妙義坊」 母音の響きや鼻濁音など、発音のやわらかさと美しさを追求する 息遣いを意識し、ゆったりとしたしゃべりのペースコントロールをおこなう		
5	NA② 2/3			
6	NA② 3/3			
7	NA③ 1/3	「人形道祖神」 段落間の接続関係を意識し間(ポーズ)の取り方を考える		
8	NA③ 2/3			
9	NA③ 3/3			
10	NA④ 1/3	「たべるのはどこ」 アクセント辞典の読み取り方、アクセント変化の法則を確認する 情報を正確にとらえ、より良く伝える		
11	NA④ 2/3			
12	NA④ 3/3			
13	前期テスト	授業使用課題(NA④)と自己準備課題(NA⑤)を使用した実技試験で習熟を確認する		
14	対策 1/2	オーディション対策		
15	対策 2/2	自分の持ち味を生かしアピールする方法を模索する		
備考	NA⑤「湿原シンフォニー」			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ナレーション実習2 応用		宮永麻衣		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「フラカッパー」「セサミストリート」「おねがマイメロディ」などで声優として活躍する傍ら、大林宣彦監督の「風の歌が聴きたい」など映像・舞台などでも活躍。			配布プリント アクセント辞典
講義概要				
様々なスタイルのナレーションに対応するチカラを付ける。				
到達目標				
要旨をつかみ、聞き手にわかりやすく伝える訓練をします。 また、滑舌、発声の基本を大切に、丁寧な表現を目指します。				
回	課題名	課題内容		
1	NA①1/3	「ふしぎなくもの糸」 十分に内容の理解を深め、文の構造などの細部にも注目します 長い文脈で話す息づかいをつかみ、自然な間(ポーズ)の取り方を体得します		
2	NA①2/3			
3	NA①3/3			
4	NA②1/3	「生命保険の起源」 句読点とポーズ、イントネーションの基本を意識します。 語句や意味のまとまりを考え、息遣いやイントネーションを考えて話すことを目標とします。		
5	NA②2/3			
6	NA②3/3			
7	CMNA1/2	「CMナレーション」 秒数の制限の中で、情報を際立たせて伝えます。自分の持ち味を生かして、商品の魅力を訴求します。		
8	CMNA2/2			
9	NA③1/2	「人形道祖神」 「読む」ことを「話す」ことに近づけることで、わかりやすく、生き生きと伝えることを目標とします		
10	NA③2/2			
11	NA④1/3	「たべるのはどこ」 アクセント辞典の読み取り方、アクセント変化の法則など、仕事をこなしていくうえで必要な準備力を養います 聞き手を意識したスピード、間、緩急の取り方を模索します		
12	NA④2/3			
13	NA④3/3			
14	休講	卒業公演劇場入り		
15	後期テスト	アクセント辞典に記載されている記号のおさらいの筆記テストと、短い実技課題で習熟を確認します		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技2 基礎		藤田大吾		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	音楽ユニット「alüto」としてメジャーデビュー。NARUTOのテーマソングをはじめ、関ジャニ∞やsweetyなど人気アーティストへの楽曲提供などを務める。			楽譜のコピー
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、個々の自由曲でのボーカルレッスンを実施します。				
到達目標				
目標を明確にし、卒業に向けての実践的な授業を中心に卒業後へ向けての準備をする。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	名前、あだ名、出身、将来の夢と目標発表		
2	楽曲、歌唱力チェック	キーの説明、レッスン用語の説明、楽曲歌唱（キー設定）		
3	歌詞読解	持って来た楽曲の歌詞を深く読み解く、主人公を作り上げる		
4	腹式呼吸1	腹式呼吸の説明、お腹を意識したブレストレーニング、楽曲歌唱		
5	腹式呼吸2	お腹を意識したブレストレーニング復習、楽曲歌唱		
6	腹式発声1	お腹を意識した発声、あいうえおの母音の開口確認、楽曲歌唱		
7	腹式発声2	お腹を意識した発声復習、楽曲歌唱		
8	地声での発声1	喉を開ける練習、喉を開けたままを意識して発声、楽曲歌唱		
9	地声での発声2	喉を開けたままを意識して発声の復習、楽曲歌唱		
10	リズムトレーニング	拍子の説明、表拍、裏拍の説明と実践、楽曲歌唱		
11	楽曲変更	授業に慣れて来た所で今までやってた曲と真逆のジャンルの楽曲歌唱（キー設定）		
12	音階トレーニング1	ピアノの音階での発声、音を繋げる練習。楽曲歌唱		
13	音階トレーニング2	ピアノの音階での発声復習、楽曲歌唱、夏休みの課題		
14	前期まとめ1	夏休みの課題チェック、基礎練習個人チェック、楽曲歌唱		
15	ライブ実践	イベント名やMCを考えてのライブ形式		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優俳優コース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカル実技2 応用		藤田大吾		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	音楽ユニット「alüto」としてメジャーデビュー。NARUTOのテーマソングをはじめ、関ジャニ∞やsweetyなど人気アーティストへの楽曲提供などを務める。			楽譜のコピー
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、個々の自由曲でのボーカルレッスンとレコーディングを実施します。				
到達目標				
卒業に向けての実践的な授業を中心に卒業後へ向けての準備をする。 また、レコーディングも実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	マイク実践1	マイクの構造から持ち方、ケーブルの巻き方、機材の使い方、マイクチェックの方法		
2	マイク実践2	前回のマイク周辺機器の操作を個人で実践、マイクでの歌唱		
3	マイク実践3	基礎練習、マイクでの歌唱		
4	パフォーマンスカアップ	ハンドマイクでの歌唱、感情表現、マイクを持つてのパフォーマンスを意識する		
5	パフォーマンスカアップ	ハンドマイクでの歌唱、感情表現、マイクを持つてのパフォーマンスを意識する		
6	レコーディング曲選定	曲選び、キーを合わせ、フルコーラス歌って確認		
7	レコーディング曲選定	前回の曲から変更も可、選曲の最終調整		
8	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、メロディー確認		
9	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、ピッチ、リズム等確認		
10	フルコーラス歌唱	レコーディング曲フルコーラス歌唱練習、ピッチ、リズム等確認		
11	模擬レコーディング	レコーディングの手順説明、ヘッドホン着用でフルコーラス歌唱練習		
12	模擬レコーディング	ヘッドホン着用でフルコーラス歌唱練習		
13	レコーディング実践	レコーディングスタジオでのレコーディング実践		
14	レコーディング実践	レコーディングスタジオでのレコーディング実践		
15	ライブ実践	イベント名やMCを考えてのライブ形式。時間余れば業界、養成所の実状等の話		
備考				

シラバス

声優学科  
声優アーティストコース

年度	対象	昼夜	科	コース	
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース	
学期	総時間数	授業の方法		評価方法	
前期	64	講義	演習・実験	実技・実習	筆記試験・実技試験(実習評価)課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準	
演技実習1 基礎		とりいちえ		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材	
有	幼少より舞台を中心に研鑽を重ねる。演劇を中心に、俳優、演出、演技コーチ、インプロヴァイザー、コミュニケーション講師と現在フリーで活躍			各種台本 など	
講義概要					
学生の将来を見据え、まずは演技の「やり方」より演技者としての「在り方(俳優の内面)」の構築を重視。並行して、潜在的な可能性を広げる為の身体・声作り、アンサンブル意識の向上を。演技の基本理論及び知識の提供、各課題に沿った実践。					
到達目標					
個々に既に備わっている創造性や魅力を発見し、それらの表出を阻害しているものを取り除き、怖れを手放す感覚を手に入れる。演技への興味を深め(好きになる)、同時に想像力・創造力・観察力を高め、役を“演じる”のではなく“生きる”ための土台を作り、二次に向けた基礎訓練の習慣を身につける。他者を演じる為に必要な自己認識(分析)や心身開放、自発力を養い、劇空間における真の交流を目指す。					
回	課題名	課題内容			
1	チームビルディング	オリエンテーション / 共鳴確認・課題台詞実践・チームビルディング			
2	自分の観察・身体感覚	自己開示 / 自分の中にある無意識の「意識化」 / 身体の内部感覚			
3	リラクゼーション・モノローグ①	ボディマッピング、リラクセス、スキヤニング、想像 / モノローグ①			
4	発声確認・演技とは	発声メカニズムの確認 / “演じる”という事・演技の種類 / モノローグ②			
5	五感・外と繋がる	五感の記憶による「空想」と「正当化」 / 会話の基本(対象、ビート)			
6	感情解放	自分が感じている感情を知る			
7	感情表現	想像を膨らませて感情の種類を体験し、アウトプットをする訓練			
8	感情台詞・エチュード①	言葉に想いを乗せる / エチュード①			
9	エチュード②	やり終えていない課題、その他 実践			
10	発表に向けての実習	発表作品の稽古開始(内容はクラスの状況から判断)			
11	”	” 「協力」「身体を使ってやってみる」事の習慣化			
12	”	”			
13	”	”			
14	”	”			
15	発表	クラス内発表(予定)・振り返り			
備考					

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習1 応用		とりいちえ		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	幼少より舞台を中心に研鑽を重ねる。演劇を中心に、俳優、演出、演技コーチ、インプロヴァイザー、コミュニケーション講師と現在フリーで活躍			台本
講義概要				
前期で学んだことや気づきを生かして皆で1本の作品を創り、次年度への発展に繋げていく。 また、年度末の発表を通し、舞台演劇の上演までに必要な流れを学ぶ。				
到達目標				
共有力や協力の必要性を知り、相互影響を経験することによる人としての成長を第一に。 公演練習を通し、演技術の習得(向上)、演じることの魅力、楽しさを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	自覚と課題・遊ぶ	前期の発表から学んだこと、後期中に克服したい課題の確認。シアターゲーム(考えずに、感じる)		
2	台本分析①	戯曲の読み方(行動分析)		
3	台本分析②	"		
4	台本配布・本読み	本読み、舞台用語説明		
5	配役・立ち稽古	配役発表・公演稽古		
6	立ち稽古	スタッフ決定・公演稽古		
7	"	公演稽古		
8	"	"		
9	"	"		
10	"	"		
11	"	乱通し		
12	"	頭から止め止めで通し。抜き稽古		
13	"	抜き稽古		
14	"	"		
15	"	最終通し(衣装着け)		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
タレント実習1 基礎		向井麻斐	優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	「SMAP」「TUBE」等のステージにおいてバックダンサーとして出演。また、TV番組、CM、イベント等にてダンサーとして数多く出演。		なし	
講義概要				
ストレッチ、筋トレ、リズムトレーニング、コンビネーション 柔軟、筋トレなどを通じて踊る為の基礎作りをする。				
到達目標				
リズムトレーニング・振付を覚え、発表を経験することでステージに慣れさせる。				
回	課題名	課題内容		
1	基礎	背骨を意識したロールアップ、ダウン 呼吸を意識したストレッチ(腹式、胸式呼吸) コア(体幹)、ニュートラルポジションの説明 リズム取りの説明(アップ&ダウン) アイソレーションの練習 など ※ストレッチ、リズムとり、コンビネーションは毎回行う		
2	↓			
3	↓			
4	↓			
5	↓			
6	↓			
7	学園祭に向けて	発表作品の練習、準備		
8	↓	↓		
9	↓	↓		
10	↓	↓		
11	↓	↓		
12	↓	↓		
13	↓	↓		
14	↓	↓		
15	↓	↓		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
タレント実習1 応用		向井麻斐		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「SMAP」「TUBE」等のステージにおいてバックダンサーとして出演。また、TV番組、CM、イベント等にてダンサーとして数多く出演。			なし
講義概要				
ストレッチ、筋トレ、リズムトレーニング、コンビネーション 柔軟、筋トレなどを通じて踊る為の基礎作りをする。				
到達目標				
踊るための体作り(柔軟、ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニングなど) 振付、構成を覚え、ダンス発表する。人前で表現する意識を高める。				
回	課題名	課題内容		
1	練習	学園祭に向けた練習		
2				
3				
4				
5	反省会	本番の感想、反省などの話し合い、目標の発表		
6	振付①	振付を覚える、構成を覚える。		
7		※ストレッチ、筋トレ、リズムトレーニング		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14	まとめ①	グループ発表、1年間の復習		
15	まとめ②	グループ発表、1年間の復習		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1 基礎		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
声優がラジオ番組にかかわる機会に備え、放送番組のスタイルに慣れるためのプログラム。トーク基礎を中心に、自分の思いや考えをことばにして伝えることの大切さと楽しさを学ぶ。				
到達目標				
与えられたテーマに沿って聞いている人の耳をひきつけるトークを展開できるようにする。また、複数の時はトーク相手の魅力的な話を引き出せるようなフリートークの力をつける。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	出身地や趣味など、自分のことを知ってもらうための自己紹介をしよう		
2	スタジオマナー	スタジオの使用方法を学び、準備をしたスタジオでマイクに声を乗せてみよう		
3	フリートーク①	番組内トークをイメージし、連休中どんな過ごし方をしたかについて話してみよう		
4	ラジオについて	好きな番組や聴いてみたい、自分が参加したい、など、ラジオの番組について話そう		
5	ゲストの話を聞く	ゲスト番組のDJを想定して、決められたテーマに沿い、相手の話を聞いてみよう		
6	フリートーク②	レイニーシーズンの過ごし方について自由に話してみよう		
7	要旨と感想	活字作品をひとつ取り上げ、その要旨と感想をことばにしてみよう		
8	時間を意識	ストップウォッチを活用して、トークの長さをしっかり意識してみよう		
9	好きな〇〇について	アニメや映画、ドラマなど、好きなエンターテインメント作品について語ろう		
10	オススメ曲の紹介	自分の好きなアーティストの曲を仮想ラジオ番組で紹介しよう		
11	複数人でのトーク	進行役、タイムキーパーなど役割を分担し、4人程度でのグループトークに挑戦しよう		
12	夏休みの課題	現時点での自分の課題を自分で確認して、夏休みにクリアする目標について話してみよう		
13	企画発表	夏休みの宿題だった「番組企画」についてプレゼンという形で発表をしよう		
14	防災コメント	9月1日の防災の日になみ、災害時の情報伝達ツールとしてのラジオを意識した防災告知		
15	番組制作①	実際に制作する企画番組に向けての班分けや準備作業をしよう各チーム毎に、役割分担をした上で、番組制作に取り組もう		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習1応用		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			なし
講義概要				
実際の番組を想定し、パーソナリティとしてさまざまなタイプの番組進行を疑似体験した上、番組をゼロから作る作業にも挑戦する。				
到達目標				
企画書の制作、プレゼンを踏まえ、チームを組んでスタッフ、出演者など担当を決め、チームワークを大切にしながら、リスナーに届けるつもりで企画を番組の形にする。				
回	課題名	課題内容		
1	番組制作実習①	チームの中で役割分担を決め、放送までの制作工程を決め、制作発表。		
2	番組制作実習②	制作準備。素材作成作業。事前録音するものや、効果音スタンバイ。		
3	番組制作実習③	番組制作のつづき。ランスルーなどを通し、時間調整、内容修正など。		
4	スポットCMを作ろう	橙美祭又は自主番組の宣伝スポットを制作。原稿所書きから音にするまで。		
5	制作番組発表(放送)	ゲネプロに続き放送(=発表)後、モニターをして感想、反省トーク。		
6	ソロ・フリートーク	冬をテーマにフリートーク。前期と比べ、慣れてきた感触はあるかな。		
7	インタビュー再び	二人で組み、テーマに沿ってインタビューしよう。		
8	役割を交替して	前期のゲスト役がインタビュアーになり、トークをしよう。		
9	今年の振り返り	あとひと月を切った今年、自分の中での2018年・三大できごとをしようかい。		
10	クロストーク	グループで今年のエンターテイメントを振り返って語り合おう。		
11	特別番組を想定して	クリスマス特番お想定。エピソード披露などのトークと持参曲の紹介。		
12	年明けのコメント	新春恒例「抱負」トーク。年度末、進級公演に向けて、2年次に向けて。		
13	舞台公演の宣伝	来月本番を迎える舞台公演のプロモーションをしよう。		
14	疑似公開放送	リスナーを前にしてのイベントを想定。紙芝居。		
15	一年間のまとめ	番組の後枠を想定し、この一年間の放送実習でトライしたことへの感想と今後に向けてのコメントを。		
16				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルテクニック1 基礎		小西一弘		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>ドラマ&amp;ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲、アーティストプロデュースなど40年以上に渡り活動。 1988年より学校教育に携わり、音楽学校の教務主任、副校長を歴任。 また、ボーカルトレーナーとしてプロアマ3,000人以上を指導して来た。</p>			課題曲音源
講義概要				
<p>自由曲を用い、演者としての個々のスキルアップ及び、パフォーマーとしての意識付けを行う事で、其々に合った方向性を見出し、歌うことの楽しさや演者としての応用技術として活用できるよう指導する。 1人1人の個性に合う選曲から、本当に使える発声法、およびその仕組みを理解する所から始め、リズム、音程、表現力にいたるまで、日本語の楽曲にて身につける。 また楽曲への取り組み方(歌詞、リズム、メロディ、ブレス、長さなど)=アナライズの習慣を身につける。</p>				
到達目標				
ボーカル実技で習得した、効率の良い発声、発音などの技術を声優、役者としても応用できるようにする。				
回	課題名	課題内容		
1	自己PR 楽曲のアナライズ	各学生の自己PRによるプロフィールを確認。今後の方向性などを確認する。歌い手として楽曲の分析の重要性について解説し、選曲へのアドバイスとする。		
2	発声のシステム①	発声のシステムを学び、なぜその方法が良いのかという理由を理解する。各自の選んだ曲を歌わせ、最適な課題曲をピックアップする。		
3	選曲①	各自の選んだ曲を歌わせ、最適な課題曲をピックアップする。その曲が良い理由、音域、長所短所をこの作業を通じ全員で理解する。		
4	マイク、スタント、教室機材の使い方/選曲②	マイクの特性を知り効率の良い使い方を学ぶ。マイクスタンドのセッティングも、教室機材の使い方、ケーブルの巻き方など。		
5	発声のシステム②	発声のシステムを再確認する。理解が足りていない点や修正すべき点を、ここで各人が再認識し、日々の練習で身につける。		
6	ボーカル実技 リズムトレーニング ボイストレーニング  ※ボーカル指導をベースに、進行状況を見ながら適宜実施してゆく	<p>各人の課題曲(1曲目)を通じた技術指導。以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。</p> <p>4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを体で取る為のトレーニング。 打楽器を使ったトレーニングの他、インターロックなどグルーブを感じてリズムを強化。</p> <p>発声のシステムを復習。練習方法をマスターする。 半音、全音のインターバル訓練。マイナー、メジャーのコードを歌う。</p> <p>その他、時期に応じステージパフォーマンスへの対応力を身につける。</p>		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
ボーカルテクニック1 応用		小西一弘	優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	ドラム&ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲など40年以上に渡り活動。1988年より学校教育に携わり、音楽学校の教務主任、副校長を兼任。ボーカルトレーナーとしてプロアマ2000人以上を指導。		課題曲音源	
講義概要				
前期に引き続き、ボーカリストとしての個々のスキルアップ及び、パフォーマーとしての意識付けを行う事で、其々に合った方向性を見出し、歌うことの楽しさや演者としての応用技術として活用できるよう指導する。				
到達目標				
1人1人の個性に合う選曲から、本当に使える発声法、およびその仕組みを理解する所から始め、リズム、音程、表現力にいたるまで、日本語(母国語)の楽曲にて身につける。また楽曲への取り組み方(歌詞、リズム、メロディ、ブレス、長さなど)＝アナライズのリズムの習慣を身につける。学園祭、REC、Vo.発表会に向けた個別のスキルアップのための指導を行う。				
回	課題名	課題内容		
1	ボーカル実技	メロディを正確に把握し、正しくトレースできるように、キーボードアプリなどで各自の課題曲のメロを取る。リズム、音程をきちんとつかみ、音楽的理解度を深める。		
2	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
3	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
4	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
5	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
6	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
7	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
8	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
9	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
10	ボーカル実技	各人の課題曲(1～2曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。タンバリンを使ったリズムトレーニング、キーボードアプリを使った楽曲のアナライズをまじえて。		
11	ボーカル実技	各人の課題曲(2～3曲目)を通じた技術指導。レコーディングを想定したレッスン。モニターの仕方など。		
12	レコーディング①	スタジオ環境における、レコーディングテクニックを体験する。クラスの半分をテイクする。		
13	レコーディング②	スタジオ環境における、レコーディングテクニックを体験する。クラスの半分をテイクする。		
14	ボーカル実技	Vo.発表会に向けた指導		
15	まとめ	Vo.発表会に向けた指導 練習方法、発声のシステムなどまとめ		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルアンサンブル1 基礎		菅原さおり		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学卒業。劇団四季を経て数々のミュージカルの舞台で活躍。 ディズニーアニメの日本版吹替のコーラスにも何作か携わる			楽譜のコピー
講義概要				
正しい発声・楽な発声で歌えるよう、基礎体力・呼吸法を学び、アニソン・ボカロに限らずあらゆるジャンルの曲を通じて歌唱力を伸ばしていく				
到達目標				
喉を嚙らさないで歌えること、ハモリの楽しさを知って、アンサンブル力を身につけ、1年終了時に1曲アンサンブルを発表できるようにする				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	自己紹介・授業内容の説明・質疑応答		
2	体を動かそう	腹筋・ストレッチ・呼吸法・口の開き方を覚える		
3	楽譜に慣れる	「きれいにうたいましょうソルフェージュ①」楽譜を読んでもみる		
4	エーデルワイス	音名で歌う。歌詞をつけて歌う。一人ずつ歌う。		
5	翼をください	音名で歌う。歌詞をつけて歌う。一人ずつ歌う。ハモリのパートの音をとってハモる		
6	君をのせて	高音の出し方を覚える。歌詞の内容を考えて歌う		
7	〃	一人ずつ歌う。歌う人は歌唱力の向上、聴いている人は聴く力を養う		
8	ドレミの歌	アンサンブルの楽しさを知る①		
9	〃	〃		
10	民衆の歌	アンサンブルの楽しさを知る②		
11	〃	〃		
12	〃	〃		
13	ホールニューワールド	アンサンブルの楽しさ(デュエット)を知る③		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験(実技)・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルアンサンブル1 応用		菅原さおり		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学卒業。劇団四季を経て数々のミュージカルの舞台で活躍。ディズニーアニメの日本版吹替のコーラスにも何作か携わる			楽譜
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、声優として必要になるボーカルレッスンを実施します。また、様々なジャンルの音楽に触れ実践を重ねる。				
到達目標				
発声の基礎を身につけ、あらゆるジャンルの曲に対応できるように個々の歌唱力を伸ばす。 また、ハーモニーの美しさを習得する。楽譜の読み方も指導していく。				
回	課題名	課題内容		
1	デュエット	とびらを開けて	(音取り)	
2	〃	とびらを開けて	台詞を入れていくつかの組に分かれて男女一組ずつお芝居も入れて発表	
3	〃			
4	〃			
5	クラシック	0 sole mio		
6	〃		〃	
7	J pop	にじいろ	(リズムを感じて軽やかにハモリの練習)	
8	〃		〃	
9	〃		〃	
10	自由曲	録音に向けて個人指導		
11	〃		〃	
12	〃		〃	
13	Rec		録音	
14	まとめ		録音鑑賞と一年のまとめ試験	
15	前期のテスト		課題曲の中から一曲選んで独唱	
備考	授業の進み具合によっては課題曲を増やしていく			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルセオリー1 基礎		新田恵		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学声楽科卒業。全国の学校でミュージカル、オペラ、合唱の公演に参加。多摩美術大学映像演劇学科、SET、尚美学園ミュージカル学科等で教鞭を執る。加藤健一事務所、さておき／モチロンプロデュース(大人計画)、若手劇団の公演で発声、歌唱指導を行う。現在、木野花、染谷将太、菊地凜子、安藤玉恵他、舞台・映像で活躍する俳優の個人トレーナー。座・高円寺演技アカデミー、新・江ノ島水族館、すみだ水族館講師。			プリントの配布
講義概要				
歌唱に必要となってくる、基礎の楽典の理解。 楽譜に慣れ親しみ、読譜や音符の理解に努める。歌唱に必要となってくる、基礎の楽典の理解。 楽譜に慣れ親しみ、読譜や音符の理解に努める。				
到達目標				
歌唱に自信がない事理由の1つは「楽譜が読めない」ことにあります。楽譜に関する基礎を学び、読譜のトレーニングをし、自信をつけることを目標とします。アプリを使い音を取れるようになる事、耳コピーの感度を上げる事も目標とします。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	自己紹介・アンケートの記入・授業の心得と進め方の説明。質疑応答。		
2	楽譜の基礎①	5線 ト音記号 等の名称を知り、意味を理解する。ヒント1、2 コールユーブンゲン2度音程。		
3	楽譜の基礎②	「音符」の名称を知り、それぞれの音符の関係性を理解する。ヒント3。Cho p15 No.4 a) c)		
4	楽譜の基礎③	「休符」名称を知り、音符との関連を理解する。ヒント4。ChoP15 No.6 a)c) No.7 a) b)		
5	2拍子・4拍子	Cho P17 No.9 a)c) No.11 a) No.13 a)b)		
6	シンコペーション	Cho P20 No.15 a) No.17 a) c) e)		
7	3度音程	Cho P22 No.18 a)b)e)f)g)		
8	3度音程までの試験	コールユーブンゲンの試験		
9	楽譜の基礎④	「拍子 I」ヒント6 Cho P25 No.19 a)b)d)f)		
10	総合練習	Cho P28 No.23 c)e)g)		
11	4度音程 I	Cho P29 No.24 a)c)e)f)		
12	4度音程 II	Cho P32 No.25 b)c)		
13	8分音符 4度音程と8分音符	Cho.a)c)d)e)g) ・ 復習		
14	前期試験	コールユーブンゲンと楽典の試験		
15	前期のまとめ	前期で練習した課題を総復習し、課題を再認識する。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルセオリー1 応用		新田恵		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学声楽科卒業。全国の学校でミュージカル、オペラ、合唱の公演に参加。多摩美術大学映像演劇学科、SET、尚美学園ミュージカル学科等で教鞭を執る。加藤健一事務所、さておき／モチロンプロデュース(大人計画)、若手劇団の公演で発声、歌唱指導を行う。現在、木野花、染谷将太、菊地凜子、安藤玉恵他、舞台・映像で活躍する俳優の個人トレーナー。座・高円寺演技アカデミー、新・江ノ島水族館、すみだ水族館講師。			オリジナルプリント
講義概要				
「音楽」と「演劇」を題材に、ステージでの作品作りを実施。 年度末に行われる卒業公演の稽古～本番を実施する。				
到達目標				
ステージ作品を学生主体で創り上げることにより(台本、演出、音楽、振付、衣裳、音響、照明プランなど)総合的に舞台演技、ステージングを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	コールユーブンゲン	8分音符		
2	コールユーブンゲン	16分音符		
3	コールユーブンゲン	3/8拍子と6/8拍子		
4	コールユーブンゲン	5度音程の転回		
5	コールユーブンゲン	8分音符を含むシンコペーション		
6	コールユーブンゲン	9/8 12/8 拍子		
7	コールユーブンゲン	6度音程		
8	コールユーブンゲン	三連符		
9	コールユーブンゲン	6度音程の転回		
10	コールユーブンゲン	16分音符の練習①		
11	コールユーブンゲン	16分音符の練習②		
12	コールユーブンゲン	16分音符の練習③		
13	コールユーブンゲン	16分音符の練習④		
14	コールユーブンゲン	卒公集中稽古の為休講		
15	前期の復習	2年間の復習		
備考	今年度は習熟度、進み具合によって随時小テストを行う。小テストの結果は成績に反映する。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2・外画		河相智哉		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>外画吹き替えのあらましと演技指導。 限られた時間と条件の中で、商用コンテンツとして耐え得る演技を行うための下地作り。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	イントロダクション	自己紹介、外画作品A#43台本配布、台本記号の解説など		
2	外画作品A #43①②	①配役、Vチェック ②Aパート (2～3回転)		
3	外画作品A #43③④	③Bパート (2～3回転) ④日本語版鑑賞、次回台本配布、次回V (原音) 鑑賞		
4	外画作品B #10 R-1①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
5	外画作品B #10 R-1③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
6	外画作品B #10 R-2①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
7	外画作品B #10 R-2③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
8	外画作品B #10 R-3, 4①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
9	外画作品B #10 R-3, 4③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
10	外画作品B #10 R-5, 6①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
11	外画作品B #10 R-5, 6③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
12	外画作品B #10 R-1、R-2 録音①②	①本番配役確認、R-1 リハ・ラストス・本番 ②R-2 リハ・ラストス・本番		
13	外画作品B#10 R-3・4、R-5・6 録音①②	①R-3・4 リハ・ラストス・本番 ②R-5・6 リハ・ラストス・本番		
14	外画作品B#10 鑑賞①②	①②鑑賞およびディスカッション		
15	※ボイスオーバー作品 ①②	①②V確認および練習 ※習熟状況によって内容の差し替えあり		
備考	※第15回においては、習熟状況によって外画作品Bの追加練習に差し替える予定あり			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2・アニメ		こぶしのぶゆき		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	株式会社 賢プロダクション所属			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>アニメーション作品のアフレコに纏わる流れを学ぶ。 自分の感情を解放する術を、学ぶのではなく自ら気付ける事を目標とする。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	演技実習	気持ちのつなぎ方に重点を置いて、実際に舞台形式で立ち稽古を行いアフレコに応用できるきっかけを作る。		
2	↓	↓		
3	アフレコ実習④	アニメ作品CのAパートをアフレコ実習		
4	↓	↓		
5	↓	アニメ作品CのBパートをアフレコ実習		
6	↓	↓		
7	アフレコ実習⑤	アニメ作品DのAパートをアフレコ実習		
8	↓	↓		
9	↓	アニメ作品DのBパートをアフレコ実習		
10	↓	↓		
11	アフレコ実習⑥	演技実習で撮影した自分に自分でアフレコ ※この回、オペレーターさんを希望		
12	アフレコ実習⑦	アニメ作品Eをアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望		
13	アフレコ実習⑧	CM課題をアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望		
14	実技試験	アニメ作品FのAパートを選抜メンバーでアフレコ実習 ※この回、2コマ目のみオペレーターさんを希望		
15	↓	アニメ作品FのBパートを選抜メンバーでアフレコ実習 ※この回、2コマ目のみオペレーターさんを希望		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 基礎		西村ちなみ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュースの人気声優で『おじゃる丸』おじゃる丸役、『スマイルプリキュア』キュアビューティ役など有名アニメ作品のメインの役を担当。			台本
講義概要				
発声、滑舌、感情の開放を軸に自由で豊かな表現が身に付くよう多方面からアプローチしていきます。目の前の小さな目標をクリアし、達成感を味わってもらいたい。				
到達目標				
自分の殻を破り。自由に表現する。失敗をおそれずチャレンジして、心身共に健やかに生きていくこと。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	決められた時間内に決められたお題で何者かに伝える。		
2	実現の為に	自分の立てた目標を実現させる為に、今できるコトをディスカッション。		
3	感情開放	ニーチェ「言葉」を使い、喜び、怒、悲しみを全力表現		
4	↓			
5	↓			
6	↓			
7	↓			
8	セリフ①	キャラクターや関係性、何を伝えたいのかしっかり考える。		
9	↓	同じセリフでも様々な感情を変えてやってみる。		
10	セリフ②			
11	↓			
12	かけあい	関係性をしっかり共有して、よりドラマチックに		
13	↓	エモーショナルに、相手としっかりかけあう		
14	朗読「ゆうだち」	ナレーション、キャラクター、全部1人で世界観をつくる		
15	↓	それぞれの差別化、何を伝えたいのか、しっかりと。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
声優実習2 応用		西村ちなみ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	81プロデュースの人気声優で『おじゃる丸』おじゃる丸役、『スマイルプリキュア』キュアビューティ役など有名アニメ作品のメインの役を担当。			オリジナル台本
講義概要				
ボイスドラマや絵本をベースに、実践を繰り返し演じる楽しさを知る。 芝居を感情の開放、声、体、感情を前面に出して開放して表現することを学ぶ。				
到達目標				
ボイスドラマを通してセリフの読み方など、マイク前で表現できるようにする。				
回	課題名	課題内容		
1	朗読「ゆうだち」	インプロを通して、心も体も感情を自由になるトレーニングをして、朗読では、地の文、キャラクターの参考を大切に。 物語の情景描写を深く深くイメージして伝えられるよう。		
2	↓			
3	↓			
4	がまくんとカエルくん	キャラクターになりきって、舞台の様に演じてみる		
5	↓			
6	↓			
7	絵本「じゃがいもポテトくん」	登場人物のキャラクターの性格を色々な設定で演じてみる		
8	↓			
9	芝居「あなたのためにできること」			
10	↓	読み合わせの後、舞台のように自由に動いてみる		
11	↓			
12	↓			
13	↓			
14	↓			
15	自由発表	自分の用意した作品を自由に読む		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2A 基礎		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			台本
講義概要				
年度末に2年間の集大成として、外部上演する卒業公演の為の指導を行う。 舞台演劇の為のワークショップ、エチュード等も行い、声優アーティストとして必要になる舞台演劇のスキルを磨く。				
到達目標				
役者としてのスキルを身につけ、集大成として本格的な卒業公演を行う				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介ほか	自己紹介と授業の説明。	演技するとは?俳優の仕事とは?どういう事なのか話し合う。	
2	身体の発見	身体のクセを知る。身体をリラックスさせていく。	授業内発表の企画の立案。	
3	呼吸の発見	良い発声とはどういうことか?自分の呼吸の量を認識する。脇腹・背中を意識する。	授業内発表の作品決定	
4	声の発見①	声を体に共鳴させる。喉を開いた発声。	授業内発表の進捗報告	
5	声の発見②	丹田を意識した発声。声のベクトル。	授業内発表の脚本検討	
6	集中の輪	第123の輪を意識して芝居を創作する。発表。	授業内発表の衣裳、小道具の選出	
7	与えられた状況	4つのWを意識して創作をする。発表と考察。	授業内発表の脚本決定	
8	目的と障害	目的と障害を意識して創作する。発表と考察。	授業内発表の演出案の確定	
9	独り芝居を作る	オリジナル一人芝居を創作する。発表と考察。	授業内発表の本読み、構成の確認	
10	授業内発表①	授業内発表に向けての稽古。		
11	授業内発表②	授業内発表に向けての稽古。		
12	授業内発表③	授業内発表に向けての稽古。		
13	授業内発表④	授業内発表に向けての稽古。		
14	授業内発表⑤	授業内発表に向けての稽古。		
15	授業内発表⑥	授業内発表の準備。	授業内発表 本番	
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習2A 応用		黒川竹春		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			シンデレラストーリー
講義概要				
年度末に2年間の集大成として、外部上演する卒業公演の為の指導を行う。 舞台演劇の為のワークショップ、エチュード等も行い、声優アーティストとして必要になる舞台演劇のスキルを磨く。				
到達目標				
卒業 舞台公演の制作を通じて演劇の製作過程を実践的に習得する。 歌、ダンス、芝居の要素を含むミュージカル作品に取り組むことで、更なるスキルアップを目指す。				
回	課題名	課題内容		
1	本読み	本読み		
2	台本分析①	読んでみての感想		
3	役の分析①	登場人物を研究してみる		
4	役の分析②	登場人物を研究してみる		
5	役の分析③	登場人物を研究してみる		
6	役の分析④	登場人物を研究してみる		
7	作品を作るには①	テーマ(目標)を決める。		
8	作品を作るには②	舞台での見せ方を考える。		
9	作品を演じる①	作っていく。		
10	作品を演じる②	作っていく。		
11	作品を演じる③	作っていく。		
12	作品を演じる④	作っていく。		
13	作品を演じる⑤	作っていく。		
14	作品を演じる⑤	作っていく。		
15	本番	本番		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験 (実技) (実習)		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2B		①小西一弘②黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	①ドラム&ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲など40年以上に渡り活動。ボーカルトレーナーとしてプロアマ2000人以上を指導。 ②劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。AtticTheater(プロデュースユニット)主宰・演出として活動。			楽譜・台本
講義概要				
「音楽」と「演劇」を題材に、ステージでの作品作りを実施。年度末に行われる卒業公演の稽古～本番を実施する。				
到達目標				
ステージ作品を学生主体で創り上げることにより(台本、演出、音楽、振付、衣裳、音響、照明プランなど)総合的に舞台演技、ステージングを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	「シンデレラストーリー」	卒業公演「シンデレラストーリー」音楽稽古開始		
2	↓	作品に関わる先生方と連携を取りながら音楽稽古を進める。		
3	↓	大ナンバーからコーラスパート音取り		
4	↓	↓		
5	↓	↓		
6	↓	↓		
7	↓	↓振りや芝居のついたナンバーは踊り演じながら歌稽古		
8	↓	↓		
9	↓	↓		
10	↓	↓衣裳や小道具の準備制作		
11	↓	↓		
12	↓	↓		
13	↓	↓		
14	↓	↓		
15	↓	本番		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習2 基礎		檜戸雅也		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	声優 山寺宏一さんや森久保祥太郎さんはじめ数多くの声優との番組制作の経験を持つ。bayfmで『MOZAIKU NIGHT』等他多数を担当。			なし
講義概要				
放送の原点である『伝える』をテーマに実習を繰り返す。同時に「時間の大切さ」を繰り返し学ぶ。タイムトライアル(時の経過)を学ぶ事で番組の構成、トークの寸法、適切な内容量、音楽とのバランス、そして聞き手への配慮への技量を番組制作と共に学ぶ。				
到達目標				
実習を通してまずは声優・俳優である前にひとりの人間であること。人と人を繋ぐ魅力あふれるフリートークができるよう1年間指導致します。				
回	課題名	課題内容		
1	トーク実習	自己紹介一人喋り実習		
2	トーク実習	日々の何気ない日常をテーマにトークすることに慣れる事		
3	番組制作	ゴールデンウィークの思い出、活動を語る～2チームに分かれて配信番組制作		
4	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
5	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
6	番組制作	1週間の出来事～適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク～配信番組制作		
7	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
8	トーク実習	適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
9	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
10	番組制作	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク～配信番組制作		
11	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
12	番組制作	夏休みの予定～配信番組制作		
13	トーク実習	夏休みの思い出～複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
14	トーク実習	複数人による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
15	番組制作	前期を振り返って～配信番組制作		
16				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
放送実習2 応用		檜戸雅也		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	声優 山寺宏一さんや森久保祥太郎さんはじめ数多くの声優との番組制作の経験を持つ。bayfmで『MOZAIKU NIGHT』等他多数を担当。			なし
講義概要				
放送の原点である『伝える』をテーマに実習を繰り返す。同時に「時間の大切さ」を繰り返し学ぶ。タイムトライアル(時の経過)を学ぶ事で番組の構成、トークの寸法、適切な内容量、音楽とのバランス、聞き手への配慮への技量を学ぶ。				
到達目標				
実習を通してまずは声優・俳優である前にひとりの人間 であること。魅力あふれるフリートークができるよう1年間指導致します。また、毎月1本、オリジナルの番組を制作し配信。ニコ生放送も実施する。				
回	課題名	課題内容		
1	トーク実習	日々日常のことを言葉にする力を、「伝える」力を養います		
2	番組制作	月イチ番組をラジオドラマと共に収録。ニコ動とYourubeにて配信		
3	トーク実習	日々日常のことを言葉にする力を、「伝える」力を養います		
4	トーク実習	日々日常のことを言葉にする力を、「伝える」力を養います		
5	番組制作	月イチ番組をラジオドラマと共に収録。ニコ動とYourubeにて配信		
6	トーク実習	大好きな映画作品を心の限り、リスナーへ「伝える」練習		
7	トーク実習	大好きな映画作品を心の限り、リスナーへ「伝える」練習		
8	番組制作	月イチ番組をラジオドラマと共に収録。ニコ動とYourubeにて配信		
9	トーク実習	おすすめ音楽を心の限り、リスナーへ「伝える」練習		
10	トーク実習	おすすめ音楽を心の限り、リスナーへ「伝える」練習		
11	番組制作	月イチ番組をラジオドラマと共に収録。ニコ動とYourubeにて配信		
12	トーク実習	冬休みの思い出を言葉変えて「伝える」力を養います		
13	番組制作	月イチ番組をラジオドラマと共に収録。ニコ動とYourubeにて配信		
14	トーク実習	卒業公演の見どころ、集客を目的としたトーク練習		
15	トーク実習	アニカレの2年間を振り返るトーク実習		
16				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験 (実技) (実習)		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
タレント実習2 基礎		向井麻斐		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「SMAP」「TUBE」等のステージにおいてバックダンサーとして出演。また、TV番組、CM、イベント等にてダンサーとして数多く出演。			なし
講義概要				
踊るための体作り(柔軟、ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニングなど) 振付、構成を覚え、ダンス発表する。人前で表現する意識を高める。				
到達目標				
柔軟、筋トレなどを通じて踊る為の基礎作りをする。リズムトレーニング・振付を覚える。 HIP HOPをベースに学園祭でのステージ発表、卒業公演のミュージカル公演でのダンス指導も含む。				
回	課題名	課題内容		
1	基礎の確認	1年のおさらい		
2	↓	※ストレッチ、リズム取り、コンビネーションは毎回行う		
3	↓	↓		
4	身体を知る	身体の仕組みを知る、動かす		
5	↓	(ニュートラルポジション、Cカーブなど)		
6	学園祭に向けて	発表作品にむけて練習、準備		
7	↓	↓		
8	↓	↓		
9	↓	↓		
10	↓	↓		
11	↓	↓		
12	↓	↓		
13	↓	↓		
14	↓	↓		
15	↓	↓		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
タレント実習2 応用		向井麻斐		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「SMAP」「TUBE」等のステージにおいてバックダンサーとして出演。また、TV番組、CM、イベント等にてダンサーとして数多く出演。			なし
講義概要				
踊るための体作り(柔軟、ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニングなど)振付、構成を覚え、ダンス発表する。人前で表現する意識を高める。				
到達目標				
柔軟、筋トレなどを通じて踊る為の基礎作りをする。リズムトレーニング・振付を覚える。HIP HOPをベースに学園祭でのステージ発表、卒業公演のミュージカル公演でのダンス指導も含む。				
回	課題名	課題内容		
1	練習	学園祭に向けた練習		
2				
3				
4				
5	反省会	本番の感想、反省などの話し合い、目標の発表		
6	練習	卒業公演に向けて練習		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	まとめ	本番の感想、反省などの話し合い。1年間の復習。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ダンス実習2 基礎		山崎美由生		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「smap×smap」「堂本剛×国分太一」「嵐」などジャニーズのバックダンサーとして活躍。また、嵐、AKB48の振付等も務める。			なし
講義概要				
自分自身の姿勢を再認識し、美しい姿勢で踊る。				
到達目標				
エクササイズにおいて呼吸と身体の動きのコーディネーションの質を上げ、さらに美しい姿勢でのステップやターンにつなげ、「魅せる」ということを意識づけていく。				
回	課題名	課題内容		
1	ターン コンビネーション①	ダンスの基本ステップ、パドブレや様々なターンを練習することで身体の引き上げを意識する。		
2	ターン コンビネーション②			
3	ターン コンビネーション③			
4	ターン コンビネーション①			
5	ターン コンビネーション④			
6	ターン コンビネーション⑤			
7	振付を覚え研究	振り付けを行う。		
8	振付を覚え研究	各パートやユニゾンなど、反復しながら覚え、  さらに躍り込むことで綺麗さ、格好良さなど研究する。		
9	振付を覚え研究			
10	振付を覚え研究			
11	振付を覚え研究			
12	振付を覚え研究			
13	振付を覚え研究			
14	振付を覚え研究			
15	振付を覚え研究			
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ダンス実習2 応用		山崎美由生		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「smap×smap」「堂本剛×国分太一」「嵐」などジャニーズのバックダンサーとして活躍。また、嵐、AKB48の振付等も務める。			なし
講義概要				
前期同様自身の身体の理解し、自分に合った準備運動を考える。 ダンスの要素であるリズムトレーニング、容易なコンビネーションを覚えグループごとに発表してもらう。				
到達目標				
学園祭でのダンスパフォーマンス、卒業公演のダンスシーンにおいて、具体的な表現方法を学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	学園祭の振付、練習	学園祭でのパフォーマンスの振付・直し・踊り込み		
2				
3				
4	卒業公演のダンスパート 練習	卒業公演「シンデレラストーリー」ダンスパートの振付、踊り込み、キャラクターによつての異なる表現を研究する。		
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	振り返り	総括		
16				
備考	前期に行つてきた体幹トレーニングに加え姿勢改善に必要なストレッチを十分に行つ。「踊る」ことに抵抗や苦手意識のある学生もいるので、ゆったり踊る⇨リズムに乗ってステップを踏む⇨全身を使って大きく踊る、順を踏んで指導していく。前期同様、体力向上のために縄跳びやスキップ、ジャンプ、ステップの練習は継続する			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験(実技)・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルアンサンブル2基礎		菅原さおり		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学卒業。劇団四季を経て数々のミュージカルの舞台で活躍。ディズニーアニメの日本版吹替のコーラスにも何作か携わる			楽譜のコピー
講義概要				
1年次に身につけた基礎力をさらに高め、正しい呼吸法、発声法で歌唱する。斉唱に慣れたら、アンサンブルができるよう、ハモることにも慣れていく				
到達目標				
前期最後の授業内で、アンサンブルの発表ができること				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	1年次の反省。今年度の目標。自己紹介		
2	復習	ストレッチ、呼吸法、開口、発声、楽譜の読み方。アンサンブル①(ひとりぼっちの羊飼い)		
3	アンサンブル①	先週の続きから		
4	〃	ソロを決め、その役で歌う		
5	〃	仕上げ		
6	アンサンブル②	wicked(二人は永遠に)、音取り		
7	〃	先週の続きから		
8	〃	重唱		
9	〃	仕上げ		
10	アンサンブル③	曲目未定		
11	〃	〃		
12	〃	〃		
13	アンサンブル④	曲目未定(橙美祭の発表を視野に選曲する)		
14	〃	〃		
15	前期まとめ	クラス内発表(予定)		
備考	授業の進捗状況によって変更の場合もある			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験(実技)・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルアンサンブル2 応用		菅原さおり		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学卒業。劇団四季を経て数々のミュージカルの舞台で活躍。ディズニーアニメの日本版吹替のコーラスにも何作か携わる			楽譜
講義概要				
ボイストレーニング、リズムトレーニング等、歌う為のベーシックトレーニング、声優として必要になるボーカルレッスンを実施します。また、様々なジャンルの音楽に触れ実践を重ねる。				
到達目標				
発声の基礎を身につけ、あらゆるジャンルの曲に対応できるように個々の歌唱力を伸ばす。 また、ハーモニーの美しさを習得する。楽譜の読み方も指導していく。				
回	課題名	課題内容		
1	デュエット	とびらを開けて	(音取り)	
2	〃	とびらを開けて	台詞を入れていくつかの組に分かれて男女一組ずつお芝居も入れて発表	
3	〃			
4	〃			
5	クラシック	0 sole mio		
6	〃		〃	
7	J pop	にじいろ	(リズムを感じて軽やかにハモリの練習)	
8	〃		〃	
9	〃		〃	
10	自由曲	録音に向けて個人指導		
11	〃		〃	
12	〃		〃	
13	Rec		録音	
14	まとめ		録音鑑賞と2年のまとめ試験	
15	後期のテスト		課題曲の中から一曲選んで独唱	
備考	授業の進み具合によっては課題曲を増やしていく			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技(実習)		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルセオリー2 基礎		新田恵		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>国立音楽大学声楽科卒業。全国の学校でミュージカル、オペラ、合唱の公演に参加。多摩美術大学映像演劇学科、SET、尚美学園ミュージカル学科等で教鞭を執る。加藤健一事務所、さておき/モチロンプロデュース(大人計画)、若手劇団の公演で発声、歌唱指導を行う。現在、木野花、染谷将太、菊地凜子、安藤玉恵他、舞台・映像で活躍する俳優の個人トレーナー。座・高円寺演技アカデミー、新・江ノ島水族館、すみだ水族館講師。</p>			プリントの配布
講義概要				
<p>楽曲の譜面を利用し、楽典の基礎を身に着ける。コード、キーを理解し、ボーカル表現の向上に結びつける。オーディション対策として、楽譜・カラオケ・歌詞カードの準備をする。</p>				
到達目標				
<p>読譜力の向上。現場で仕様される音楽用語の理解。PCやスマホで楽譜の音を再生したり、楽譜を作成できる為の知識を身に着ける。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	今年度の授業の進め方の説明。		
2	楽曲分析の説明	課題曲を楽曲分析してみる		
3	楽曲1	①各自がオーディション自由曲に選みたい楽曲を決め、楽譜・カラオケを準備する。		
4		②選んだ楽曲の楽譜上の音楽用語を調べる。③リズム唱④音名唱		
5		③リズム唱④音名唱⑤歌詞カードを作りコードを書き込む		
6		歌唱。楽譜、歌詞カードの提出		
7	楽曲1	①各自がオーディション自由曲に選みたい楽曲を決め、楽譜・カラオケを準備する。		
8		②選んだ楽曲の楽譜上の音楽用語を調べる。③リズム唱④音名唱		
9		③リズム唱④音名唱⑤歌詞カードを作りコードを書き込む		
10		歌唱。楽譜、歌詞カードの提出		
11	楽曲1	①各自がオーディション自由曲に選みたい楽曲を決め、楽譜・カラオケを準備する。		
12		②選んだ楽曲の楽譜上の音楽用語を調べる。③リズム唱④音名唱		
13		③リズム唱④音名唱⑤歌詞カードを作りコードを書き込む		
14		歌唱。楽譜、歌詞カードの提出		
15	まとめ	雰囲気、耳コピだけでなく音楽理論によって裏打ちされた歌唱についての感想を述べ演奏を行う。		
備考	楽譜、カラオケ、歌詞カードの提出を採点する。オーディション対策なので期限を重視する。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルセオリー2 応用		新田 恵		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	国立音楽大学声楽科卒業。全国の学校でミュージカル、オペラ、合唱の公演に参加。多摩美術大学映像演劇学科、SET、尚美学園ミュージカル学科等で教鞭を執る。加藤健一事務所、さておき／モチロンプロデュース(大人計画)、若手劇団の公演で発声、歌唱指導を行う。現在、木野花、染谷将太、菊地凜子、安藤玉恵他、舞台・映像で活躍する俳優の個人トレーナー。座・高円寺演技アカデミー、新・江ノ島水族館、すみだ水族館講師。			オリジナルプリント
講義概要				
「音楽」と「演劇」を題材に、ステージでの作品作りを実施。 年度末に行われる卒業公演の稽古～本番を実施する。				
到達目標				
ステージ作品を学生主体で創り上げることにより(台本、演出、音楽、振付、衣裳、音響、照明プランなど)総合的に舞台演技、ステージングを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	コールユーブンゲン	8分音符		
2	コールユーブンゲン	16分音符		
3	コールユーブンゲン	3/8拍子と6/8拍子		
4	コールユーブンゲン	5度音程の転回		
5	コールユーブンゲン	8分音符を含むシンコペーション		
6	コールユーブンゲン	9/8 12/8 拍子		
7	コールユーブンゲン	6度音程		
8	コールユーブンゲン	三連符		
9	コールユーブンゲン	6度音程の転回		
10	コールユーブンゲン	16分音符の練習①		
11	コールユーブンゲン	16分音符の練習②		
12	コールユーブンゲン	16分音符の練習③		
13	コールユーブンゲン	16分音符の練習④		
14	コールユーブンゲン	卒公集中稽古の為休講		
15	前期の復習	2年間の復習		
備考	今年度は習熟度、進み具合によって随時小テストを行う。小テストの結果は成績に反映する。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験 (実技)・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルテクニック2 基礎		小西一弘		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ドラム&ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲、アーティストプロデュースなど40年以上に渡り活動。1988年より学校教育に携わり、音楽学校の教務主任、副校長を歴任。また、ボーカルトレーナーとしてプロアマ3,000人以上を指導して来た。			課題曲音源
講義概要				
自由曲を用い、演者としての個々のスキルアップ及び、パフォーマーとしての意識付けを行う事で、其々に合った方向性を見出し、歌うことの楽しさや演者としての応用技術として活用できるよう指導する。 1人1人の個性に合う選曲から、本当に使える発声法、およびその仕組みを理解する所から始め、リズム、音程、表現力にいたるまで、日本語の楽曲にて身につける。 また楽曲への取り組み方(歌詞、リズム、メロディ、プレス、長さなど)=アナライズの習慣を身につける。				
到達目標				
ボーカル実技で習得した、効率の良い発声、発音などの技術を声優、役者としても応用できるようにする。				
回	課題名	課題内容		
1	復習	発声のシステムなど。1年次で学んだことを復習。		
2	ボーカル実技	1年次で学んだことを基に歌唱。それに加え、高次元の技術指導をおこなう。		
3	ボーカル実技	1年次で学んだことを基に歌唱。それに加え、高次元の技術指導をおこなう。		
4	ボーカル実技 リズムトレーニング	ボーカル実技とリズムトレーニング		
5	機材説明 ステージ体験	機材のセッティング、モニターの聴き方やステージマナーなどをミニライブ形式で体験。		
6	ボーカル実技 リズムトレーニング ボイストレーニング  ※ボーカル指導をベースに、進行状況を見ながら 適宜実施してゆく	各人の課題曲(1曲目)を通じた技術指導。以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。  4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを体で取る為のトレーニング。 打楽器を使ったトレーニングの他、インターロックなどグループを感じてリズムを強化。  発声のシステムを復習。練習方法をマスターする。 半音、全音のインターバル訓練。マイナー、メジャーのコードを歌う。  その他、時期に応じたステージパフォーマンスへの対応力を身につける。  レコーディングに向けた指導。選曲、作業用歌詞カード作成について。 ヘッドフォンモニターのやり方、モニターバランスの作り方など録音への準備。		
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ボーカルテクニック2 応用		小西一弘		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>ドラム&amp;ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲、アーティストプロデュースなど40年以上に渡り活動。1988年より学校教育に携わり、音楽学校の教務主任、副校長を歴任。また、ボーカルトレーナーとしてプロアマ3,000人以上を指導して来た。</p>			課題曲音源
講義概要				
前期に引き続き、ボーカリストとしての個々のスキルアップ及び、パフォーマーとしての意識付けを行う事で、其々に合った方向性を見出し、歌うことの楽しさや演者としての応用技術として活用できるよう指導する。				
到達目標				
1人1人の個性に合う選曲から、本当に使える発声法、およびその仕組みを理解する所から始め、リズム、音程、表現力にいたるまで、日本語(母国語)の楽曲にて身につける。また楽曲への取り組み方(歌詞、リズム、メロディ、ブレス、長さなど)=アナライズの習慣を身につける。学園祭、卒業公演に向けた個別のスキルアップのための指導を行う。				
回	課題名	課題内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6		各人の課題曲(2曲目)を通じた技術指導。以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。		
7	ボーカル実技 リズムトレーニング ボイストレーニング	4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを体で取る為のトレーニング。 打楽器を使ったトレーニングの他、インターロックなどグルーブを感じてリズムを強化。		
8	※ボーカル指導をベースに、進行状況を見ながら 適宜実施してゆく	発声のシステムを復習。練習方法をマスターする。 半音、全音のインターバル訓練。マイナー、メジャーのコードを歌う。		
9		その他、学園祭等への出演、オーディションなど、時期に応じたステージパフォーマンスへの対応力を身につける。		
10		卒業公演に向けた歌唱指導。 Vo. 発表会に向けた指導。		
11				
12				
13				
14				
15				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
パフォーマンス実技 基礎		maaya		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ダンサー、ダンス講師としての活動に加え、テレビ東京「カラオケバトル」優勝など、シンガーとしてもライブ、YouTube等で活動中。複数の楽曲を配信リリースしている。東京声優スクールダンスコース講師			
講義概要				
<p>棒立ちで歌う学生が多く、せっかく歌唱の実力がついてパフォーマンスとして魅了できていない学生が多い。            アニソンコースのボーカル実技の一環として、歌の表現に必要な体を使ったパフォーマンスを身につける。            ボーカルテクニックで個々に練習中の曲を使い、リズムの取り方、体の使い方を、具体的にパフォーマンスしながら実習する。</p>				
到達目標				
<p>人前でパフォーマンスする際に歌唱での表現には注力するが、体の動きを使えていない者が多く見られる。            ステージ発表や卒業公演など、より伝えることができるよう、実践的活用を実現する。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	GUIDANCE	授業の方針や、個別の対応力を見るための時間とする		
2	BASIC TRAINING	<p>基本的な動きを身につけるためのダンスレッスン+ボディーメイクの為の全体レッスン。            ↓            各人の課題曲(ボーカルテクニック授業での1曲)を通じた技術指導。            以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、            クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。            ↓            4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを体で取る為のトレーニング。            簡単なステップや基本となる動きをそれぞれの楽曲に応じて活用。            グループを感じてリズムを強化。            ↓            その他、時期に応じステージパフォーマンスへの対応力を身につける。</p>		
3	BASIC TRAINING			
4	BASIC TRAINING			
5	PERFORMANCE TRAINING			
6	PERFORMANCE TRAINING			
7	PERFORMANCE TRAINING			
8	PERFORMANCE TRAINING			
9	PERFORMANCE TRAINING			
10	PERFORMANCE TRAINING			
11	PERFORMANCE TRAINING			
12	PERFORMANCE TRAINING			
13	PERFORMANCE TRAINING			
14	PERFORMANCE TRAINING			
15	PERFORMANCE TRAINING			
備考	ボーカルテクニックの授業とリンクして、個別の進度に応じて進める。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優アーティストコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・実習		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
パフォーマンス実技 応用		maaya		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ダンサー、ダンス講師としての活動に加え、テレビ東京「カラオケバトル」優勝など、シンガーとしてもライブ、YouTube等で活動中。複数の楽曲を配信リリースしている。東京声優スクールダンスコース講師			
講義概要				
<p>棒立ちで歌う学生が多く、せっかく歌唱の実力がついていてもパフォーマンスとして魅了できていない学生が多い。          アニソンコースのボーカル実技の一環として、歌の表現に必要な体を使ったパフォーマンスを身につける。          ボーカルテクニックで個々に練習中の曲を使い、リズムの取り方、体の使い方を、具体的にパフォーマンスしながら実習する。</p>				
到達目標				
<p>人前でパフォーマンスする際に歌唱での表現には注力するが、体の動きを使えていない者が多く見うけられる。          ステージ発表や卒業公演など、より伝えることができるよう、実践的活用を実現する。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	BASIC TRAINING	<p>基本的な動きを身につけるためのダンスレッスン+ボディーメイクの為の全体レッスン。          ↓          各人の課題曲(ボーカルテクニック授業での1曲)を通じた技術指導。          以降は注意点を必ず次回までに練習しておき、          クラスではその結果を披露するスタイルで進行する。          ↓          4分・8分・16分及び裏拍など複数のカウントを体で取る為のトレーニング。          簡単なステップや基本となる動きをそれぞれの楽曲に応じて活用。          グループを感じてリズムを強化。          ↓          その他、時期に応じステージパフォーマンスへの対応力を身につける。</p>		
2	BASIC TRAINING			
3	BASIC TRAINING			
4	BASIC TRAINING			
5	PERFORMANCE TRAINING			
6	PERFORMANCE TRAINING			
7	PERFORMANCE TRAINING			
8	PERFORMANCE TRAINING			
9	PERFORMANCE TRAINING			
10	PERFORMANCE TRAINING			
11	PERFORMANCE TRAINING			
12	PERFORMANCE TRAINING			
13	PERFORMANCE TRAINING			
14	PERFORMANCE TRAINING			
15	PERFORMANCE TRAINING			
備考	ボーカルテクニックの授業とリンクして、個別の進度に応じて進める。			

シラバス

声優学科  
声優スタッフコース

年度	対象	昼夜	科	コース	
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース	
学期	総時間数	授業の方法		評価方法	
前期	64	講義	演習・実験	実技・実習	筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準	
演技実習1 基礎		とりいちえ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材	
有	幼少より舞台を中心に研鑽を重ねる。演劇を中心に、俳優、演出、演技コーチ、インプロヴァイザー、コミュニケーション講師と現在フリーで活躍			各種台本 など	
講義概要					
学生の将来を見据え、まずは演技の「やり方」より演技者としての「在り方(俳優の内面)」の構築を重視。並行して、潜在的な可能性を広げる為の身体・声作り、アンサンブル意識の向上を。演技の基本理論及び知識の提供、各課題に沿った実践。					
到達目標					
個々に既に備わっている創造性や魅力を発見し、それらの表出を阻害しているものを取り除き、怖れを手放す感覚を手に入れる。演技への興味を深め(好きになる)、同時に想像力・創造力・観察力を高め、役を“演じる”のではなく“生きる”ための土台を作り、二年次に向けた基礎訓練の習慣を身につ					
回	課題名	課題内容			
1	チームビルディング	オリエンテーション / 共鳴確認・課題台詞実践・チームビルディング			
2	自分の観察・身体感覚	自己開示 / 自分の中にある無意識の「意識化」 / 身体の内部感覚			
3	リラクゼーション・モノローグ①	ボディマッピング、リラクセス、スキヤニング、想像 / モノローグ①			
4	発声確認・演技とは	発声メカニズムの確認 / “演じる”という事・演技の種類 / モノローグ②			
5	五感・外と繋がる	五感の記憶による「空想」と「正当化」 / 会話の基本(対象、ビート)			
6	感情解放	自分が感じている感情を知る			
7	感情表現	想像を膨らませて感情の種類を体験し、アウトプットをする訓練			
8	感情台詞・エチュード①	言葉に想いを乗せる / エチュード①			
9	エチュード②	やり終えていない課題、その他 実践			
10	発表に向けての実習	発表作品の稽古開始(内容はクラスの状況から判断)			
11	”	” 「協力」「身体を使ってやってみる」事の習慣化			
12	”	”			
13	”	”			
14	”	”			
15	発表	クラス内発表(予定)・振り返り			
備考					

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習1 応用		とりいちえ		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	幼少より仕舞を中心に研鑽を重ねる。プロジェクトチーム月光舎に旗揚げより参加。アジアの芸能文化に関わりながら舞台演劇を中心に、女優、演出、演技コーチと現在フリーで活躍中。			台本
講義概要				
前期で学んだことや気づきを生かして皆で1本の作品を創り、次年度への発展に繋げていく。 また、年度末の発表を通し、舞台演劇の上演までに必要な流れを学ぶ。				
到達目標				
共有力や協力の必要性を知り、相互影響を経験することによる人としての成長を第一に。 公演練習を通し、演技術の習得(向上)、演じることの魅力、楽しさを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	自覚と課題・遊ぶ	前期の発表から学んだこと、後期中に克服したい課題の確認。シアターゲーム(考えずに、感じる)		
2	台本分析①	戯曲の読み方(行動分析)		
3	台本分析②	〃		
4	台本配布・本読み	本読み、舞台用語説明		
5	配役・立ち稽古	配役発表・公演稽古		
6	立ち稽古	スタッフ決定・公演稽古		
7	〃	公演稽古		
8	〃	〃		
9	〃	〃		
10	〃	〃		
11	〃	乱通し		
12	〃	頭から止め止めで通し。抜き稽古		
13	〃	抜き稽古		
14	〃	〃		
15	〃	最終通し(衣装着け)		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
エンタテインメントビジネスゼミ 基礎		伊東格		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大手芸能プロダクションでアーティストマネージャーを初め、A&Rプロデューサー、A&Rディレクター、プロモーター、コーディネーターなどを務める。また、イベント制作も含めエンタテインメントの多岐に渡る職種に精通する。			特にナシ
講義概要				
エンタテインメントビジネスの基礎知義の修得				
到達目標				
人格形成(道徳系)を踏まえてエンタテインメントビジネスでのスタッフ業務の取り組み方・向き合い方の同等認識 エンタテインメントビジネス業務の総合的な知識の浸透				
回	課題名	課題内容		
1(4/21)	エンタテインメント基礎概論	ビジネスでの人格形成&道徳関係		
2(4/28)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知義		
3(5/12)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:マネジメント		
4(5/19)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:著作権系		
5(5/26)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:メーカー&流通		
6(6/02)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:音楽出版社		
7(6/09)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:プロモーション		
8(6/16)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:媒体系		
9(6/23)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:アニメの歴史①		
10(6/30)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:アニメの歴史②		
11(7/07)	エンタテインメント基礎概論	休講		
12(7/14)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:アニメの歴史③		
13(8/25)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:SNS系		
14(9/01)	エンタテインメント基礎概論	エンタテインメントビジネス基礎知識:イベント		
15(9/08)	エンタテインメント基礎概論	高田馬場芸術劇場:企画考案・内容組立		
備考	昨年と同じく、水島先生の講義内容をベースにしてまとめています。 正直、本人の経験則的に水島先生の講義と同レベルにするには難儀ですが、出来る限り努力します。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
エンタテインメントビジネスゼミ1応用		伊東格		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大手芸能プロダクションでアーティストマネージャーを初め、A&Rプロデューサー、A&Rディレクター、プロモーター、コーディネーターなどを務める。また、イベント制作も含めエンタテインメントの多岐に渡る職種に精通する。			機材/過去実績資料
講義概要				
エンタテインメント業界への理解を深める授業。声優業界は昨今、声の演技の実だけが求められるだけでなく、舞台、歌、ダンス等、芸能としてエンタテインメント業界での活動も求められるようになった。この授業では、幅広くエンタテインメント業界で仕事をすることへの理解を深める授業として位置づけます。いくつかのカリキュラムで、各界で活躍するプロフェッショナルゲストを招き、よりその業界の知識を求めてもらう授業も取り入れたいと思います。				
到達目標				
プロジェクトの企画と実施。 エンタテインメントシーンでを知る				
回	課題名	課題内容		
1	アーティスト制作2①	イベントの企画		
2	アーティスト制作2②	イベントの企画		
3	アーティスト制作2③	イベントの企画		
4	アーティスト制作2④	イベントの企画		
5	特別授業	アニメーション業界からのゲスト with. サンライズミュージック予定		
6	業界研究①	アニメーション業界を知る		
7	特別授業	イベント業界からのゲスト with. 某大手イベンター		
8	業界研究②	メディア業界を知る		
9	特別授業	ラジオ業界からのゲスト with. 文化放送アニメ番組担当予定		
10	業界研究③	メディア業界を知る		
11	特別授業	マネジメント業界からのゲスト with. 大手芸能事務所予定		
12	業界研究④	マネジメントとは？		
13	特別授業	音楽出版業界からのゲスト with. フジパシフィック音楽出版予定		
14	特別授業	声優ライブビジネスからのゲスト with. バンダイナムコ予定		
15	就活に向けて	エンタメ業界で働く知識。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <u>実技</u> ・ <u>実習</u>		筆記試験・実技試験・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ステージ音響・照明A		須藤 佑		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	クレイジーケンバンドGt.小野瀬雅生氏のリーダーバンド『小野瀬雅生ショウ』のギタリスト。また、アニソン等の楽曲制作も実施。音楽制作、音声収録、配信システムプラン、オペレート等、音響システムに精通する。			機材
講義概要				
音響に関する基礎知識までを学びます。簡単なPAシステムやナレーション等の録音を学びます。				
到達目標				
イベント制作をする上で必要となる、音響に関する基礎知識を学びます。音響機器の使い方を身につけ、音響スタッフとの打合せや進行スケジュール作りに役立てます。				
回	課題名	課題内容		
1	音響について	音響・PAの役割を学びます。また、授業に際しての安全や注意事項の説明を行います。		
2	ケーブル巻き	機材を扱うことに必要になる、ケーブルの巻き方(八の字巻き)の意味と方法を知り、習得に向けての練習をする。		
3	マイク・マイクスタンド	マイクの種類や使用シーンを覚え、取り扱い方法を万部。		
4	機材に関して	様々な機材の取り扱いを学ぶ		
5	音声収録①	ナレーションを録音する		
6	音声収録②	ナレーションを録音する		
7	音声収録③	ナレーションを録音する		
8	小規模PA①	小規模PAシステムの組み方を学ぶ。		
9	小規模PA②	小規模PAシステムの組み方を学ぶ。		
10	小規模PA③	小規模PAシステムの組み方を学ぶ。		
11	舞台概論①	現場で使われる用語や名称を学びます。また、セッティング図の書き方や読み方も学びます。		
12	舞台概論②	現場で使われる用語や名称を学びます。また、セッティング図の書き方や読み方も学びます。		
13	システム構築①	小規模システムの組立、ばらしの練習		
14	システム構築②	小規模システムを使用したイベントの実施。		
15	まとめ	今まで学んだことを使用して		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <u>実技</u> ・ <u>実習</u>		筆記試験・実技試験・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ステージ音響・照明B		岡野 昌代		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	(有)ピコレにて照明プランナー・オペレーターとして、舞台演劇を中心に多岐に渡る現場を経験。また、ホンダスタジオ入所、劇団にての役者経験もあり、どちらの視点からも多角的に指導。			映像・機材
講義概要				
舞台の機構から舞台照明に関する基礎知識までを学ばせます。舞台照明を通して舞台スタッフとは何かという事を学ばせます。				
到達目標				
舞台用語、機構の理解。照明機材、効果の理解。スタッフワークの理解。				
回	課題名	課題内容		
1	イントロダクション	舞台用語、舞台機構から舞台照明の仕事の紹介		
2	舞台スタッフの仕事	舞台照明の仕事の中身の理解と舞台の他セクションとの繋がりを学ぶ		
3	舞台を知ろう	色々な舞台作品を見て、舞台スタッフの表現の違いを学ぶ		
4	舞台スタッフの1日	舞台スタッフの仕込みの1日を学ぶ		
5	劇場でのスタッフワーク	劇場での作品を見ながら舞台スタッフの仕事学ぶ		
6	舞台用語	舞台機構、用語復習と新規に用語を学ぶ		
7	様々な舞台	鉄管結び、舞台監督の仕事、舞台用語		
8	照明の機構と用語	照明の機構、機材について		
9	図面～吊り込み	図面の読み方から吊り込みの方法を学ぶ		
10	仕込み～バラシまで	照明仕込み～撤去までの流れについて学ぶ		
11	照明卓	照明卓を触る。		
12	明かりを作る	課題を与えて明かりを作ることを学ぶ		
13	明かりを作る	課題を与えて明かりを作ることを学ぶ		
14	明かりを作る	課題を与えて明かりを作ることを学ぶ		
15	まとめ	舞台スタッフの約割を含めたまとめ		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <u>実習</u>		筆記試験・実技試験・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
DTP PCワーク 基礎		綺朔ちいこ	優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	イラストレーター。1994年より書籍挿絵、室内装飾、個展、グループ展など東京を中心に活動中。		プリント・PC ソフトウェア (Word・Excel・PowerPoint・Illustrator・Photoshop)	
講義概要				
DTP及びPCワークにおいて必要な基礎知識と基礎技術を習得。 課題を出題し各ソフトウェアを操作しての実習を通し仕組みやデータ作成の理解を深めていく。				
到達目標				
PC操作に慣れることを前提とし、DTP及びPCワークで活用できるソフトウェアの操作技術の基本知識を身に着ける。 また制作物・データ作成における基本知識の把握も併せてすることにより、作成の必要が生じた際に円滑な対応が出来るスキルを身に着ける。				
回	課題名	課題内容		
1	PC操作基本	PC操作の基本・各ソフトウェアの概要を知る。		
2	Word基本	Wordの基本操作、活用方法を学ぶ。		
3	Excel基本	Excelの基本操作、活用方法を学ぶ。		
4	PowerPoint基本	PowerPointの基本操作、活用方法を学ぶ。		
5	①実習	Word、Excel、PowerPointの応用技術に触れる。		
6	Illustrator基本	Illustratorの基本操作を学ぶ。		
7	Illustrator基本	〃		
8	Illustrator実習	Illustratorを用い制作物を完成させる。		
9	Photoshop基本	Photoshopの基本操作を学ぶ。		
10	Photoshop基本	〃		
11	Photoshop実習	Photoshopを用い制作物を完成させる。		
12	②実習	Illustrator、Photoshopを用いて制作物を作る。		
13	制作実習まとめ	これまで使用したソフトウェアを使用し制作物を完成させる。		
14	制作実習まとめ	〃		
15	制作実習まとめ	〃		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
DTP PCワーク 応用		綺朔ちいこ		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	イラストレーター。1994年より書籍挿絵、室内装飾、個展、グループ展など東京を中心に活動中。			プリント・PC ソフトウェア (Word・Excel・PowerPoint・Illustrator・Photoshop)
講義概要				
DTP及びPCワークにおいて必要な基礎知識と基礎技術を習得。 課題を出題し各ソフトウェアを操作しての実習を通し仕組みやデータ作成の理解を深めていく。				
到達目標				
PC操作に慣れることを前提とし、DTP及びPCワークで活用できるソフトウェアの操作技術の基本知識を身につける。 また制作物・データ作成における基本知識の把握も併せてすることにより、作成の必要が生じた際に円滑な対応が出来るスキルを身につける。				
回	課題名	課題内容		
1	Photoshopまとめ	Photoshopの基本操作のまとめを学ぶ。		
2	Photoshop制作実習	Photoshopを活用した制作物を作成する。		
3	Illustrator基本II	Illustratorの基本操作を学ぶ。		
4	〃	〃		
5	〃	〃		
6	〃	〃		
7	Illustrator応用II	Illustratorの基本操作をもとに应用方法を学ぶ。		
8	〃	〃		
9	〃	〃		
10	Illustrator制作実習	Illustratorを活用した制作物を作成する。		
11	ソフトウェア活用技法	DTP制作物における各ソフトウェアの活用方法を学ぶ。		
12	〃	〃		
13	制作実習まとめ	これまで使用したソフトウェアを使用し制作物を完成させる。		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
備考	学生の状況により授業内容を調整する場合あり。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ビジネスマナー1 基礎		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			ビジネス能力検定テキスト・問題集・オリジナルプリント
講義概要				
授業冒頭、一週間のうち気になったニュースを一人1件紹介する。テキスト巻末の時事用語の解説を行い、その後私見対策としてテキスト内の説明を行う。授業の最後に問題集を解いて、試験問題に慣れていく。宿題として、毎回、硬筆練習プリントを課す。				
到達目標				
12月実施のビジネス能力検定(B検)合格を目指す。また、講義を通じて職業観や勤労観の形成を行い、ビジネス社会の常識、基本的なコミュニケーション能力、情報の活用法を習得する。検定試験後は、協調性、積極性を養うグループワークを行い、来る就職活動に向けた準備をする。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	授業の進め方解説、効果的な自己PR、ビジネスの現場での言葉遣い		
2	ビジネス能力検定対策	グループディスカッション		
3	ビジネス能力検定対策	情報収集とメディアの活用		
4	ビジネス能力検定対策	キャリアと仕事へのアプローチ		
5	ビジネス能力検定対策	仕事の基本となる8つの意識		
6	ビジネス能力検定対策	コミュニケーションとビジネスマナーの基本		
7	ビジネス能力検定対策	指示の受け方と報告、連絡、相談・自分の好きなこと嫌いなことを話すゲーム		
8	ビジネス能力検定対策	話し方と聞き方のポイント・敬語・共通点相違点探しゲーム		
9	ビジネス能力検定対策	話し方と聞き方のポイント・敬語・敬語問題集		
10	ビジネス能力検定対策	来客応対と訪問の基本マナー		
11	ビジネス能力検定対策	会社関係での付き合い、巻末の問題に挑戦		
12	ビジネス能力検定対策	仕事への取り組み方		
13	ビジネス能力検定対策	仕事への取り組み方		
14	ビジネス能力検定対策	電話応対		
15	ビジネス能力検定対策	電話応対		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技（実習）		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ビジネスマナー1応用		加藤知華		優：100～90、良：89～80、可：79～60、不可：59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送(株)報道部所属。アナウンサー、ナレーター、レポーター、MCとしての実績豊富。			ジョブパステキスト・オリジナルプリント
講義概要				
12月実施のビジネス能力検定(B検)合格を目指す講義を行う。前期に引き続き、一週間の気になるニュースを各自発表し、意見効果の行う。検定後はビジネスに役立つスキルを養うため、様々な実践的授業を行っていく。				
到達目標				
ビジネス能力検定(B検)合格を目指す。検定終了後は協調性、積極性を養うグループディスカッションやパワーポイントを使ったプレゼンテーション練習を行っていく。				
回	課題名	課題内容		
1	テキスト解説	ビジネス用語テスト・テキスト第2編3章（ロールプレイング）		
2	テキスト解説	テキスト第2編4章（統計・データの読み方、まとめ方）		
3	テキスト解説	テキスト第2編6章（会社を取り巻く環境と経済の基本）①		
4	テキスト解説	テキスト第2編7章（会社を取り巻く環境と経済の基本）②		
5	過去問	ビジネス能力検定過去問・解説		
6	過去問	ビジネス能力検定過去問・解説		
7	過去問	ビジネス能力検定過去問・解説		
8	過去問	ビジネス能力検定過去問・解説		
9	グループワーク	グループワーク		
10	ディスカッション	グループディスカッション		
11	プレゼンテーション	プレゼンテーション①		
12	プレゼンテーション	プレゼンテーション②		
13	プレゼンテーション	プレゼンテーション③		
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション④		
15	後期試験	プレゼンテーション		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
番組制作1 基礎		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			オリジナル・プリント
講義概要				
声優がラジオ番組にかかわる機会に備え、放送番組のスタイルに慣れるためのプログラム。トーク基礎を中心に、自分の思いや考えをことばにして伝えることの大切さと楽しさを学ぶ。				
到達目標				
与えられたテーマに沿って聞いている人の耳をひきつけるトークを展開できるようにする。また、複数の時はトーク相手の魅力的な話を引き出せるようなフリートークの力をつける。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介	出身地や趣味など、自分のことを知ってもらうための自己紹介をしよう		
2	スタジオマナー	スタジオの使用方法を学び、準備をしたスタジオでマイクに声を乗せてみよう		
3	フリートーク①	番組内トークをイメージし、連休中どんな過ごし方をしたかについて話してみよう		
4	ラジオについて	好きな番組や聴いてみたい、自分が参加したい、など、ラジオの番組について話そう		
5	ゲストの話を聞く	ゲスト番組のDJを想定して、決められたテーマに沿い、相手の話を聞いてみよう		
6	フリートーク②	レイニーシーズンの過ごし方について自由に話してみよう		
7	要旨と感想	活字作品をひとつ取り上げ、その要旨と感想をことばにしてみよう		
8	時間を意識	ストップウォッチを活用して、トークの長さをしっかり意識してみよう		
9	好きな〇〇について	アニメや映画、ドラマなど、好きなエンターテインメント作品について語ろう		
10	オススメ曲の紹介	自分の好きなアーティストの曲を仮想ラジオ番組で紹介しよう		
11	複数人でのトーク	進行役、タイムキーパーなど役割を分担し、4人程度でのグループトークに挑戦しよう		
12	夏休みの課題	現時点での自分の課題を自分で確認して、夏休みにクリアする目標について話してみよう		
13	企画発表	夏休みの宿題だった「番組企画」についてプレゼンという形で発表をしよう		
14	防災コメント	9月1日の防災の日になみ、災害時の情報伝達ツールとしてのラジオを意識した防災告知		
15	番組制作①	実際に制作する企画番組に向けての班分けや準備作業をしよう各チーム毎に、役割分担をした上で、番組制作に取り組もう		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	1年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
番組制作1 応用		手銭道子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	ラジオ番組ディレクター。FMヨコハマ等、大手FMラジオ局にて番組制作に携わっており、番組制作、イベント演出など放送業界での経験も豊富。			なし
講義概要				
実際の番組を想定し、パーソナリティとしてさまざまなタイプの番組進行を疑似体験した上、番組をゼロから作る作業にも挑戦する。				
到達目標				
企画書の制作、プレゼンを踏まえ、チームを組んでスタッフ、出演者など担当を決め、チームワークを大切にしながら、リスナーに届けるつもりで企画を番組の形にする。				
回	課題名	課題内容		
1	番組制作実習①	チームの中で役割分担を決め、放送までの制作工程を決め、制作発表。		
2	番組制作実習②	制作準備。素材作成作業。事前録音するものや、効果音スタンバイ。		
3	番組制作実習③	番組制作のつづき。ランスルーなどを通し、時間調整、内容修正など。		
4	スポットCMを作ろう	橙美祭又は自主番組の宣伝スポットを制作。原稿所書きから音にするまで。		
5	制作番組発表(放送)	ゲネプロに続き放送(=発表)後、モニターをして感想、反省トーク。		
6	ソロ・フリートーク	冬をテーマにフリートーク。前期と比べ、慣れてきた感触はあるかな。		
7	インタビュー再び	二人で組み、テーマに沿ってインタビューしよう。		
8	役割を交替して	前期のゼスト役がインタビュアーになり、トークをしよう。		
9	今年の振り返り	あとひと月を切った今年、自分の中での2018年・三大できごとをしようかい。		
10	クロストーク	グループで今年のエンターテイメントを振り返って語り合おう。		
11	特別番組を想定して	クリスマス特番お想定。エピソード披露などのトークと持参曲の紹介。		
12	年明けのコメント	新春恒例「抱負」トーク。年度末、進級公演に向けて、2年次に向けて。		
13	舞台公演の宣伝	来月本番を迎える舞台公演のプロモーションをしよう。		
14	疑似公開放送	リスナーを前にしてのイベントを想定。紙芝居。		
15	一年間のまとめ	番組の後枠を想定し、この一年間の放送実習でトライしたことへの感想と今後に向けてのコメントを。		
16				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2・外画		河相智哉		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	「セサミストリート」「ダイハード」「ビバリーヒルズ青春白書」「ER」などに参加			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>外画吹き替えのあらましと演技指導。 限られた時間と条件の中で、商用コンテンツとして耐え得る演技を行うための下地作り。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	イントロダクション	自己紹介、外画作品A#43台本配布、台本記号の解説など		
2	外画作品A #43①②	①配役、Vチェック ②Aパート (2~3回転)		
3	外画作品A #43③④	③Bパート (2~3回転) ④日本語版鑑賞、次回台本配布、次回V (原音) 鑑賞		
4	外画作品B #10 R-1①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
5	外画作品B #10 R-1③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
6	外画作品B #10 R-2①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
7	外画作品B #10 R-2③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
8	外画作品B #10 R-3,4①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
9	外画作品B #10 R-3,4③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
10	外画作品B #10 R-5,6①②	①第1班 練習 ②台本内容ディスカッション		
11	外画作品B #10 R-5,6③④	③第1班・第2班 練習 ④第2班 練習		
12	外画作品B #10 R-1、R-2 録音①②	①本番配役確認、R-1 リハ・ラストス・本番 ②R-2 リハ・ラストス・本番		
13	外画作品B#10 R-3・4、R-5・6 録音①②	①R-3・4 リハ・ラストス・本番 ②R-5・6 リハ・ラストス・本番		
14	外画作品B#10 鑑賞①②	①②鑑賞およびディスカッション		
15	※ボイスオーバー作品 ①②	①②V確認および練習 ※習熟状況によって内容の差し替えあり		
備考	※第15回においては、習熟状況によって外画作品Bの追加練習に差し替える予定あり			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ実習2・アニメ		こぶしのぶゆき		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	株式会社 賢プロダクション所属			アフレコ台本
講義概要				
<p>実際のアフレコ現場と同じ環境に身を置き、マイク前で演じる事に慣れる。 役作り、Vチェック、録音に纏わる全ての流れを学びます。</p>				
到達目標				
<p>アニメーション作品のアフレコに纏わる流れを学ぶ。 自分の感情を解放する術を、学ぶのではなく自ら気付ける事を目標とする。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	演技実習	気持ちのつなぎ方に重点を置いて、実際に舞台形式で立ち稽古を行いアフレコに応用できるきっかけを作る。		
2	↓	↓		
3	アフレコ実習④	アニメ作品CのAパートをアフレコ実習		
4	↓	↓		
5	↓	アニメ作品CのBパートをアフレコ実習		
6	↓	↓		
7	アフレコ実習⑤	アニメ作品DのAパートをアフレコ実習		
8	↓	↓		
9	↓	アニメ作品DのBパートをアフレコ実習		
10	↓	↓		
11	アフレコ実習⑥	演技実習で撮影した自分に自分でアフレコ ※この回、オペレーターさんを希望		
12	アフレコ実習⑦	アニメ作品Eをアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望		
13	アフレコ実習⑧	CM課題をアフレコ実習 ※この回、オペレーターさんを希望		
14	実技試験	アニメ作品FのAパートを選抜メンバーでアフレコ実習 ※この回、2コマ目のみオペレーターさんを希望		
15	↓	アニメ作品FのBパートを選抜メンバーでアフレコ実習 ※この回、2コマ目のみオペレーターさんを希望		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験 (実技) (実習)		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
舞台制作2B 応用		①小西一弘②黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>①ドラム &amp; ボーカルとしてプロ活動を開始。国内外での公演、レコーディング、作詞作曲など40年以上に渡り活動。ボーカルトレーナーとしてプロアマ2000人以上を指導。</p> <p>②劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。AtticTheater(プロデュースユニット)主宰・演出として活動。</p>			楽譜・台本
講義概要				
「音楽」と「演劇」を題材に、ステージでの作品作りを実施。年度末に行われる卒業公演の稽古～本番を実施する。				
到達目標				
ステージ作品を学生主体で創り上げるにより(台本、演出、音楽、振付、衣裳、音響、照明プランなど)総合的に舞台演技、ステージングを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	「シンデレラストーリー」	卒業公演「シンデレラストーリー」音楽稽古開始		
2	↓	作品に関わる先生方と連携を取りながら音楽稽古を進める。		
3	↓	大ナンバーからコーラスパート音取り		
4	↓	↓		
5	↓	↓		
6	↓	↓		
7	↓	↓振りや芝居のついたナンバーは踊り演じながら歌稽古		
8	↓	↓		
9	↓	↓		
10	↓	↓衣裳や小道具の準備制作		
11	↓	↓		
12	↓	↓		
13	↓	↓		
14	↓	↓		
15	↓	本番		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アクトテクニック 基礎		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			台本
講義概要				
演技するとはどういうことか？ 自分自身の声や身体の魅力を見つけ出し、それを利用して、表現する楽しさを学ぶ。				
到達目標				
自分らしさを演技に結び付けるテクニックを学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	自己紹介ほか	自己紹介と授業の説明。		
2	演技とは？	演技するとは？俳優の仕事とは？どういう事なのか話し合う。		
3	身体の発見	自分の身体のクセを知る。身体をリラックスさせていく。		
4	呼吸の発見	良い発声とはどういうことか？自分の呼吸の量を認識する。脇腹・背中を意識する。		
5	声の発見①	声を体に共鳴させる。喉を開いた発声。		
6	声の発見②	丹田を意識した発声。声のベクトル。		
7	身体から考える①	相手のポーズから発想する。『ワンポーズ・ワンセーブ』		
8	身体から考える②	ワンポーズエチュード		
9	集中の輪	第1 2 3の輪を意識して芝居を創作する。発表。		
10	与えられた状況	4つのWを意識して創作をする。発表。		
11	与えられた状況②	4つのWを意識して創作をする。考察。		
12	目的と障害①	目的と障害を意識して創作する。発表。		
13	目的と障害②	目的と障害を意識して創作する。考察。		
14	独り芝居を作る①	夏休みに作った一人芝居を発表。		
15	独り芝居を作る②	夏休みに作った一人芝居を考察。		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	64	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
演技実習2 応用		黒川竹春		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	劇団「第三舞台」鴻上尚史の演出助手をつとめ、その後、演出助手として多数の公演に参加。1999年よりAtticTheater(プロデュースユニット)を旗揚げし、主宰・演出として活動。また、俳優や企業等への演技講師も務める。			シンデレラストーリー
講義概要				
年度末に2年間の集大成として、外部上演する卒業公演の為の指導を行う。 舞台演劇の為のワークショップ、エチュード等も行い、声優アーティストとして必要になる舞台演劇のスキルを磨く。				
到達目標				
卒業 舞台公演の制作を通じて演劇の製作過程を実践的に習得する。 歌、ダンス、芝居の要素を含むミュージカル作品に取り組むことで、更なるスキルアップを目指す。				
回	課題名	課題内容		
1	本読み	本読み		
2	台本分析①	読んでみての感想		
3	役の分析①	登場人物を研究してみる		
4	役の分析②	登場人物を研究してみる		
5	役の分析③	登場人物を研究してみる		
6	役の分析④	登場人物を研究してみる		
7	作品を作るには①	テーマ(目標)を決める。		
8	作品を作るには②	舞台での見せ方を考える。		
9	作品を演じる①	作っていく。		
10	作品を演じる②	作っていく。		
11	作品を演じる③	作っていく。		
12	作品を演じる④	作っていく。		
13	作品を演じる⑤	作っていく。		
14	作品を演じる⑤	作っていく。		
15	本番	本番		
備考	※学生状況によって授業内容を変更する可能性があります。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・ <b>実技試験</b> ・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
番組制作2応用		檜戸雅也		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	声優 山寺宏一さんや森久保祥太郎さんはじめ数多くの声優との番組制作の経験を持つ。bayfmで『MOZAIKU NIGHT』等他多数を担当。			なし
講義概要				
放送の原点である『伝える』をテーマに実習を繰り返す。同時に演者の魅力を引き出すような番組の構成、トークの寸法、適切な内容量、音楽とのバランス、聞き手への配慮への技量を学ぶ。				
到達目標				
実習を通してひとりの人間の魅力を引き出す構成力と人と人を繋ぐ魅力あふれる番組ができるよう1年間指導致します。				
回	課題名	課題内容		
1	トーク実習	自己紹介一人喋り実習		
2	制作講義	話の構成、組み立てを考える		
3	トーク実習	話の構成を踏まえた上で日常トークを披露		
4	制作講義	BGM選曲と二人一組になって、お互いのトークテーマを考える		
5	トーク実習	選んだBGMでインタビュアー、ゲストに分かれてトーク実習		
6	制作講義	編集技術を学ぶ		
7	トーク実習	二人1組による適応能力と柔軟性を鍛えるテーマトーク		
8	制作講義	編集技術を学ぶ part2 制限時間内に内容を取める		
9	制作講義	30分の番組構成を考える		
10	制作講義&実習	幾つかにグループを分けて30分番組の企画構成を考える		
11	トーク実習	30分の番組を実際に制作		
12	トーク実習	夏休みの予定		
13	トーク実習	夏休みの思い出		
14	トーク実習	課題をクリアした上で再度、30分番組の作成		
15	トーク実習	前期を振り返って		
16				
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
DTP PCワーク2 基礎		綺朔ちいこ		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	イラストレーター。1994年より書籍挿絵、室内装飾、個展、グループ展など東京を中心に活動中。			プリント・PC ソフトウェア (Word・Excel・PowerPoint・Illustrator・Photoshop)
講義概要				
DTP及びPCワークにおいて必要な基礎知識と基礎技術を習得。 課題を出題し各ソフトウェアを操作しての実習を通し仕組みやデータ作成の理解を深めていく。				
到達目標				
PC操作に慣れることを前提とし、DTP及びPCワークで活用できるソフトウェアの操作技術の基本知識を身に着ける。 また制作物・データ作成における基本知識の把握も併せてすることにより、作成の必要が生じた際に円滑な対応が出来るスキルを身に着ける。				
回	課題名	課題内容		
1	PC操作基本	PC操作の基本・各ソフトウェアの概要を知る。		
2	Word基本	Wordの基本操作、活用方法を学ぶ。		
3	Excel基本	Excelの基本操作、活用方法を学ぶ。		
4	PowerPoint基本	PowerPointの基本操作、活用方法を学ぶ。		
5	①応用	Word、Excel、PowerPointの応用技術に触れる。		
6	Illustrator基本	Illustratorの基本操作を学ぶ。		
7	Illustrator応用	Illustratorの応用技術を学ぶ。		
8	Illustrator実習	Illustratorを用い制作物を完成させる。		
9	Photoshop基本	Photoshopの基本操作を学ぶ。		
10	Photoshop応用	Photoshopの応用技術を学ぶ。		
11	Photoshop実習	Photoshopを用い制作物を完成させる。		
12	②応用	Illustrator、Photoshopを用いた応用技術に触れ、制作物を作る。		
13	制作実習まとめ	これまで使用したソフトウェアを使用し制作物を企画し完成させる。		
14	制作実習まとめ	〃		
15	制作実習まとめ	〃		
備考	学生の状況により授業内容を調整する場合あり。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
DTP PCワーク2 応用		綺朔ちいこ		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	イラストレーター。1994年より書籍挿絵、室内装飾、個展、グループ展など東京を中心に活動中。			プリント・PC ソフトウェア (Word・Excel・PowerPoint・Illustrator・Photoshop)
講義概要				
DTP及びPCワークにおいて必要な基礎知識と基礎技術を習得。 課題を出題し各ソフトウェアを操作しての実習を通し仕組みやデータ作成の理解を深めていく。				
到達目標				
PC操作に慣れることを前提とし、DTP及びPCワークで活用できるソフトウェアの操作技術の基本知識を身に着ける。 また制作物・データ作成における基本知識の把握も併せてすることにより、作成の必要が生じた際に円滑な対応が出来るスキルを身に着ける。				
回	課題名	課題内容		
1	制作実習	Illustrator、Photoshop等を用い学園祭に向けた制作物の作成を進める。		
2	〃	〃		
3	〃	〃		
4	Illustrator応用Ⅱ	Illustratorで図解の制作方法を学び実践する。		
5	〃	〃		
6	〃	〃		
7	Illustrator応用Ⅲ	Illustratorで冊子レイアウトの制作方法を学び実践する。		
8	〃	〃		
9	〃	〃		
10	ソフトウェア活用 技法	DTP制作物における各ソフトウェアの活用方法を学ぶ。		
11	〃	〃		
12	制作実習まとめ	これまで使用したソフトウェアを使用し制作物を企画し完成させる。		
13	〃	〃		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
備考	学生の状況により授業内容を調整する場合あり。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師	評価基準	
アニメ制作進行管理2 基礎		松崎 泰之	優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価	
実務経験	講師プロフィール		教科書/使用教材	
有	<p>Music production "Hyd Lunch" 主宰 ( Guitarist, Mandolinist, Music composer, Sound producer )</p> <p>音響専門学校を卒業後、幾つかのバンドに在籍し計10枚のCDをリリースする他、各大型音楽フェスへの出演や海外アーティストのジャパンツアーサポートアクトを務める。その後、音楽活動を楽曲制作へシフト、国内外のゲームタイトルやTV番組、国内アーティストなどへの音楽制作 及び楽曲提供を行う。楽曲提供したゲームのサウンドトラックが、ゲームミュージック財団(ポーランド)の"Game Music Award 2024"にて、【ファン投票部門1位】に選ばれる。</p>			
講義概要				
<p>弊社全学科が参加出来るコンテンツ【全学科連動企画】として、Audio Drama・Picture Movie を制作。プリプロダクション～ポストプロダクションまで、各セクションの全体的な経験・習得を目指します。</p>				
到達目標				
<p>前期では主に"Audio Drama"の制作をメインとして、企画の立ち上げからスケジュール作成・進行、キャスティングやMAを経験する他、Picture Movie を見据えた絵コンテ作成などの基礎理解も目標とします。加えて、企画を通して他学科へのプレゼンや制作進行での交流など、コミュニケーション能力の向上も目指します。</p>				
回	課題名	課題内容		
1	全学科連動企画の把握	企画全体を理解し、年間のスケジュールを確認する。		
2	各担当決め①	企画制作に対し、どういった役割が必要かディスカッションを行い、各担当を決める。		
3	各担当決め②	SNSなどで連動企画の進捗をリリース出来ないか考え、進行してみる。		
4	ピクチャームービーの把握	ピクチャームービーの演出方法を理解し、今作の完成系を模索する。		
5	合同プレゼン①	原案提案者(総アニ科)からプレゼンを行ってもらい、企画の原案を決定する。		
6	企画書作成①	台本制作者を募る募集文を作成。読み手の興味が湧く文章の作成方法を学ぶ。		
7	企画書作成②	台本作成希望者に対する台本作製の企画書を作成する。		
8	合同プレゼン②	台本作成希望者に対する説明会を開催。(希望者多数の場合はコンペ形式とする)		
9	合同打ち合わせ	希望者より提案された台本プロットを元に、台本担当者及び内容を決定する。		
10	企画書作成③	次回のマンガ・イラスト系学科へのプレゼン会に向けて、資料作成を行う。		
11	合同プレゼン③	マンガ・イラスト系学科に対し、参加者を募るプレゼン会を開催。		
12	オーディション①	イラスト参加応募者の作品を確認→決定。可否の連絡文章を作成する。		
13	オーディション②	キャスト参加応募者の作品を確認→決定。可否の連絡文章を作成する。		
14	絵コンテ制作①	「絵コンテ」の内容や制作方法を学んでもらい、台本を元に各自のカット担当を決める。		
15	絵コンテ制作②	オーディオドラマ収録に向けての顔合わせ及び、本読み。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アニメ制作進行管理2 応用		笠原 淳子		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	映像制作、テクニカルライターとして活動。VJ「clink!clank!」所属。アートユニットiaitokyoにPrilišmaléシリーズのビジュアルデザインで参加。Premiere Pro 初級テクニックブック、After Effects初級テクニックブックなど著書多数			<ul style="list-style-type: none"> <li>・After Effects CC初級テクニックブック</li> <li>・Premiere Pro CC初級テクニックブック</li> </ul>
講義概要				
アニメーション制作現場の知識と技術を学習する。				
到達目標				
制作進行職やプロデューサー職を理解や、映像制作技術の習得。				
回	課題名	課題内容		
1	アニメ制作	アニメーション制作に纏わる職種や工程を知る		
2	アニメ制作	アニメーション制作に纏わる職種や工程を知る		
3	アニメ制作	アニメーション制作に纏わる職種や工程を知る		
4	アニメ制作	アニメーション制作に纏わる職種や工程を知る		
5	アニメ制作	アニメーション制作に纏わる職種や工程を知る		
6	AfterEffectsの仕組みを知る	AfterEffectsのアニメーション映像制作での設定方法から、アニメーション映像の仕組みを学習する。素材の読み込みやリンク切れの説明。素材作成。		
7	AfterEffectsの仕組みを知る	AfterEffectsのアニメーション映像制作での設定方法から、アニメーション映像の仕組みを学習する。素材の読み込みやリンク切れの説明。素材作成。		
8	AfterEffectsの仕組みを知る	AfterEffectsのアニメーション映像制作での設定方法から、アニメーション映像の仕組みを学習する。素材の読み込みやリンク切れの説明。素材作成。		
9	AfterEffectsの仕組みを知る	AfterEffectsのアニメーション映像制作での設定方法から、アニメーション映像の仕組みを学習する。素材の読み込みやリンク切れの説明。素材作成。		
10	AfterEffectsの仕組みを知る	AfterEffectsのアニメーション映像制作での設定方法から、アニメーション映像の仕組みを学習する。素材の読み込みやリンク切れの説明。素材作成。		
11	卒業制作	卒業制作作品の制作作業		
12	卒業制作	卒業制作作品の制作作業		
13	卒業制作	卒業制作作品の制作作業		
14	卒業制作	卒業制作作品の制作作業		
15	卒業制作	卒業制作作品の制作作業		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ音響2 基礎		松崎 泰之		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>Music production “Hyd Lunch” 主宰 ( Guitarist, Mandolinist, Music composer, Sound producer )</p> <p>音響専門学校を卒業後、幾つかのバンドに在籍し計10枚のCDをリリースする他、各大型音楽フェスへの出演や海外アーティストのジャパンツアーサポートアクトを務める。その後、音楽活動を楽曲制作へシフト、国内外のゲームタイトルやTV番組、国内アーティストなどへの音楽制作及び楽曲提供を行う。楽曲提供したゲームのサウンドトラックが、ゲームミュージック財団(ポーランド)の“Game Music Award 2024”にて、【ファン投票部門1位】に選ばれる。</p>			
講義概要				
DAWの概念を体系的に理解し、声優業界に於ける音声の収録・編集方法の基礎をマスターする他、録音実習(音響監督)を通して「思う・想う気持ちを言語化し相手に伝える力」のスキルアップを目指します。				
到達目標				
DAW (Digital Audio Workstation) ソフト、Cubase を理解し、MAと呼ばれる職業が行う音声の録音・編集・ミキシングに到るまでの専門的な技術の習得を目標とします。 そして Cubaseを「身近なツール」と感じてもらい、卒業後の進路に対し総合的な可能性を広げたいと考えます				
回	課題名	課題内容		
1	MA という職業を知る	アニメ制作におけるポストプロ～プリプロまで、各セクションの役割を理解し、当科目のメインとなる“MA”について詳しく知る。(※)		
2	DAW ソフトを知る	Recordingの歴史と共に、DAWでは何が出来るのか、どう使うのか体系的に知る。(※)		
3	作業の準備	各機材の役割や接続方法、及びCubaseセットアップまでの準備を学ぶ。		
4	Cubase 基本操作①	素材を使い、Cubaseの各部名称や基本操作を理解する。		
5	録音基礎	マイクセッティングの大切さや Cubaseでの録音の手順を理解し、録音を経験する		
6	録音実習①	各班ごとに希望する声質の声優学科の学生を招き、各班プロデュースするキャラクターのボイス収録を、エンジニア・音響監督などの立場になり収録する。(※)		
7	整音基礎①	収録した題材を使い波形の編集方法を学び、作品を完成させる		
8	Cubase 基本操作②	ショートカットキーを学びながら、より効率的に作業出来る方法を習得する		
9	定位 基礎・編集①	定位を理解し、Cubase内のAutomation機能を使い素材を編集		
10	定位 基礎・編集②	編集作業を行い、素材を作品へと仕上げる。		
11	定位 基礎・編集③	作品発表。各作品の良さを吸収し、次作への課題点を各自で把握。(※)		
12	Effects 基礎・編集①	各Effectsの効果や、Cubaseにおける操作方法を理解し使用してみる。(※)		
13	Effects 基礎・編集②	素材(アニメーション)を使用して編集を行い、空間の演出を学ぶ。		
14	Effects 基礎・編集③	作品発表。各作品の良さを吸収し、次作への課題点を各自で把握。(※)		
15	録音実習②	90秒程度の題材(ドキュメンタリー映画)のナレーション収録 (※)		
備考	※ マークの付いている実習は、校内録音スタジオを使用予定(実際のレコスタに慣れる意味も含む)			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
アフレコ音響2応用		松崎 泰之		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>Music production “Hyd Lunch” 主宰 ( Guitarist, Mandolinist, Music composer, Sound producer )</p> <p>音響専門学校を卒業後、幾つかのバンドに在籍し計10枚のCDをリリースする他、各大型音楽フェスへの出演や海外アーティストのジャパンツアーサポートアクトを務める。その後、音楽活動を楽曲制作へシフト、国内外のゲームタイトルやTV番組、国内アーティストなどへの音楽制作及び楽曲提供を行う。楽曲提供したゲームのサウンドトラックが、ゲームミュージック財団(ポーランド)の“Game Music Award 2024”にて、【ファン投票部門1位】に選ばれる。</p>			
講義概要				
声優業界に於けるMA・音響効果といった専門的分野に特化した内容をマスターさせる反面、様々な課題を通し、制作側の立場から見た「演者に求められるスキル」も学んでもらいます。				
到達目標				
前期で学んだ音楽制作ソフト Cubase を駆使し、アフレコや効果音をレコーディングスタジオにて収録。加えて音声やBGM演出を学び、作品にマッチするBGMの選曲術や相乗的な重要性を把握してもらい、ポストプロダクションにおける大切なサウンド工程、MA(マルチオーディオ)技術の習得を目標とします。そしてCubaseを「身近なツール」と感じてもらい、卒業後の進路に対し総合的な可能性を広げたいと考えます。				
回	課題名	課題内容		
1	学園祭作品制作①	前期の集大成として、ボイスドラマの制作		
2	学園祭作品制作②	ボイスドラマの内容にSEやBGMを加え、MAの基礎を習得		
3	学園祭作品制作③	ボイスドラマの完成。		
4	音声演出	各シーンに対する、音声の演出方法を講義により学ぶ(※		
5	音声演出編集①	90秒程度の題材を元に音声の演出を行う(イコライザー他、空間系エフェクトの習得)		
6	音声演出編集②	90秒程度の題材を元に音声のミキシング(イコライザー他、空間系エフェクトの習得)		
7	題材仕上げ	メディアに対する音量の適正値を把握し、作品を仕上げる。(マスタリング基礎習得)		
8	音楽演出	作品にマッチするテーマ曲や、各シーン・人物の感情を際立たせる様々なBGMコーディネートを学ぶ		
9	アフレコ録音	90秒程度の題材(アニメーション)のアフレコ収録(※		
10	効果音収録	必要な効果音素材(SE)を提案し、映像に合わせ実際に収録を行う(※		
11	BGM選曲	各自 題材に対し必要なBGM部分を考え 発注シートを制作し、同クラスメイトに発注		
12	BGM選曲	受けた発注シートに対し、BGM選曲・編集して提出し合う(実践的にリテイクも可		
13	題材編集	アフレコ・SE・BGMの編集、及びミキシング		
14	題材仕上げ	アフレコ・SE・BGMのミキシング、及びトラックダウン		
15	題材仕上げ・作品発表	題材の総仕上げ、各自の作品発表。及びサウンド実習に対する最終講義。(※		
備考	※ マークの付いている実習は、校内レコーディングスタジオを使用予定(実際のレコスタ環境に慣れる意味も含む)			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験(実技試験) 実習評価(課題評価) 小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
イベント舞台企画制作2基礎		伊東格		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大手芸能プロダクションでアーティストマネージャーを初め、A&Rプロデューサー、A&Rディレクター、プロモーター、コーディネーターなどを務める。また、イベント制作も含めエンタテインメントの多岐に渡る職種に精通する。			特にナシ
講義概要				
イベント全般の企画・制作・運営の考案・準備・実施などの取り組みと実習 トラブルブラッツ企画を通してのタレント・アーティストマネジメントの取り組みと実習				
到達目標				
マネージメントの基礎を理解させつつ、 イベントにおいて各自が均等にどの役割(運営・制作・演出など)でもディレクションが出来るようにしたい				
回	課題名	課題内容		
1(4/21)	第9回カラオケ大会	制作・運営などに関する反省		
2(4/28)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツマネジメント引き継ぎ	内容検討	
3(5/12)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
4(5/19)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
5(5/26)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
6(6/02)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
7(6/09)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
8(6/16)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
9(6/23)	とらぶら制作 カラオケ大会	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
10(6/30)	とらぶら制作 カラオケ大会	制作・運営などに関する反省		
11(7/07)	とらぶら制作 橙美祭	休講	休講	
12(7/14)	とらぶら制作 橙美祭	トラブルブラッツ活動計画	内容検討	
13(8/25)	とらぶら制作 橙美祭	トラブルブラッツ活動計画	実施準備	
14(9/01)	とらぶら制作 橙美祭	とらぶら活動計画	実施準備	
15(9/08)	とらぶら制作 橙美祭	とらぶら活動計画	実施準備	
備考	毎回、イベント系と(トラブラを通しての)マネージメント基礎の内容を分けて、各々進めて行きます。 イベント系とマネージメント系でゲスト講義をお願いする予定です。			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験(実技試験)実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
イベント舞台企画制作2応用		伊東格		優:100～90、良:89～80、可:79～60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	大手芸能プロダクションでアーティストマネージャーを初め、A&Rプロデューサー、A&Rディレクター、プロモーター、コーディネーターなどを務める。また、イベント制作も含めエンタテインメントの多岐に渡る職種に精通する。			機材/過去実績資料
講義概要				
エンタテインメントビジネスの概要 イベント・ステージの企画～制作にまつわる、スタッフワークを学ぶ。また、当日の運営業務も実施する。 また、エンタテインメントビジネスに纏わる様々なスキルを習得する。				
到達目標				
イベント・ステージ制作の企画～制作～運営を実践を通して学び、実稼働のレベルアップを目指す。 それらに纏わる書類・資料の制作や打合せ等、スタッフとしてのスキルを培う。				
回	課題名	課題内容		
1	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
2	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
3	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
4	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
5	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
6	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
7	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
8	アーティスト制作	アーティストの発掘～オーディション～制作を実習形態で実施		
9	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
10	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
11	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
12	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
13	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
14	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
15	卒業イベント制作	卒業制作に纏わるイベントの企画制作		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
コンテンツ制作2A 基礎		須藤 佑		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	クレイジーケンバンドGt.小野瀬雅生氏のリーダーバンド『小野瀬雅生ショウ』のギタリスト。また、アニソン等の楽曲制作も実施。音楽制作、音声収録、配信システムプラン、オペレート等、音響システムに精通する。			機材
講義概要				
各コンテンツの制作を通し、SNSコンテンツの理解、インターネットの基礎の理解する。				
到達目標				
撮影～編集を通し、映像編集ソフトPremiere Proを理解し技術の習得をめざします。また、Twitter、Facebook、ブログの利活用や、ホームページ作成や、YouTubeの基本操作や活用方法を実践を通して学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	ガイダンス	SNSコンテンツの理解		
2	インターネット基礎	インターネットのしくみを知る。基礎の理解。		
3	インターネット基礎	インターネットのしくみを知る。基礎の理解。		
4	映像撮影に関して①	撮影の基礎を学ぶ。		
5	映像撮影に関して②	カメラや三脚、ベーシックの機材の扱いを学ぶ		
6	Premire基本操作①	題材を使い基本操作を理解し、作業効率を上げるショートカットキーを学ぶ		
7	Premire基本操作②	題材を使い編集をする。		
8	Premire基本操作③	題材を使い編集をする。		
9	動画コンテンツ制作①	Youtubeを使用し、プロモーションツールとしてのコンテンツを制作する。		
10	動画コンテンツ制作②	内容の企画		
11	動画コンテンツ制作③	撮影～編集の基礎		
12	動画コンテンツ制作④	↓		
13	動画コンテンツ制作⑤			
14	SNSの活用①	さまざまなSNSを利用したプロモーションを学ぶ。		
15	前期まとめ	作品発表		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年生	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
後期	32	講義・演習・実験・ <b>実技</b> ・ <b>実習</b>		筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
コンテンツ制作2A 応用		須藤 佑		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	クレイジーケンバンドGt.小野瀬雅生氏のリーダーバンド『小野瀬雅生ショウ』のギタリスト。また、アニソン等の楽曲制作も実施。音楽制作、音声収録、配信システムプラン、オペレート等、音響システムに精通する。			機材
講義概要				
各コンテンツの制作を通し、SNSコンテンツの理解、インターネットの基礎の理解する。				
到達目標				
撮影～編集を通し、映像編集ソフトPremiere Proを理解し技術の習得をめざします。また、Twitter、Facebook、ブログの利活用や、ホームページ作成や、YouTubeの基本操作や活用方法を実践を通して学ぶ。				
回	課題名	課題内容		
1	配信システム実習	オンライン配信に纏わる様々な機材の取り扱いや、システムの理解と実習。		
2	配信システム実習	オンライン配信に纏わる様々な機材の取り扱いや、システムの理解と実習。		
3	配信システム実習	オンライン配信に纏わる様々な機材の取り扱いや、システムの理解と実習。		
4	配信システム実習	オンライン配信に纏わる様々な機材の取り扱いや、システムの理解と実習。		
5	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
6	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
7	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
8	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
9	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
10	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
11	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
12	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
13	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
14	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
15	卒業制作実習	卒業制作に纏わる、イベント制作やコンテンツ制作を実施する。		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフ
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	64	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
コンテンツ制作B		松崎 泰之		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	<p>Music production “Hyd Lunch” 主宰 (Guitarist, Mandolinist, Music composer, Sound producer)</p> <p>音響専門学校を卒業後、幾つかのバンドに在籍し計10枚のCDをリリースする他、各大型音楽フェスへの出演や海外アーティストのジャパンツアーサポートアクトを務める。その後、音楽活動を楽曲制作へシフト、国内外のゲームタイトルやTV番組、国内アーティストなどへの音楽制作 及び楽曲提供を行う。楽曲提供したゲームのサウンドトラックが、ゲームミュージック財団(ポーランド)の“Game Music Award 2024”にて、【ファン投票部門1位】に選ばれる。</p>			
講義概要				
声優業界に於けるMA・音響効果といった専門的分野に特化した内容をマスターさせる反面、様々な課題を通し、制作側の立場から見た「演者に求められるスキル」も学んでもらいます。				
到達目標				
自身の担当科目「アフレコ音響」と並行して、音楽制作ソフト cubase を使いアフレコや効果音を収録。加えて音声やBGM演出を学び、作品にマッチするBGMの選曲術や相乗的な重要性を把握してもらい、ポストプロダクションにおける大切なサウンド工程、MA(マルチオーディオ)技術の習得を目標とします。				
回	課題名	課題内容		
1	ナレーションMA①	前期で収録したナレーションの音声編集及び、作品に対し適したBGMの選曲		
2	ナレーションMA②	ナレーション・BGMのミキシング、及びトラックダウン		
3	整音基礎②	イコライザーの使用方法を学び、音声の周波数特性を理解する。(※		
4	マスタリング基礎	各メディアに対する音量の適正値を把握し、作品を仕上げる(マスタリング基礎習得)(※		
5	ナレーションMA③	作品発表。各作品の良さを吸収し、次作への課題点を各自で把握。(※		
6	音楽演出①	作品にマッチするテーマ曲や、各シーン・人物の感情を際立たせる様々なBGMコーディネートを学ぶ。		
7	音楽演出②	フリー素材で個性的な、SEサウンドの作り方を学び、会得する。		
8	録音実習③	90秒程度の題材(アニメーション)のアフレコ収録 (※		
9	アニメーションMA①	アフレコ収録されたデータの整音作業及び、Foley Recordingを知る		
10	録音実習④	必要な効果音素材(SE)を提案し、Foley Recordingを行う (※		
11	アニメーションMA②	各自 題材に対し必要なBGM部分を考え 発注シートを制作し、同クラスメイトに発注		
12	アニメーションMA③	受けた発注シートに対し、BGM選曲・編集して提出し合う(実践的にリテイクも可		
13	アニメーションMA④	アフレコ・SE・BGMの編集、及びミキシング		
14	アニメーションMA⑤	アフレコ・SE・BGMのミキシング、及びトラックダウン		
15	アニメーションMA⑥	題材の総仕上げ、各自の作品発表。及び前期に対する最終講話。(※		
備考	※ マークの付いている実習は、校内録音スタジオを使用予定(実際のレコスタ環境に慣れる意味も含			

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数	授業の方法		評価方法
前期	32	講義・演習・実験・実技・実習		筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ビジネスマナー2 基礎		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送株式会社報道部およびエスオープロモーション所属アナウンサー。その他ナレーター、リポーター、MCとしての実績豊富。			オリジナルプリント
講義概要				
授業冒頭、一週間のうち気になったニュースを一人1件紹介する。その後、ビジネスマナー各種について実践を交えながら学習する。特に前半では就職活動を主軸に置いた講義を展開する。				
到達目標				
講義を通じて職業観や勤労観の形成を行い、ビジネス社会の常識や基本的コミュニケーション能力、情報の活用法を習得する。その他、協調性や積極性を養うグループワークも行う。				
回	課題名	課題内容		
1	オリエンテーション	効果的な自己PR、ニュースの見方、間違っ覚えてきた言葉		
2	ビジネスマナー	キャリアプランシート・面接シート・自分を〇〇に例えると（絵で表す）		
3	ビジネスマナー	自分を動物に例えると・PREP法に基づくグループディスカッション		
4	ビジネスマナー	グループディスカッション		
5	ビジネスマナー	立ち姿、歩き方、お辞儀、座り方、ディベート		
6	ビジネスマナー	面接時の服装、面接シート清書・ディベート		
7	ビジネスマナー	面接練習・グループワーク		
8	ビジネスマナー	面接練習・グループワーク		
9	ビジネスマナー	面接練習・グループワーク		
10	ビジネスマナー	面接練習・グループワーク		
11	ビジネスマナー	面接練習・グループワーク		
12	ビジネスマナー	プレゼンテーション用資料作成		
13	ビジネスマナー	プレゼンテーション用資料作成		
14	ビジネスマナー	プレゼンテーション		
15	ビジネスマナー	プレゼンテーション		
備考				

年度	対象	昼夜	科	コース
2026	2年	昼	声優学科	声優スタッフコース
学期	総時間数		授業の方法	評価方法
後期	32		講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>	筆記試験・実技試験・ <b>実習評価</b> ・課題評価・小テスト・その他
科目名		担当講師		評価基準
ビジネスマナー2 基礎		加藤知華		優:100~90、良:89~80、可:79~60、不可:59以下の4段階評価
実務経験	講師プロフィール			教科書/使用教材
有	日本航空株式会社出身。RKB毎日放送(株)報道部所属。アナウンサー、ナレーター、レポーター、MCとしての実績豊富。			ビジネス能力検定テキスト、問題集、オリジナルプリント
講義概要				
ビジネス社会で役に立つスキル、考え方、一般常識などを講義や実践を通して学ぶ。				
到達目標				
社会の一員として立派に活躍できるよう、さまざまなビジネスマナー、知識を習得する。刻々と移り変わる世界情勢の解説を行うことで、時事問題への興味関心を持たせ、新聞等を見る習慣を養っていく。				
回	課題名	課題内容		
1	マナー実技	訪問とおもてなし、さまざまな風呂敷包み		
2	マナー実技	公共のマナー、グループワーク（ドミノ記録）		
3	講義	敬語総復習		
4	講義	文法総復習		
5	グループワーク	ストロータワーで戦略的ものの見方を身につける		
6	ディスカッション	グループディスカッション		
7	講義	世界の宗教を理解する		
8	講義	世界情勢①		
9	講義	世界情勢②		
10	講義	世界情勢③		
11	ディスカッション	グループディスカッション		
12	マナー実技	食事のマナー（和食）		
13	マナー実技	食事のマナー（洋食）		
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション・準備		
15	後期試験	プレゼンテーション（日本の魅力）		
備考				